＋日本赤十字社
災害義援金チャリティー

2026オープントーナメント

全日本体重別空手道選手権大会

兼／ 第41回全日本ウェイト制空手道選手権大会

共同開催／ 国際空手道連盟 総本部 極真会館
国際空手道連盟 全日本真正空手道連盟 真正会

＋日本赤十字社
災害義援金チャリティー

2026オープントーナメント

全日本体重別空手道選手権大会

兼／ 第41回全日本ウェイト制空手道選手権大会

共同開催／ 国際空手道連盟 総本部 極真会館
国際空手道連盟 全日本真正空手道連盟 真正会

協賛／KAATSU JAPAN 株式会社　シダックス株式会社

後援／日本赤十字社　公益財団法人 全日本空手道連盟　メディアエイト　ワールド空手

2026年7月20日㊗　墨田区総合体育館（ひがしんアリーナ）

+日本赤十字社 災害義援金チャリティー

2026 オープントーナメント
全日本体重別空手道選手権大会

兼/第41回全日本ウェイト制空手道選手権大会

大会日程

7/20（日・祝）

[10:30] 開場
[11:00] 開会式
[11:15] ルール説明
[11:35] **試合開始**（各コート3位決定戦まで）
[15:10] **決勝戦開始**（第2コート）
[16:40] 表彰式・閉会式
[17:10] 大会終了

※進行状況により時間が変更する場合があります。

試合会場

本　部　席

第3コート

男子　－80kg級

女子　－50kg級
　　－60kg級

第2コート

男子　－90kg級
　　＋90kg級

女子　－65kg級
　　＋65kg級

各階級決勝戦

第1コート

男子　－60kg級
　　－70kg級

女子　－55kg級

女子試合時間

女子予選
①本戦　2分間
②延長戦　2分間
③体重判定（有効差3kg）
④再延長戦2分間の順で勝敗を決する。

女子準決勝戦以降
①本戦　3分間
②延長戦　2分間
③再延長戦　2分間
④試割の枚数
　準決勝戦　①手刀②猿臂③足刀④正拳
　3位決定戦・決勝戦　①猿臂②足刀③正拳④手刀
⑤体重判定（有効差3kg）
⑥再々延長戦2分間の順で勝敗を決する。

男子試合時間

男子予選
①本戦　2分間
②延長戦　2分間
③体重判定（有効差3kg）
④再延長戦2分間の順で勝敗を決する。

男子準々決勝戦以降
①本戦　3分間
②延長戦　2分間
③再延長戦　2分間
④試割の枚数
　準々決勝　①手刀②猿臂③足刀④正拳
　準決勝　①猿臂②足刀③正拳④手刀
　3位決定戦・決勝戦　①足刀②正拳③手刀④猿臂
⑤体重判定（有効差3kg）
⑥再々延長戦2分間の順で勝敗を決する。

◎大会ごあいさつ

✚日本赤十字社 災害義援金チャリティー

2026オープントーナメント 全日本体重別空手道選手権大会

兼/第41回全日本ウェイト制空手道選手権大会

国際空手道連盟 総本部 極真会館

館長 松井章奎

国際空手道連盟 全日本真正空手道連盟 真正会

代表代行 鈴木修司

本日は、御来場頂きまして誠にありがとうございます。

皆様方の温かい御支援を賜り、『日本赤十字社 災害義援金チャリティー 2026オープントーナメント全日本体重別空手道選手権大会』が、本日ここに開催出来ますことを心より感謝申し上げます。

本大会は、国際空手道連盟 総本部 極真会館と国際空手道連盟 全日本真正空手道連盟 真正会の共同主催で行う体重別の全日本選手権大会で、極真会館の第41回全日本ウェイト制大会を兼ねて開催されます。また過去４回開催された全日本体重別大会はいずれも大阪・京都といった関西圏で行われてきましたが、今回が初の東京開催になります。

極真会館と真正会は共に極真会館の創始者・大山倍達総裁の創り上げた直接打撃制空手を起源とする武道空手団体であり、昨年より極真会館と友好団体であった真正会が正式に国際空手道連盟に賛助会員として加盟しました。これにより両団体がこれまで以上に密接な関係を築いていく中で、今大会のような共同主催のイベントをはじめ、少年、女子、壮年といったあらゆる世代で交流を深め、個人も団体も互いに成長できるような形で様々な活動に取り組んでおります。

そして、本大会は極真会館が主催する体重無差別の全世界選手権大会、あるいは全世界体重別選手権大会を見据えた国際的な共通基準である『I.K.O.極真ルール』を採用し、『オープントーナメント』として実施されることで、多くの空手修行者が競技を通じて『心・技・体』を競うことが出来る大会となっています。

一般的にフルコンタクト空手と呼ばれる直接打撃制の空手界は現状多くの団体や流派が乱立し、全体として閉塞感の漂う状況が続いています。そのような中で、我々は団体間またはそこに関わる個人が互いを尊重し、協調し合う形で交流できる場が必要であると考え、その志に極真会館と真正会が共鳴する形で2022年に第1回目の全日本体重別大会を開催しました。そこには自立した個々の団体が互いに尊重する関係を保った上で、内政には干渉せず、技術的また人的に情報を共有しながら交流を重ねていく中で各々が成長を遂げ、空手道の発展や社会的地位向上を目指すという主旨が込められています。

さて、今大会は、男子５階級・女子５階級に全160名の選手が出場して争われます。中でも注目される選手は、昨年男子－70kg級で優勝した真正会の坂田龍星選手をはじめ、今大会で２連覇を目指す選手や、極真会館の大秦稜司選手と大秦零司選手のように階級を変更して２階級制覇を狙う選手、そして来年秋に予定される第14回全世界大会を見据えて海外からもトップクラスの選手が各階級にエントリーしており、例年以上に見所の多い大会となっています。

また、極真会館が2016年６月に『実戦性』『安全性』『競技性』、そして『武道性』というものを柱に組手競技ルールの改定を実施し、今大会はちょうど10年が経過した節目の大会になります。新たに改定された『I.K.O.極真ルール』はこの10年で国内はもとより国際的にも広く浸透し、多くの技術的な進化や他競技への親和性を示してきました。その意味で今大会では、ルール改定10年目の集大成と言えるようなハイレベルな攻防や試合展開に多くの期待と関心が寄せられています。

選手の皆さんには、日頃の鍛練の成果を遺憾なく発揮し、必ずや自らが優勝するんだという気概を見せて頂きたいと願うと同時に、その一挙手一投足で武道競技にふさわしい『心・技・体』を体現し、空手道の更なる進化・発展に繋がるような試合を大いに期待したいと思います。また御来場の皆様方には、最後まで選手たちに熱い御声援を賜わりますようお願い申し上げ、本大会の御観戦を通じて私共の活動に更なる御理解と御支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

その一方で、我々は空手の強さや技術のみを追求するに止まらず、このような大会を開催することで社会体育・徳育活動に積極的に取り組み、日本の優れた伝統文化である武道精神と空手道の普及を通じて社会の健全化を目指すと共に、健全な青少年、健全な若者の育成と人格の陶冶、各世代の健康増進や社会福祉、国際交流など、「武道を通じて社会に貢献する」「武道を通じて世界の平和友好に寄与する」という信念の下、各々の団体活動に勤しんでおります。その一つとして、本大会は震災や台風・豪雨災害等で被災された各地の復興を願い、災害義援金チャリティー大会として開催致します。皆様方にはぜひとも御理解と御協力を賜わりますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、改めて本大会開催にあたり多大なる御支援を賜りました御協賛各社様、御後援下さった各団体・各社様、その他御協力、御尽力を賜りました多くの皆様方に敬意を表し、衷心より感謝を申し上げ、大会の挨拶に代えさせて頂きます。

本日は誠にありがとうございました。

GREETINGS

Official
大会役員

大会実行委員
松井 章奎
極真会館 館長
Championship Chairman
Matsui Shokei
President of the I.K.O. Kyokushinkaikan

大会審議委員長
郷田 勇三
極真会館 最高顧問
Championship Committee Chairman
Goda Yuzo
I.K.O. Executive Advisor

大会審議委員会相談役
待田 京介
極真会館 総本部 特別顧問
Championship Committee Advisor
Machida Kyosuke
I.K.O. Honbu Special Advisor

大会審判長
磯部 清次
極真会館 国際委員会委員
Championship Supreme Judge
Isobe Seiji
I.K.O. International Committee Member

大会副審判長
ケニー・ウーテンボガート
極真会館 国際委員会委員
Championship Executive Judge
Kenny Uytenbogaardt
I.K.O. International Committee Member

大会副審判長
山田 雅稔
極真会館 副審判委員長
Championship Executive Judge
Yamada Masatoshi
I.K.O. Officiating Committee Vice Chairman

大会審議委員
河岡 博實
極真会館 審判委員会委員
Kawaoka Hiromi
I.K.O. Officiating Committee Member

大会審議委員
五来 克仁
極真会館 国際委員会委員
Gorai Katsuhito
I.K.O. International Committee Member

大会審議委員
川畑 幸一
極真会館 審判委員会委員
Kawabata Kouichi
I.K.O. Officiating Committee Member

大会審議委員
スチュアート・コリガル
極真会館 審判委員会委員
Stuart Corrigal
I.K.O. Officiating Committee Member

大会審議委員
浜井 良顕
極真会館 審判委員会委員
Hamai Yoshiaki
I.K.O. Officiating Committee Member

大会実行委員補佐
福田 勇
極真会館 総本部師範
Fukuda Isamu
I.K.O. Honbu Shihan

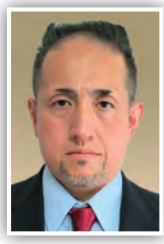
大会実行委員補佐
八巻 建志
極真会館 総本部師範
Yamaki Kenji
I.K.O. Honbu Shihan

大会実行委員
鈴木 修司
真正会 代表代行
Championship Chairman
Suzuki Shuji
President Substitute of Shinseikai

大会審議委員
内田 道
真正会 代表副代行
真正会 本部長
Uchida Wataru
Shinseikai Department Head

大会審議委員
筧 誉
真正会 代表代行補佐
真正会 熊本支部師範
Kakei Homare
Shinseikai Kumamoto Branch Shihan

大会審議委員
小西 雅仁
真正会 本部事務局長
真正会 小西道場師範
Konishi Masahito
Shinseikai Konishi Dojo Shihan



大会審議委員
福永 規男
真正会 福永道場師範
Fukunaga Norio
Shinseikai Fukunaga Dojo Shihan

大会審議委員
子安 慎悟
真正会 東京本部師範
Koyasu Shingo
Shinseikai Tokyo Honbu Shihan

大会審議委員
伊藤 克剛
真正会 千葉東葛支部師範
Ito Yoshitake
Shinseikai Chibatokatsu Branch Shihan

大会審議委員
松井 厚
真正会 尼崎支部師範
Matsui Atsushi
Shinseikai Amagasaki Branch Shihan

大会名誉顧問
菅　義偉（前衆議院議員）
小沢一郎（前衆議院議員）
亀井静香（元衆議院議員）
佐藤義昭（加圧トレーニング®発明者）
佐藤可士和（クリエイティブディレクター）

大会特別顧問
澤井明彦（株式会社サン・ラック代表取締役社長）
志太勤一（シダックス株式会社代表取締役会長兼社長）

大会相談役
泉　和彦（団体代表役員）
伊東信久（衆議院議員、医師）
大下英治（作家）
川島智太郎（元衆議院議員）
行田邦子（埼玉県行田市長）
藤巻　潤（俳優）
山口　拓（前東京都議会議員）
（※五十音順）

大会医事
極真会館 医事委員会

大会評議委員会
杉村福次郎

大会運営委員会
杉村多一郎　青木英憲　今西登之彦　東田真生
江口芳治　柿沼英明　鴨志田裕寿　岩城 毅
川本英児　菅野秀行　毛塚慎一
佐々木敏也　鈴木由一　田口恭一
立川善久　根本清志　羽田シゲル
ホスロ・ヤグビ

日本赤十字社
災害義援金チャリティー
2026 オープントーナメント
全日本体重別
空手道選手権大会
兼 第41回全日本ウェイト制空手道選手権大会
共同開催 国際空手道連盟 総本部 極真会館
国際空手道連盟 全日本真正空手道連盟 真正会

◎今大会の見どころ

男女10階級で争われる真夏の体重別日本一決定戦

団体や流派の垣根を超えた交流と世界への挑戦

『2026オープントーナメント全日本体重別空手道選手権大会』は、直接打撃制空手のパイオニアである国際空手道連盟 総本部 極真会館と国際空手道連盟 全日本真正空手道連盟 真正会の共同開催により、極真会館が主催する『第41回全日本ウェイト制空手道選手権大会』を兼ねて実施される。

また、過去３度の全日本体重別大会はいずれも大阪・京都といった関西地区で行われてきたが、今年は初めての東京開催。極真会館にとって墨田区総合体育館（ひがしんアリーナ）は2014年に第31回全日本ウェイト制大会が開かれた思い出深い会場でもある。

その第31回全日本ウェイト制大会では、鎌田翔平が重量級で初優勝し、後に全日本チャンピオンへと登り詰めるターニングポイントになったことでも知られるが、このように体重別で行われる全日本ウェイト制大会は1984年の第１回大会以来「無差別への登竜門」という位置付けで行われ、それは2022年に全日本体重別大会へとスタイルチェンジしても変わらぬコンセプトになっている。

さらに極真会館が「実戦性」「安全性」「競技性」、そして「武道性」を柱に組手競技のルール改定を実施し、初めて施行されたのがちょうど10年前の2016年６月に行われた第33回全日本ウェイト制大会だった。新たに改定された「I.K.O.極真ルール」は、この10年で世界的にも広く普及・浸透し、今大会も将来的な無差別世界大会や世界体重別大会を視野に入れ、国際的な共通基準である「I.K.O.極真ルール」が採用されている。

この10年でどれだけ組手が進化し、試合のクオリティが上がったのか。今大会では、ルール改定から10年目の集大成となるようなレベルの高い試合展開が期待されている。

それでは各階級ごとに出場選手の顔ぶれを紹介し、トーナメントの行方を占っていこう。

■男子－60kg級

昨年までは真正会の辻隆行がこの階級の第一人者として３年連続ファイナリストとなっていたが、今大会に辻は欠場。その分、フレッシュな人材が揃ったと言えるのがこの階級の特徴だ。

実績的には昨年準優勝の阿久津怜音（No.17）が優勝候補。鋭い出入りと突きの強打で相手を追い詰める組手で今年は初優勝が期待される。だが、今大会は20歳の阿久津よりもさらに若い10代の有望新人が６名エントリー。まず藤田斗哉（No.5）は６月に行われたアジアオープンカップ－60kg級準優勝と勢いに乗り、初戦の２回戦では国際親善大会16歳17歳男子－60kg級優勝者の新井彩人（No.6）と対戦する。スピードが持ち味の藤田と上段前蹴りを得意にする新井の若さあふれる試合に期待したい。その勝者が３回戦で昨年４位の19歳・小林竜（No.8）と対戦。安定感のある小林に若さと勢いがどこまで通用するのか楽しみだ。

後半のブロックは、彩人の兄・新井絢人（No.12）に注目。新井は昨年全関東大会－60kg級優勝者で、最後は接戦で競り勝って自信を付けた。

この階級には海外の強豪も出場。トップバッターでもあるコズロフスキ・イゴール（No.1）は昨年ヨーロッパ体重別－60kg級優勝者で今年は２位。強い突きの連打を最大の武器にしている。また、リチョフ・ブラディスラフ（No.9）は今年のロシアンカップ－60kg級準優勝者。一筋縄ではいかない相手に対し、日本の若手がどんな試合を展開するのか、期待したい。

■男子－70kg級

４度目の挑戦にして初めてタイトルを手にした坂田龍星（No.50）。実績、実力ともにこの階級では頭一つリードしている存在の坂田だが、今年は追う立場から追われる立場へとスタンスが変わり、そのプレッシャーが坂田の組手にどんな影響をもたらすのか。

坂田にリベンジを誓うのはトーナメント先頭

男子－60kg級 No.8／小林竜

男子－70kg級 No.18／佐川人成

男子－80kg級 No.51／コセンティーノ・ジノ

男子－60kg級 No.17／阿久津怜音

男子－70kg級 No.50／坂田龍星

男子－80kg級 No.84／髙田悠一朗

の佐川人成（No.18）。昨年決勝で坂田と対戦し、延長戦で自らの減点によって悔しい負け方をした佐川は、今年こそ決勝で坂田を破って初優勝を勝ち取りたいところだ。

佐川と２回戦で対戦が予想される奥寺勇輝（No.21）は過去に第13回世界大会日本代表として第一線で活躍したベテラン。22歳と伸び盛りの佐川と老獪な試合運びや技術を擁する29歳の奥寺の新旧対決も興味深い。

若手がベテランを乗り越えてスター街道を駆け上がっていくというのは全日本ウェイト制大会から続く伝統的なサクセスストーリーだが、今大会の－70kg級については圧倒的に多くの新人選手がエントリーしている。中でも有望な人材として、藤田珀斗（No.25）と上田琴乃助（No.26）の東京城北コンビに注目したい。藤田は2024年全日本体重別－60kg級３位に入賞して頭角を現し、今年４月の真正会全日本－65kg級は準優勝。左右への素早い回り込みで相手の攻撃を回避し、自分の攻撃だけを当てていく戦い方は外国人対策としても有効だろう。一方の上田は負けず嫌いの熱血漢で、接戦の中で確実に攻め切る勝負強さが持ち味。アジアオープンカップ－70kg級準優勝でさらに自信を付けた。藤田と３回戦で対戦するセメノフ・ティムール（No.22）は今年３月のロシアンカップ同級３位、また上田の３回戦の相手、バチェリコフ・ニコライ（No.29）は同じくロシアンカップ準優勝の強豪で、藤田・上田ともにこの３回戦が大きな山になりそうだ。

また、上田の初戦の相手は、世界空手道連盟士道館の山田貴市（No.27）。山田は2024年の士道館オープン国際大会－70kg級優勝の実績があり、４月の真正会全日本－75kg級で優勝して今大会に初参戦する。若手注目株の上田を相手にどんな試合を見せるのか、注目したい。

前半ブロックの最後尾は昨年４位の加藤竜成（No.33）。加藤は昨年９月に無差別で行われた神奈川県大会で優勝して経験値を高めたが、10月の全関東大会は－70kg級４位、今年３月の埼玉県大会は上田琴乃助に準々決勝で敗れるなど今一つ調子が上がらないが、今大会で殻を破って再び上位に勝ち進みたい。

トーナメント後半は昨年３位の平沢拓巳（No.34）、2023年４位の廣本直也（No.42）の中堅勢が軸になる。平沢は３回戦で2023・2024－60kg級２連覇の反町洸太（No.37）との対戦が予想され、先輩格の平沢にとっては意地でも負けられない一戦。逆に－70kg級ではなかなか結果の出ない反町はここで再浮上のチャンスを掴みたい。

ブロック後半は２回戦、川本陽翔（No.46）と藤田陽央（No.47）の対戦に注目。川本は昨年12月の西日本大会で準優勝し、４月の愛知県大会でも体格差のある木山獅勇を相手に最後まで試合を諦めない闘志を見せた。一方の藤田は長いリーチを活かした組手で１カ月前の６月に行われた静岡県大会で優勝。10代同士のフレッシュな対決は未来のこの階級を占う上でも楽しみな一戦と言える。

■男子－80kg級

今大会で最も出場人数の多いこの階級には、海外の強豪も多数エントリーしている。その筆頭格に挙げられるのが、トーナメント先頭のコセンティーノ・ジノ（No.51）である。コセンティーノは2023年から今年までヨーロッパ体重別－80kg級４連覇、さらに無差別でも2024年・2025年と２連覇している現在のヨーロッパ最強の選手と言える。

そんなヨーロッパチャンピオンとの対戦で株を上げたいのが18歳の加藤颯真（No.55）だ。加藤は少年部時代から好成績を上げて2024年にはポーランドで行われた世界団体戦に日本のユース代表として出場。日本チームの優勝に貢献した。一般部に転向後は昨年の西日本大会で優勝するなど着実に力を伸ばし、コセンティーノとの試合でも大物喰いのアップセットを起こす可能性は十分にある。

コセンティーノに並ぶ海外の強豪と見られているのが、チコバニ・ティムール（No.60）。全ロシア体重別－80kg級で2023年から2025年まで３年連続準優勝、今年６月のアジアオープンカップで－80kg級を制し、調子を上げて今大会に挑んでくる。

日本勢では昨年４位に初入賞した穐山和斗（No.67）に期待が寄せられるが、穐山は３回戦でシチンニコフ・ヴィアチェスラフ（No.64）との対戦が濃厚。2024年全ロシア体重別－80kg級３位のシチンニコフは185cmの穐山を上回る188cmの長身選手で、穐山が得意とする上段膝蹴りも決まりにくく、互いに制空圏の取り合いが勝負の明暗を分けそうだ。

トーナメント後半は昨年３位に入賞した19歳・任梓豪（No.68）に注目したい。任は、わずか７歳で国際親善大会で初優勝して以来、各年代のカテゴリーで常に上位に入賞し、未来のチャンピオン候補として期待されてきた。今年３月に高校を卒業して本格的に一般部での活躍を目指している任にとって、今大会は真価が問われる戦いが続くが、まずは３回戦で2024年ヨーロッパ体重別－80kg級３位のベテラン、レイエス・アルベルト（No.70）を下して弾みを付けたい。その後に待っているのが、－70kg級で第７回世界体重別にも出場した強豪ソロヴェフ・エゴール（No.75）だ。ソロヴェフは昨年全ロシア体重別－70kg級で優勝後、今年は階級を上げて３月のロシアンカップ－80kg級で優勝。お互いに一発の強打と試合後半に攻撃を一気に畳み掛ける戦い方を持ち味にしていて、内容的にも接戦になることが予想される。

男子－90kg級 No.85／山上大輝

男子－90kg級 No.96／ナヴァロ・アレハンドロ

男子＋90kg級 No.109／ルジン・アンドレイ

男子－90kg級 No.91／秋山大知

男子－90kg級 No.108／大秦稜司

男子＋90kg級 No.117／ゴリウシキン・ダニル

そしてトーナメント最後尾には、昨年優勝した髙田悠一郎（No.84）が控える。この階級で髙田の身長171cmは決して高くはないが、その分体幹やフィジカルに優れ肉体的にも打たれ強い。180cmクラスの選手を相手にした時のリーチの差をどう埋めていくのかが２連覇へのキーポイントになる。

またブロック後半で楽しみなのが２回戦、外川勝宗（No.80）とシピエン・ツェザリ（No.81）の対戦。外川は５月の全関西大会＋75kg級で優勝、その後アジアオープンカップにも出場して経験を積んだ。シピエンは昨年ヨーロッパ体重別－80kg級３位に入賞したI.K.O.ポーランドの新鋭。189cmの長身から繰り出されるスケールの大きい組手が魅力だ。

■男子－90kg級

－90kg級の日本一を決める上で、まさに役者が揃った感がある今大会。まずトーナメント先頭の山上大輝（No.85）は2024年の同級優勝者で昨年行われた第７回世界体重別で準優勝と、過去の実績では文句なしのNo.1。ただ、最近の無差別全日本大会では自分より体格が大きくてパワーのある相手に苦戦を強いられる傾向があり、今大会でも特に外国人選手との試合がカギになる。

その意味で山上の２回戦の相手と予想されるペリフ・ミハイロ（No.87）はまだ19歳と若いながら、今年は２月のUS体重別－90kg級で優勝、５月のヨーロッパ体重別－90kg級準優勝という伸び盛りの若武者。昨年の第57回全日本大会にも出場し、１回戦で鮮やかな上段膝蹴りを決めて技有りを奪った試合も記憶に新しい。仮に山上がペリフを退けたとしても、続く準々決勝では強豪シャブロフ・ニキータ（No.90）が待っている。山上がこの難敵をどう攻略するのか、あるいは逆に駆逐されてしまうのか、この試合の結果がその後の優勝争いを左右することになるのは間違いない。

その前に今年５月の千葉県大会で一本勝ち優勝を遂げた橋田陽彦（No.88）が２回戦でシャブロフに挑むことが予想され、186cmの新人・橋田が海外の強豪とどう戦うのかも興味深い。

そして昨年準優勝の秋山大知（No.91）は今年はそれ以上の成績が求められるが、秋山にとって大きなポイントになるのはやはり準々決勝のナヴァロ・アレハンドロ（No.96）との一戦だろう。今年５月のヨーロッパ体重別－90kg級３位と、49歳にして未だ健在をアピールするナヴァロとの試合は、世界大会を目指す秋山にとってキャリアの幅を広げる大事な試合になる。

トーナメント後半の先頭は昨年３位の木山獅勇（No.97）。木山は今大会の前哨戦として臨んだ４月の愛知県大会で加藤颯真、山上大輝を下して優勝。２年前に敗れた山上から技有りを奪って退けたことで自信を付け、心身ともに万全の仕上がりで本番を迎える。

昨年４位に初入賞した兼久啓太朗（No.102）は２回戦で髙木信（No.100）との対戦となる公算が大きいが、両者は１カ月前のアジアオープンカップでも対戦し、髙木が勝利している。兼久にとってはリベンジが懸かった試合となり、逆に髙木はこの試合に勝って上位進出へ弾みを付けたい。

そして、この階級で最も将来が期待されているのが、橋田裕彦（No.103）だ。３月の埼玉県大会では北村佳祐、岩田大といった格上の相手を撃破して優勝。前述の兄・陽彦とともに186cmの高身長で『田無のツインタワー』と言われ、打倒・大秦兄弟を密かに狙っている。

今年の－90kg級で最大の焦点となっているのが、第７回世界体重別－80kg級優勝者、大秦稜司（No.108）の２階級制覇の行方である。初戦の相手は、I.K.O.スペインのバナン・アナス（No.106）と国際親善大会18歳～34歳防具付きの部準優勝の鈴木奏成（No.107）の勝者。19歳のバナンはスペイン大会－90kg級で２連覇している期待の新人だ。

大秦にとって最大の難関はやはり相手の大きさだろう。昨年の第57回全日本大会でも６位に入賞して無差別でも活躍する大秦だが、階級が上がればほぼ同じ体重とはいえ身長や圧力もより大きな相手との連戦が続く。その中でダメージを残さず、無駄に体力を奪われずにどう勝ち上がって行くのか、逆にそれが無差別で優勝に近づく上での必須課題でもある。

■男子＋90kg級

来年開催される第14回世界大会を占う上で、大いに参考になりそうなメンバーが揃ったのが今回の＋90kg級だ。まず無差別世界大会で２大会連続３位のルジン・アンドレイ（No.109）。コバレンコ・コンスタンティンや西村界人に並ぶ世界大会優勝候補の筆頭格に挙げられるルジンの今回の出場は、ある種の驚きでもあるが、実はルジンは昨年12月に行われた全ロシア無差別大会決勝でフェドシーフ・アレクセイにまさかの上段蹴りを決められて敗退（結果は準優勝）。６月のアジアオープンカップでも３位止まりで成績は停滞している。そんな現状を打破すべく、今大会は並々ならぬ決意で挑む。

順当ならルジンと準々決勝で対戦するのは第57回全日本大会５位、グセイノフ・ラシャド（No.112）だが、そうはさせまいと気合いを発しているのが初戦で戦う岩田大（No.111）だ。岩田は全関東大会＋80kg級で３度優勝の実績を持つ日本が誇る重量級選手の一人。対するグセイノフは昨年まで主戦場にしていた－90kg級から階級を上げたばかりで、パワーや圧力では岩田も引けを取らず、戦い方次第で十分勝機が見込める。

男子＋90kg級 No.120／大秦零司

女子－50kg級 No.126／前川貴和女

女子－55kg級 No.135／所羽奈

男子＋90kg級 No.125／西村大河

女子－50kg級 No.134／小山内奈々美

女子－55kg級 No.140／鈴木千凌

昨年準優勝して一気に日本のトップファイターの仲間入りをした田水春樹（N.113）の初戦の相手は昨年ヨーロッパ体重別＋90kg級準優勝のコンダ・ブリス（No.114）。そのコンダを決勝で下してヨーロッパ体重別大会では2000年の木山仁（－90kg級）以来25年ぶりに日本人優勝の栄冠を勝ち取ったのが、次にエントリーしている西尾咲哉（No.115）である。

西尾はヨーロッパで負ったケガのため年末の第57回全日本大会は欠場したが、今回は万難を排して、まずは初戦のエキモフ・マクシム（No.116）との試合に全力を注ぐ。

エキモフは第57回全日本大会では西村大河（No.125）に敗れて入賞を逃したものの、アジアオープンカップではルジンを下して＋90kg級準優勝。あふれるパワーは衰えることを知らない。西尾にとって復帰第一戦の相手としては大き過ぎる壁だが、ここで挫けていては世界大会への道が遠ざかってしまう。

トーナメント後半は、右肩上がりで成績を上げているゴリウシキン・ダニル（No.117）が大本命。昨年第57回全日本大会３位入賞を皮切りに、３月のロシアンカップではグセイノフを決勝で下して優勝、６月のアジアオープンカップでは同タイプの先輩格だったエキモフを破って優勝とその勢いは止まらない。そこに待ったを掛けたいのが、ゴリウシキンの初戦の相手、昨年３位の長澤大和（No.118）だ。打ち合いに強い長澤の組手は、相手が大きければ大きいほど相性の良さを発揮するに違いない。

ゴリウシキンと準々決勝で対戦が想定される大秦零司（No.120）。昨年－90kg級で初優勝した大秦は、弟・稜司と同様に１階級上げての出場となるが、ゴリウシキンは２年続けて全日本大会で稜司を打ち破った因縁浅からぬ相手でもある。稜司の試合をセコンドでつぶさに見ていた大秦は、必ずや攻略の糸口を見出していることだろう。

後半のブロックは、全ロシア体重別＋90kg級準優勝ユラソフ・エフゲニー（No.121）と第13回世界大会日本代表・岡部慎太郎（No.122）の勝者が準々決勝で昨年優勝者、西村大河（No.125）と対戦する。西村にとって、昨年は純粋に日本一を決める試合だったが、今年は日本の砦として世界大会さながらの覚悟を持った戦いが求められる。

■女子－50kg級

昨年優勝した所羽奈が階級を上げたため本命不在となったこの－50kg級だが、昨年の成績で考えれば準優勝した小山内奈々美（No.134）が優勝候補、対抗馬は昨年３位の前川貴和女（No.126）になる。両者ともに20代前半で十分に伸びしろのある選手だが、さらに若い世代の選手たちがエントリーし、トーナメント全体に新鮮な印象を与えている。

まず前半では加藤愛唯（No.129）に注目。昨年の全日本高校生大会準優勝者で今年は一般部の埼玉県大会と愛知県大会で入賞している。初戦は昨年の第７回世界体重別－55kg級にI.K.O.フィリピン代表として出場したカルボネル・ジャナ・ニコル（No.128）との対戦だが、全く臆するところがない。

初優勝を狙う前川の初戦の相手、竝木麗奈（No.127）は神奈川県大会で優勝し、埼玉県大会でも３位に入賞するなど、小柄な体格を活かした組手を展開する。

そしてこの階級で要チェックなのが、初出場の岸田風穂（No.130）だ。国際親善大会・国際親善エリート大会で2022年から2025年まで５連覇を達成。攻防一体の組手で、瞬時に上段に蹴りを決める能力に長け、５月に行われた群馬県大会では初めて一般部に出場し上段蹴りで技有りを奪って優勝している。対する富沢真優（No.131）も上段蹴りを得意技にしていて、どちらの上段が先に決まるか、スリリングな展開が予想される。

この階級唯一の１回戦、村古真優（No.132）は５月の国際親善大会３位、対する神田乙璃沙（No.133）は2021年全関東大会－55kg級優勝者。神田が得意の上段前蹴りを決めるか、村古が手数とスピードで上回るか。

小山内と前川は昨年入賞した自信や経験を自分の組手に活かして勝ち上がりたいところだが、ユース世代の新しいスタイルに対応できるかどうか、それがこの階級の優勝の行方を左右する。

■女子－55kg級

－55kg級も前年優勝者の森岡優海が階級を上げたことで、出場する選手の中に優勝経験者はいないが、本命視されるのは－50kg級で２度優勝した所羽奈（No.135）と昨年の第７回世界体重別－55kg級準優勝の鈴木千凌（No.140）の二人だ。

この両者と準決勝で対戦する相手が決まる１回戦、まず前田雫（No.136）は森岡優海や小山内奈々美の後輩で身長167cmの期待の新人。表情を変えず淡々とした組手ながら５月の全関西大会で優勝して今大会に向けて弾みを付けた。一方、前田と対戦する櫻田まどか（No.137）は体格はそれほど大きくないが、決して試合を諦めない熱いハートが持ち味。対照的な両者の対戦で勝利の女神はどちらに微笑むのか。

トーナメント後半の千葉香（No.138）と星野珠璃（No.139）の試合は昨年10月の全関東大会－55kg級決勝戦の再戦。この時は千葉が判定勝ちで終わったが今回は果たして…。

前述の通り、所と鈴木の本命同士の決勝対決という見方ができる一方で、櫻田や星野が接戦をものにして勝ち上がって行く構図やユース世代の前田と千葉が一気に台頭する可能性も否定

女子－60kg級 No.141／森岡優海

女子－65kg級 No.149／カザリアン・アレクサンドラ

女子＋65kg級 No.156／岡田冴月

60kg級 No.148／今井彩弥

女子－65kg級 No.155／宮本神

女子＋65kg級 No.160／カサノワ・アナスタシア

できない。また、23歳の櫻田が最年長という中でのジェネレーション対決も興味深い。

■女子－60kg級

昨年から新設されたこの階級は、－55kg級で決勝を争った森岡優海（No.141）と福永ゆら（No.145）がともに階級を上げて一段と層が厚くなった。年末の第57回全日本大会で３位に入賞し、優勝候補の筆頭でもある森岡は１回戦で2022年３位の中野里咲（No.142）と対戦。中野はベテランの意地を見せて何とか森岡に喰らいついて接戦に持ち込みたい。

また、昨年準優勝の鈴木花菜（No.144）の相手は若手の石神詩英羅（No.143）。石神は双子の弟・詩英呂とともに選手活動に励み、2024年の全日本高校生大会で優勝。石神の前に出る圧力には定評があり、鈴木の対応力が試される一戦となりそうだ。

後半は、まず福永と昨年の全ロシア体重別－65kg級３位のオフチンニコワ・オルガ（No.146）が対戦。体重を上げた福永と体重を下げたオフチンニコワ。正反対の両者の対決となるが、福永には相手のパワーや圧力に負けない技術力が求められる。最後は昨年優勝者の今井彩弥（No.148）と昨年３位の森稀美華（No.147）の対戦。これは昨年準決勝の再戦でもあり、リベンジに懸ける森の想いの強さが試される。

過去の実績を考慮すれば、森岡の決勝進出が予想されるが、逆ブロックはどんな展開になるか分からない。今井と福永はかつて同じ階級で試合を繰り返し、ほぼ五分の戦績で互いの手の内もよく知っている。ただ直近では昨年福永が２勝しているという事実もある。２連覇へ向けた今井の執念が、どんな形で試合に現れるのかに注目したい。

■女子－65kg級

体重別の日本一の座を争う今大会。昨年は出場しなかった本村愛花（No.150）や知念琉花（No.152）が今年は参加を決め、そこに＋65kg級２連覇の宮本神（No.155）が加わる。さらに第７回世界体重別－55kg級優勝者カザリアン・アレクサンドラ（No.149）の電撃参戦でこの階級が一気に世界レベルに引き上げられた。

まず初戦でカザリアンと本村が対戦。約18cmの身長差から繰り出される波状攻撃を、百戦錬磨の本村がどのように回避して克服するのか、その戦い方に期待と注目が集まる。

続いて徳田茄麗（No.151）と知念の一戦は、過去の成績を見れば知念が有利だが、徳田が自分の殻を破るような試合展開を見せれば予想を覆す結果もあり得る。そして昨年優勝者の藤本美桜（No.153）は、2024年全ロシア体重別－65kg級準優勝ベロワ・ダリア（No.154）と試練の１回戦を迎える。これまで強豪外国人選手との対戦経験が少ない藤本にとって、この試合は世界大会に向けた試金石になる。

準決勝でもしカザリアンと知念が対戦すれば、第13回世界大会の再戦。この時、延長戦２－３の判定で惜敗した知念にとって、カザリアンは是が非でも負けられない相手だ。

トーナメント後半はやはり宮本に視線が集中する。無差別初優勝を目指す宮本の立場からすれば、誰が相手でも自分の組手を貫いて勝つこと以外は負けと同じ。今大会は勝利は当然ながら、その試合内容が問われる。

■女子＋65kg級

＋65kg級で２連覇した宮本神不在の中で新たに存在感を示すのは誰なのか、それが今年のこの階級の重要なポイントになっている。

まずトーナメント前半は昨年準優勝の岡田冴月（No.156）と2024年全ロシア体重別＋65kg級３位ロマネンコ・ダリア（No.157）が初戦の準決勝で対戦。岡田にとって注意すべきは約20kgの体重差だが、左右へ回り込んでヒットアンドアウェーの展開に持ち込めれば勝機は必ず訪れる。

後半はまず昨年３位の岡野結衣（No.158）と階級を上げた河合風香（No.159）が対戦。岡野は進学のためこの春から神奈川川崎中央支部に移籍。心機一転でリフレッシュした戦いを見せたい。一方の河合は国際親善大会＋65kg級（防具付きの部）に出場したが、身体がまだ70kgの体重に馴染まずに苦戦を強いられた。この３カ月でどこまで動ける身体を作り上げているかが勝敗を分けるカギになる。

その試合の勝者と準決勝を争うのはカサノワ・アナスタシア（No.160）。2017年の無差別全日本女子大会優勝者で、かつてはパワー全開で対戦相手を弾き飛ばすような組手が特徴的だった。10年近い年月が経ち、現在31歳となったベテランがどんな風に進化しているのか、注目したい。

男女計10階級のうち、同じ階級で連覇を狙う選手が５名、階級を変えて昨年に続く２連覇と２階級制覇を目指す選手が５名、そこに海外の強豪が加わり、例年以上にレベルが高く、見所の多い大会となっている。

「団体や流派の垣根を超えた交流」が、2022年に全日本体重別大会がスタートしてからの一貫したテーマの一つだが、今大会はさらに「世界への挑戦」が加わり、グローバルな視点で空手界の進化や発展に向けた試合が数多く展開されることが期待される。

今大会の延長線上に秋の無差別全日本選手権大会があり、来年の世界選手権大会があるというのはもはや既定路線だが、特に若い選手たちの視線はさらにその先の未来へと注がれている。選手たちの努力と情熱が、新たな可能性を切り拓き、夢を実現させるカギとなる――。

男子－60kg級／No.1　KOZLOWSKI IGOR

コズロフスキ・イゴール

パワフルな突きで効かせて勝つ正統派 I.K.O.ポーランドの新鋭が頂点を狙う

I.K.O. POLAND.1級
172cm／60kg／21歳
◎主な戦績
2025ヨーロッパ体重別－60kg級優勝
2026ヨーロッパ体重別－60kg級2位

レベルの高いヨーロッパ体重別大会で昨年－60kg級優勝、今年は準優勝と安定した成績を挙げているコズロフスキ・イゴール。パワフルな突きの連打で相手にプレッシャーを与え、最後は確実に効かせて勝つ。小手先のテクニックに頼らない正統派の組手スタイルは逆に新鮮でもある。I.K.O.ポーランドで将来が期待される21歳の新鋭が、日本で大輪の花を咲かせる。

男子－60kg級／No.17　AKUTSU REIN

阿久津怜音

スピードとセンスあふれる組手が魅力 栃木勢で初の全日本体重別優勝者へ

あくつ・れいん
栃木南支部.初段
163cm／59kg／20歳
◎主な戦績
2024全関東大会－60kg級優勝
2025栃木県大会優勝
2025全日本体重別－60kg級2位

コンスタントに強豪を輩出する北関東の雄・栃木南支部からまた一人有望な新人が誕生した。19歳で初出場した昨年の全日本体重別で決勝に進出。ベテラン辻隆行には及ばなかったがスピードとセンスあふれる組手は多くの観客の心を惹き付けた。栃木勢では2022年に島田景虎が同じ－60kg級で準優勝。先輩があと一歩届かなかった優勝の栄冠を、阿久津怜音が掴み取る。

男子－70kg級／No.18　SAGAWA JINSEI

佐川人成

蹴り技に磨きをかけ仕上がりは万全 目指すは坂田龍星への雪辱と初優勝

さがわ・じんせい
大阪南支部.初段
173cm／70kg／22歳
◎主な戦績
2023·2024全関東大会－70kg級優勝
2025全日本体重別－70kg級2位
2026全関西大会－75kg級優勝

昨年－70kg級で準優勝した佐川人成は、就職活動のため年末の無差別全日本大会は不参加だったが、仕切り直しとなった5月の全関西大会では上段への蹴り技で2つの一本勝ちをマークして－75kg級優勝。万全の仕上がりを見せた。昨年は優勝した坂田龍星に決勝で敗れて悔し涙を流したが、今年こそ坂田への雪辱と初優勝に目標を定めて不退転の決意で今大会に挑む。

男子－70kg級／No.26　UEDA KOTONOSUKE

上田琴乃助

多くのユース選手の中で期待の注目株 抜群の勝負勘を発揮して大会の主役に

うえだ・ことのすけ
東京城北支部.初段
174cm／69kg／17歳
◎主な戦績
2025全関東大会－70kg級優勝
2026埼玉県大会3位
2026アジアオープンカップ－70kg級2位

今大会に出場するユース選手の中で最も実績があり、活躍が期待されるのが上田琴乃助だ。昨年一般部に転向後、10月の全関東大会－70kg級優勝。今年3月の埼玉県大会では全日本体重別4位の加藤竜成を破り3位。そして6月はアジアオープンカップ－70kg級準優勝と着実に歩を進めている。持ち前の負けん気と抜群の勝負勘を発揮して今大会の主役の座を射止める。

男子－70kg級／No.34　HIRASAWA TAKUMI

平沢拓巳

体重別は過去2回入賞実績がある実力者 課題を克服し初タイトル獲得を見据える

ひらさわ・たくみ
東京城西支部.弐段
178cm／70kg／25歳
◎主な戦績
2023全日本体重別－70kg級4位
2025全日本体重別－70kg級3位

全日本体重別はこれまで－70kg級で2022年4位、2025年3位の2回入賞実績がある平沢拓巳。178cmの長身で懐が深く、巧みに自分のペースに持ち込む試合コントロールに長けている。昨年末の無差別全日本大会では6位に入賞した大秦稜司と好勝負を演じるなど、課題でもあった粘り強さが備わってきた。その実力が最大限に発揮されれば初タイトルも夢ではない。

男子－70kg級／No.50　SAKATA RYUSEI

坂田龍星

昨年4度目の挑戦で遂に頂点到達 目標の2連覇へ失敗は許されない

さかた・りゅうせい
真正会.弐段
177cm／70kg／27歳
◎主な戦績
2022全日本体重別－70kg級3位
2024全日本体重別－70kg級4位
2025全日本体重別－70kg級優勝
2023～2025真正会全日本大会－75kg級優勝

昨年、4度目の出場にして遂に全日本体重別－70kg級の頂点に立った坂田龍星。直後から「来年は連覇を狙う」と公言していたが、4月の真正会全日本は顔面殴打の反則負けでまさかの3位、4連覇中だった記録も途絶えた。この悔しさが「二度と失敗は許されないという今大会へのさらなる原動力になった」と坂田。技の正確性を磨き、得意の上段蹴りで2連覇を目指す。

男子－80kg級／No.51　COSENTINO GINO

コセンティーノ・ジノ

体重別と無差別のヨーロッパ王者が初出場の全日本体重別で一気に頂点へ

I.K.O. FRANCE、弐段
182cm／79kg／27歳
◎主な戦績
2023～2026ヨーロッパ体重別－80kg級優勝
2024･2025ヨーロッパ無差別優勝

今、ヨーロッパで最も勢いがあり、安定した成績を挙げているのがコセンティーノ・ジノである。ヨーロッパ体重別では2023年～2026年まで－80kg級４連覇、無差別では2024年・2025年を連覇し、負けなしの状況だ。その一方で、日本で開催される大会での入賞経験はまだない。初出場となる全日本体重別大会で、ヨーロッパ王者のスケールの大きな戦いに注目したい。

男子－80kg級／No.67　AKIYAMA KAZUTO

穐山和斗

リーチを活かした組手と膝蹴りが得意弱冠20歳の若武者が一気に駆け抜ける

あきやま･かずと
東京城西支部、初段
185cm／77kg／20歳
◎主な戦績
2025埼玉県大会2位
2025全日本大会－80kg級4位

長いリーチから放つ直突きや前蹴りで相手を懐に入れさせず、接近戦では膝を効果的に使い、ゼロ距離から上段膝蹴りを決めるなど、185cmの長身を活かした組手で昨年初入賞した穐山和斗。昨年は準決勝で優勝した高田悠一郎との同門対決で敗れたが、今年はメンタル面も強化し、先輩や格上の選手が相手でも臆することはない。弱冠20歳の若武者が、一気に駆け抜ける。

男子－80kg級／No.68　NIN SHINGO

任 梓豪

昨年全日本体重別の男子最年少入賞者期待を背負い今年こそ“一番”を獲る

にん･しんご
東京城北支部、初段
178cm／79kg／19歳
◎主な戦績
2024全関東大会－80kg級優勝
2025全日本体重別－80kg級3位
2026真正会全日本大会－85kg級3位

2007年生まれの任梓豪は、昨年の全日本体重別大会・男子の中で最も若い入賞選手だった。７歳で国際親善大会初優勝、その後の輝かしい実績もあり初出場で３位入賞は期待に違わぬ活躍と言えた。しかし、２年目の今大会は周囲の見方や期待値の度合いも異なる。それを最も強く感じているのが任本人である。アグレッシブな組手に磨きをかけ、今年こそ“一番”を獲る。

男子－80kg級／No.84　TAKATA YUICHIRO

髙田悠一郎

この一年は精度と安定感をテーマに稽古その成果を発揮して2連覇を成し遂げる

たかた･ゆういちろう
東京城西支部、初段
171cm／80kg／23歳
◎主な戦績
2022全関東大会－80kg級4位
2023全関東大会－80kg級2位
2025岡山県大会優勝
2025全日本体重別－80kg級優勝

昨年行われた全日本体重別大会の各優勝者の中で、彗星のごとく現れた印象を与えたのが髙田悠一郎である。171cmと身長はそれほど高くないが、フィジカルの強さを武器に、突きと下段、そして膝蹴りで相手を打ち負かしていく。昨年の優勝に満足せずこの一年は「精度」と「安定感」をテーマに稽古に励んできた。その成果が発揮できれば自ずと２連覇に手が届くはずだ。

男子－90kg級／No.85　YAMAGAMI DAIKI

山上大輝

捲土重来を期して再起を誓う今大会2度目の優勝で完全復活を証明する

やまがみ･だいき
東京城北支部、初段
182cm／86kg／25歳
◎主な戦績
2023第54回全日本大会8位
2023全日本体重別－80kg級2位
2024全日本体重別－90kg級優勝
2025第7回世界体重別－90kg級2位

独特のモーションから放つ上段前蹴りで数々の劇的な技有り・一本のシーンを生み出してきた山上大輝。しかし、課題はその前蹴りが相手に研究されて当たらなかった時にどうするのか？昨年末の無差別全日本大会は初日敗退、４月の愛知県大会も優勝に届かなかった。捲土重来を期す今大会、課題を明確にクリアできた時、2024年に続く２度目の優勝はすぐ目の前にある。

男子－90kg級／No.91　AKIYAMA DAICHI

秋山大知

堅実な組手で昨年準優勝と一気に躍進強豪外国人を退け優勝に王手をかける

あきやま･だいち
東京城西西多摩支部、初段
176cm／90kg／22歳
◎主な戦績
2024全関東大会＋80kg級優勝
2023･2025東日本大会優勝
2025全日本体重別－90kg級2位

この階級でライバルと目される山上大輝や木山獅勇に比べると組手に派手さはない。だが、それだけに堅実さが感じられ、一つのきっかけで飛躍的に変わるという予感が漂っているのが秋山大知である。ポイントとなるのは格上の強豪外国人との対戦。競り合いになった時に、どう自分の勝ちパターンに繋げて行くのか。それがクリアできれば優勝への道筋が見えてくる。

男子－90kg級／No.96　NAVARRO ALEJANDRO

ナヴァロ・アレハンドロ

30年近く第一線で活躍する伝説的存在 老雄の一挙手一投足から目が離せない

I.K.O. SPAIN、参段
179cm／89kg／49歳
◎主な戦績
2012第44回全日本大会優勝
2013第5回世界体重別－90kg級優勝
2025第7回世界体重別－90kg級3位
2021～2025ヨーロッパ体重別－90kg級優勝

今年９月の誕生日に50歳を迎えるナヴァロ・アレハンドロ。かつてこれほど長く現役を続け、しかも世界の第一線で活躍を続けた選手がいただろうか。昨年は世界体重別３位入賞、１カ月後のヨーロッパ体重別では５連覇を達成し、内外に健在ぶりを示した。キャリアの終盤にあることは誰よりも本人が自覚している。だからこそレジェンドの一挙手一投足から目が離せない。

男子－90kg級／No.97　KIYAMA SHIYU

木山獅勇

自分の組手を築き上げて挑む大一番 確かな結果を残し成長した証を示す

きやま・しゆう
愛知名古屋支部、初段
186cm／90kg／20歳
◎主な戦績
2023・2024・2026愛知県大会優勝
2024全日本体重別－90kg級4位
2024西日本大会2位
2025全日本体重別－90kg級3位

186cmの長身から繰り出すスケールの大きな組手が魅力の木山獅勇。以前は心身共にまだ少年部のあどけなさが抜け切れていないという見方もされたが、４月の愛知県大会では山上大輝から技有りを奪い快勝。腰を落とした安定感のある構えや鋭い膝蹴りなど、自分のスタイルを築き上げようという意図が見られた。20歳になって初めて迎える今大会を勝利で祝いたい。

男子－90kg級／No.102　KANEHISA KEITARO

兼久啓太朗

体重別4位の自信と真正会王者の誇り アグレッシブな組手で初優勝を目指す

かねひさ・けいたろう
東京城北支部、初段
179cm／90kg／26歳
◎主な戦績
2025全日本体重別－90kg級4位
2026真正会全日本大会＋85kg級優勝
2026アジアオープンカップ－90kg級4位

真正会全日本＋85kg級で優勝した兼久啓太朗。昨年全日本体重別で初入賞して自信を付け、真正会全日本王者の誇りと共に挑んだアジアオープンカップは－90kg級準決勝で敗れたものの、アグレッシブな組手が評価されてベストスピリット賞を受賞した。セミコンタクトルールで３度優勝実績のある兼久がどうしても手に入れたいもの、それはI.K.O.極真ルールの頂点だ。

男子－90kg級／No.108　OHATA RYOJI

大秦稜司

階級変更は来年世界大会優勝への通過点 2階級制覇の先に夢の実現が待っている

おおはた・りょうじ
京都支部、初段
170cm／85kg／25歳
◎主な戦績
2022全日本体重別－80kg級優勝
2022第54回全日本大会3位
2025第7回世界体重別－80kg級優勝
2025第57回全日本大会6位

来年の無差別世界大会制覇に向けて、大秦稜司が未知の領域に挑戦する。体重別では－80kg級で2022年に全日本、昨年は世界を制した。この一年で計画的に肉体改造を行い、約5kgの増量に成功。本人曰く「－90kg級で戦える身体を手に入れた」という。階級変更は来年に迫った世界大会で優勝するための通過点。２階級制覇の先に大秦の大いなる夢の実現が待っている。

男子＋90kg級／No.109　LUZIN ANDREI

ルジン・アンドレイ

押しも押されもせぬ優勝候補筆頭 世界最高峰の実力を満天下に示す

I.K.O. RUSSIA、参段
187cm／96kg／30歳
◎主な戦績
2019第12回・2023第13回世界大会3位
2024・2025全ロシア体重別＋90kg級優勝
2025第7回世界体重別＋90kg級4位
2026アジアオープンカップ＋90kg級3位

全日本体重別大会が世界レベルに引き上げられる。その最たる要因は無差別世界大会２連続３位ルジン・アンドレイの出場だ。今でこそ世界１、２を争う実力者だがまだ若手だった2014年、18歳のルジンは第31回全日本ウェイト制に出場して－80kg級３位。会場も同じ墨田区総合体育館だった。あれから12年、優勝候補の筆頭格としてルジンが再び墨田の試合場に立つ。

男子＋90kg級／No.112 GUSEINOV RASHAD

グセイノフ・ラシャド

I.K.O.ロシア次世代エース候補が参戦 ＋90kg級に階級を上げ世界大会を睨む

I.K.O. RUSSIA、初段
181cm／96kg／22歳
◎主な戦績
2023全ロシア体重別－90kg級優勝
2024第56回・2025第57回全日本大会5位
2025ロシアンカップ－90kg級優勝
2025第7回世界体重別－90kg級優勝

I.K.O.ロシア次世代のエース候補と呼び声の高いグセイノフ・ラシャド。昨年は世界体重別－90kg級優勝でその名を轟かすと、年末の無差別全日本大会で５位入賞。大型の西村界人と延長に及ぶ接戦を繰り広げ実力の高さを示した。若さあふれる強靭な肉体と決して止まることのない攻撃が魅力の22歳。今大会は＋90kg級に階級を上げ、来年の無差別世界大会を見据える。

男子＋90kg級／No.113　TAMIZU HARUKI

田水春樹

天性のパワーと城西支部で磨かれた技術 2つを融合させ今年こそ優勝を掴み取る

たみず・はるき
東京城西支部、初段
183cm／105kg／21歳
◎主な戦績
2024第56回全日本大会新人賞
2025埼玉県大会優勝
2025愛知県大会優勝
2025全日本体重別+90kg級2位

日本選手随一のパワーファイター田水春樹。昨年の全日本体重別は初めて準優勝して自信を深めたと同時にあと一歩届かない悔しさも味わった。昨年全日本大会での経験から自分より大型の相手にどう立ち向かうのかが今大会のテーマ。天性のパワーと名門・東京城西支部で磨かれた技術が融合を果たした時、昨年の成績を超える結果（＝優勝）が得られるに違いない。

男子＋90kg級／No.117　GORIUSHKIN DANIL

ゴリウシキン・ダニル

桁外れのパワーが全ての技の原動力 アジアオープンに続く栄冠を勝ち取る

I.K.O. RUSSIA、弐段
195cm／106kg／28歳
◎主な戦績
2024・2025全ロシア体重別+90kg級3位
2024第56回全日本大会4位
2025第57回全日本大会3位
2026アジアオープンカップ+90kg級優勝

これまで190cm・100kgを超える同体格のエキモフ・マクシムに次ぐ二番手と見られていたゴリウシキン・ダニルが、6月のアジアオープンカップでは遂にエキモフを下して+90kg級優勝。大山総裁の「技は力のうちにあり」の格言通り、桁外れのパワーがゴリウシキンの技の原動力になっている。「心・技・体」全てのリミッターが外された時、ゴリウシキンに敵う者はいない。

男子＋90kg級／No.118　NAGASAWA YAMATO

長澤大和

強打と打たれ強さは体重別でこそ活きる 大型外国人を撃ち破り優勝圏内を目指す

ながさわ・やまと
北大阪支部、初段
177cm／93kg／26歳
◎主な戦績
2021西日本大会4位
2022全日本体重別+90kg級2位
2025東日本大会3位
2025全日本体重別+90kg級3位

昨年11月の真正会全日本大会ではカラム・ブラックを破り+75kg級優勝。2019年の第12回世界大会に19歳で初出場してから6年掛かりで初めて『全日本タイトル』を獲得した。強い打撃と打たれ強さには定評があり、動きの速い軽量の相手と戦うより同体格以上の選手が集まる体重別でこそ持ち味を発揮する。大型外国人選手を撃破して昨年3位の成績を上回りたい。

男子＋90kg級／No.120 OHATA REIJI

大秦零司

大型選手との連戦は不安よりも楽しみ 2階級制覇で世界王座を手繰り寄せる

おおはた・れいじ
京都支部、初段
172cm／95kg／25歳
◎主な戦績
2019・2020・2022西日本大会優勝
2022全関西大会優勝
2024全日本体重別−90kg級2位
2025全日本体重別−90kg級優勝

昨年−90kg級で初優勝した大秦零司が、今年は弟・稜司と同様来年の世界大会を意識して一つ上の+90kg級に出場する。昨年末の無差別全日本出場を見送ったのも、無差別で戦える身体作りに集中したからだ。100kgを超える大型選手との連戦が予想されるが、大秦は「不安よりも楽しみのほうが大きい」と頼もしく語る。必ず2階級制覇を達成し世界王座を手繰り寄せる。

男子＋90kg級／No.125　NISHIMURA TAIGA

西村大河

前年優勝者のプライドを懸けた戦い 全ての外国人を退けて2連覇を狙う

にしむら・たいが
東京城北支部、初段
183cm／98kg／22歳
◎主な戦績
2022全日本体重別−90kg級3位
2024全日本体重別+90kg級3位
2025全日本体重別+90kg級優勝
2025第57回全日本大会8位

西村大河にとって2025年は飛躍の年になった。それまで多くの有望新人の中の一人だったが、全日本体重別では田水春樹との激闘を制して+90kg級優勝。無差別全日本大会は過去2度敗れているエキモフ・マクシムを撃破して初のベスト8入賞。日本代表のエースの座を争う中核選手に成長した西村に課せられたテーマは、全ての外国人を退けて2連覇を成し遂げることだ。

女子−50kg級／No.134　OSANAI NANAMI

小山内奈々美

昨年準優勝者が大きな覚悟で挑む今大会 新たな支部の開設を初優勝で祝いたい

おさない・ななみ
東京城西南多摩支部、初段
155cm／48kg／23歳
◎主な戦績
2024北海道大会優勝
2025全日本体重別−50kg級2位

世界チャンピオン佐藤七海を輩出した東京城西国分寺支部南大沢道場は今年春から東京城西南多摩支部として独立。支部開設・第1号優勝者となるべく大きな覚悟で今大会に挑むのが同支部所属で昨年準優勝者の小山内奈々美である。昨年は実績で優る所羽奈に敗れたが、今年は小山内が実績的に最上位。今年こそ頂点に辿り着き、自らの手で新支部開設の祝砲をあげたい。

女子－55kg級／No.135　TOKORO HANA

所 羽奈

真正会全日本2大会連続優勝で自信 必ず2階級制覇して無差別に繋げる

ところ・はな
東京城北支部、初段
155cm／53kg／20歳
◎主な戦績
2023・2025全日本体重別－50kg級優勝
2025 真正会全日本大会無差別級優勝
2026 真正会全日本大会＋50kg級優勝

－50kg級で２度の優勝実績を持つ所羽奈が、今大会では－55kg級にエントリー。階級を上げた理由を所は「自分自身のレベルアップのため」と語り、視線の先には無差別の全日本大会や世界大会がある。真正会の全日本大会では昨年11月に無差別級、今年４月は＋50kg級を制して２連覇。大きな選手との対戦で経験値を高めた所が、自信を持って２階級制覇に挑む。

女子－55kg級／No.140　SUZUKI CHISHINO

鈴木千凌

－55kg級の世界トップレベルの実力 今大会初優勝で無差別への道を拓く

すずき・ちしの
東京城南池上支部、初段
165cm／53kg／19歳
◎主な戦績
2023全関東大会－55kg級2位
2023全日本体重別－55kg級4位
2024全日本体重別－55kg級2位
2025第7回世界体重別－55kg級2位

昨年世界体重別－55kg級で準優勝した鈴木千凌。この階級の世界トップ選手だが、全日本体重別は2024年準優勝が最高位でまだ優勝経験はない。今大会に向け「技術面だけでなく稽古の取り組み方を一から見直してきた」と鈴木。当然世界大会も視野に入れているが、まずはこの全日本体重別で勝つことが大前提。鈴木が表彰台の頂上に立った時、無差別への道が拓ける。

女子－60kg級／No.141　MORIOKA YUMI

森岡優海

無差別全日本3位入賞で絶対の自信 世界大会を見据え2階級制覇に挑む

もりおか・ゆうみ
東京城西南多摩支部、初段
167cm／57kg／20歳
◎主な戦績
2023全日本体重別－55kg級優勝
2025 世界体重別－55kg級4位
2025全日本体重別－55kg級優勝
2025第57回全日本大会3位

過去に－55kg級で２度優勝した森岡優海が－60kg級に出場、２階級制覇に挑む。今後を見据えてさらなるパワーや圧力の強化が必要だと考えた上での決断だが、自信の源になっているのは昨年の無差別全日本大会での活躍だ。上位４名のうち、最も軽量の森岡が３位に入賞し、粘り強さや精神面の成長を示した。２度目の世界大会を目指した森岡の挑戦はここから始まる。

女子－60kg級／No.144　SUZUKI KANA

鈴木花菜

昨年準優勝で全日本クラスの実力を証明 成長した姿を見せて夢の初優勝を現実に

すずき・かな
総本部横須賀道場、初段
156cm／57kg／25歳
◎主な戦績
2023全関東大会＋55kg級3位
2024東日本大会＋55kg級優勝
2025東日本大会＋55kg級4位
2025全日本体重別－60kg級2位

これまで地方大会や地区大会で実績を積んできた鈴木花菜が、昨年８月の全日本体重別大会で新設された－60kg級で準優勝。全日本クラスの大会で活躍する実力があることを証明した。長所でもある身体の柔らかさを活かした蹴り技や、左右への回り込みなど技術的にも優れ、あとは優勢に試合を終わらせるマネジメント能力が備われば、夢の初優勝が現実のものとなる。

女子－60kg級／No.145　FUKUNAGA YURA

福永ゆら

優れた機動力と体幹の強さが持ち味 階級を上げて無差別へのステップに

ふくなが・ゆら
東京城西支部、初段
154cm／55kg／21歳
◎主な戦績
2024西日本大会優勝
2024・2025埼玉県大会優勝
2023・2025東日本大会－55kg級優勝
2025全日本体重別－55kg級2位

昨年末の無差別全日本大会では優勝したカルポワ・エカテリーナに敗れた福永ゆらだが、カルポワが「今大会で一番戦いにくかった」と評したのが福永だった。小柄な体格ゆえに機動力に優れ、体幹も強い。ユース時代から東京城西支部で鍛え抜かれたテクニックとフィジカルが開花するまで、あともう少し。今年は－60kg級に階級を上げ、無差別へのステップにする。

女子－60kg級／No.148　IMAI AYA

今井彩弥

型競技でも好成績を残す昨年優勝者 ライバルを退け2連覇を成し遂げる

いまい・あや
東京城西西多摩支部、初段
160cm／59kg／22歳
◎主な戦績
2025愛知県大会優勝
2025東日本大会－55kg級2位
2025全日本体重別－60kg級優勝
2026アジアオープンカップ－65kg級3位

何事にもひたむきに貪欲に取り組む今井彩弥。特に空手に対する真摯な姿勢が今井の活躍を支えている。普段から組手はもちろん型の稽古にも熱心に励み、５月の国際親善大会は型競技３位入賞。続く６月のアジアオープンカップは型と組手でどちらも３位という結果を残した。様々な経験を通して得た引き出しの多さとスピード感あふれる組手で必ず２連覇を成し遂げる。

女子－65kg級／No.149　KAZARIAN ALEKSANDRA

カザリアン・アレクサンドラ

173cmの長身と長いリーチが最大の武器 世界体重別－55kg級優勝者が王座獲りへ

I.K.O. RUSSIA、弐段
173cm／61kg／23歳
◎主な戦績
2025 第7回世界体重別－55kg級優勝
2025 全ロシア体重別－55kg級優勝
2025 全ロシア無差別大会3位
2026 ロシアンカップ－65kg級優勝

173cmの大きな身体を躍動させて昨年は世界体重別－55kg級で優勝したカザリアン・アレクサンドラ。当時から「無差別の世界大会で優勝することが私の夢」と語っていたカザリアンは、体重を約5kg増量し、階級を2つ上げて今大会は－65kg級に出場する。長い手足はそれだけで相手にとって脅威。全日本体重別は2024年以来2度目の出場、世界レベルの組手で優勝を狙う。

女子－65kg級／No.152　CHINEN RUKA

知念琉花

技と動きの連動と精度を上げ臨む今大会 夢の世界大会制覇に向け優勝は必須条件

ちねん・るか
神奈川横浜北支部、初段
171cm／65kg／24歳
◎主な戦績
2021 東日本大会優勝
2021 全関東大会＋55kg級優勝
2022 第54回全日本大会3位
2025 第7回世界体重別－65kg級2位

171cmの長身と天性の素質でユース時代から、「未来の女子チャンピオン」と期待されてきた知念琉花だが、意外にも全日本では無差別・体重別共に優勝経験はない。延長戦を重ねた末に接戦を落とす傾向があり、今回は最後の苦しい場面で勝ちに繋げるための、技や動きの連動と精度をテーマに稽古を積んできた。夢の無差別世界制覇に向け、体重別の優勝は必須条件だ。

女子－65kg級／No.153　FUJIMOTO MIO

藤本美桜

前年優勝者として負けは許されない 岩手の強さを全国へ、世界へ広める

ふじもと・みお
総本部岩手道場、初段
163cm／64kg／23歳
◎主な戦績
2024全日本体重別－65kg級4位
2024全東北大会2位
2025全日本体重別－65kg級優勝

1年前に敗れた相手2人に得意の上段蹴りを決めて技有りを奪った藤本美桜。昨年の全日本体重別大会で、藤本は地元・岩手に初の栄冠をもたらした立役者となり、本人の自覚も一段階引き上げられた。夢だった無差別世界大会が、現実の目標として設定されたのだ。「岩手の強さを全国へ、さらに世界へ広めたい」と藤本。前年優勝者の誇りを胸に、2連覇へと突き進む。

女子－65kg級／No.155　MIYAMOTO JIN

宮本神

階級変更で新たなスタイルに要注目 進化した組手で2階級制覇を目指す

みやもと・じん
本部直轄浅草道場、初段
167cm／65kg／25歳
◎主な戦績
2023全日本体重別＋55kg級2位
2024・2025全日本体重別＋65kg級優勝
2024 第56回・2025第57回全日本大会2位
2025 第7回世界体重別＋65kg級2位

全日本体重別＋65kg級2連覇、無敵の強さを誇っていた宮本神が、今年は階級を変えて－65kg級に出場する。その理由を「スピードや動きの質を上げるため」と宮本。体重調整も順調に進み、今までのパワー主体の組手から、よりインパクトの強さを重視し、技のキレや崩しの技術を磨いてきた。2階級制覇が懸かる今大会、宮本が進化させた組手スタイルを披露する。

女子＋65kg級／No.156　OKADA SATSUKI

岡田冴月

女子＋65kg級のトップコンテンダー 全てを発揮して今年こそ頂点に立つ

おかだ・さつき
東京城西西多摩支部、初段
166cm／75kg／19歳
◎主な戦績
2022西日本大会優勝
2024 全日本体重別＋65kg級3位
2025 全日本体重別＋65kg級2位

全日本体重別は2024年・2025年と2年続けて＋65kg級で入賞した岡田冴月。いずれも優勝した宮本神との対戦で敗れたものだが、この階級で乗り越えるべき目標としていた宮本は今大会は－65kg級に出場することで、岡田が＋65kg級のトップコンテンダーになった。重厚感ある下段廻し蹴りやユース時代から定評のあった試合運びなど全てを発揮して今年こそ頂点に立つ。

女子＋65kg級／No.160　KHASANOVA ANASTASIIA

カサノワ・アナスタシア

2017年の全日本チャンピオンが参戦 パワーと熟練の技巧で完全復活を誓う

I.K.O. RUSSIA、弐段
170cm／73kg／31歳
◎主な戦績
2017全日本女子大会優勝
2019世界女子大会4位
2025全ロシア体重別＋65kg級3位
2025全ロシア無差別大会優勝

2017年の無差別全日本大会を制した実力者カサノワ・アナスタシア。日本で行われる大会に出場するのは2019年世界女子大会（4位）以来、7年ぶりになる。2019年以降はしばらく休養期間を置いたが、約1年前に大会に復帰し、昨年12月の全ロシア無差別大会で優勝した。以前はパワー主体のスタイルだったが、熟練の技巧も兼ね備え、今大会優勝で完全復活を誓う。

2026オープントーナメント 全日本体重別空手道選手権大会

男子−60kg級トーナメント（17名）
Men's −60kg
（第1コート）
（COURT No.1）

	所属支部	段・級	体重(kg)	身長(cm)	年齢	選手	年齢	身長(cm)	体重(kg)	段・級	所属支部
1	I.K.O.POLAND	1級	60	172	21	コズロフスキ イゴール KOZLOWSKI IGOR	24	172	60	弐段	I.K.O.RUSSIA
2	長野支部	初段	59	172	20	土屋（ツチヤ） 建太（ケンタ） TSUCHIYA KENTA	18	169	59	初段	東京城西南多摩支部
3	山梨支部	初段	60	170	23	大野（オオノ） 聖矢（セイヤ） OHNO SEIYA	21	161	59	初段	富山支部
4	I.K.O.RUSSIA	初段	60	170	21	ブルメンスキー セルゲイ BURMENSKII SERGEI	18	173	60	初段	神奈川川崎中央支部
5	東京城北支部	初段	60	168	18	藤田（フジタ） 斗哉（トウヤ） FUJITA TOYA	28	164	60	初段	東京城北支部
6	神奈川川崎中央支部	1級	57	170	16	新井（アライ） 彩人（イロト） ARAI IROTO	16	177	60	初段	東京城西世田谷東支部
7	東京城東北千住支部	初段	60	163	23	小林（コバヤシ） 賢悟（ケンゴ） KOBAYASHI KENGO	25	168	60	初段	神奈川川崎中央支部
8	東京城西国分寺支部	初段	60	164	19	小林（コバヤシ） 竜（リュウ） KOBAYASHI RYU	20	173	59	1級	東京城東葛西支部
9						リチョフ ブラディスラフ LYCHEV VLADISLAV	20	163	59	初段	栃木南支部
10						小山内（オサナイ） 龍矢（リュウヤ） OSANAI RYUYA					
11						竹澤（タケザワ） 蓮（レン） TAKEZAWA REN					
12						新井（アライ） 絢人（アヤト） ARAI AYATO					
13						小峯（コミネ） 寛丈（ヒロタケ） KOMINE HIROTAKE					
14						長谷川（ハセガワ） 幹（カン） HASEGAWA KAN					
15						光富（ミツトミ） 大貴（タイキ） MITSUTOMI TAIKI					
16						下村（シモムラ） 涼太郎（リョウタロウ） SHIMOMURA RYOTARO					
17						阿久津（アクツ） 怜音（レイン） AKUTSU REIN					

1-19　1-20　1-21　1-22　1-23　1-24　1-25　1-26　1-2　1-37　1-38　1-39　1-40　1-47　1-48

優勝

2-55

準優勝

第3位　第4位

3位決定戦
1-52

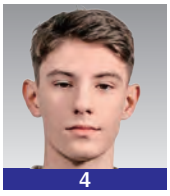
2026 オープントーナメント 全日本体重別空手道選手権大会 出場選手一覧

■男子−60kg級出場選手／Men's −60kg

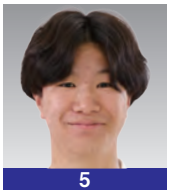
1
コズロフスキ イゴール
KOZLOWSKI IGOR
172cm・60kg・21歳・1級
I.K.O.POLAND

2
土屋 建太
TSUCHIYA KENTA
172cm・59kg・20歳・初段
長野支部支部

3
大野 聖矢
OHNO SEIYA
170cm・60kg・23歳・初段
山梨支部支部



4
ブルメンスキー セルゲイ
BURMENSKII SERGEI
170cm・60kg・21歳・初段
I.K.O.RUSSIA

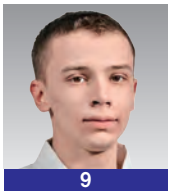


5
藤田 斗哉
FUJITA TOYA
168cm・60kg・18歳・初段
東京城北支部支部

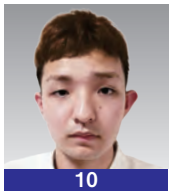
6
新井 彩人
ARAI IROTO
170cm・57kg・16歳・1級
神奈川川崎中央支部

7
小林 賢悟
KOBAYASHI KENGO
163cm・60kg・23歳・初段
東京城東北千住支部

8
小林 竜
KOBAYASHI RYU
164cm・60kg・19歳・初段
東京城西国分寺支部



9
リチョフ ブラディスラフ
LYCHEV VLADISLAV
172cm・60kg・24歳・弐段
I.K.O.RUSSIA

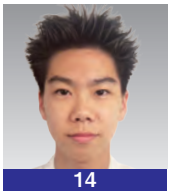


10
小山内 龍矢
OSANAI RYUYA
169cm・59kg・18歳・初段
東京城西南多摩支部

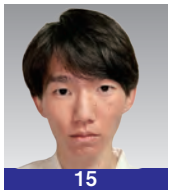
11
竹澤 蓮
TAKEZAWA REN
161cm・59kg・21歳・初段
富山支部

12
新井 絢人
ARAI AYATO
173cm・60kg・18歳・初段
神奈川川崎中央支部

13
小峯 寛丈
KOMINE HIROTAKE
164cm・60kg・28歳・初段
東京城北支部



14
長谷川 幹
HASEGAWA KAN
177cm・60kg・16歳・初段
東京城西世田谷東支部



15
光富 大貴
MITSUTOMI TAIKI
168cm・60kg・25歳・初段
神奈川川崎中央支部

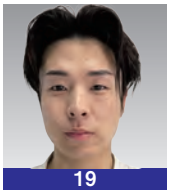
16
下村 涼太郎
SHIMOMURA RYOTARO
173cm・59kg・20歳・1級
東京城東葛西支部

17
阿久津 怜音
AKUTSU REIN
163cm・59kg・20歳・初段
栃木南支部

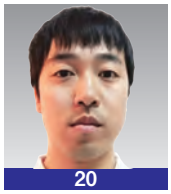
2026オープントーナメント 全日本体重別空手道選手権大会 出場選手一覧

■男子−70kg級出場選手／Men's −70kg

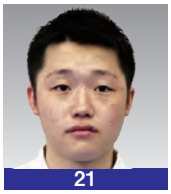
18
佐川 人成
SAGAWA JINSEI
173cm·70kg·22歳·初段
大阪南支部



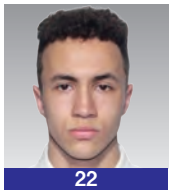
19
新田 海斗
SHINDEN KAITO
171cm·70kg·25歳·初段
大阪なみはや支部



20
近藤 勝矢
KONDOU KATSUYA
167cm·70kg·30歳·弐段
山口支部

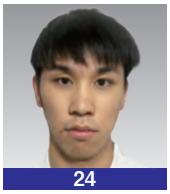


21
奥寺 勇輝
OKUDERA YUKI
168cm·70kg·29歳·弐段
東京城西支部

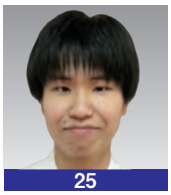


22
セメノフ ティムール
SEMENOV TIMUR
182cm·70kg·20歳·初段
I.K.O.RUSSIA

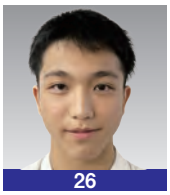
23
黒田 凌
KURODA RYO
174cm·69kg·31歳·初段
東京城東葛西支部



24
塩﨑 快翔
SHIOZAKI KAITO
170cm·67kg·20歳·初段
長野支部



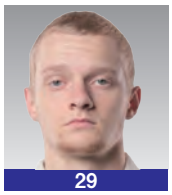
25
藤田 珀斗
FUJITA HAKUTO
175cm·69kg·20歳·初段
東京城北支部



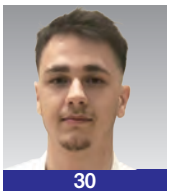
26
上田 琴乃助
UEDA KOTONOSUKE
174cm·69kg·17歳·初段
東京城北支部

27
山田 貴市
YAMADA KIICHI
169cm·70kg·24歳·参段
世界空手道連盟 士道館

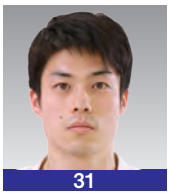
28
森 天斗
MORI TAKATO
170cm·70kg·22歳·初段
神奈川川崎中央支部



29
バチェリコフ ニコライ
BACHERIKOV NIKOLAI
180cm·70kg·25歳·初段
I.K.O.RUSSIA



30
ショロ ローガン
CHOLOT LOGAN
180cm·69kg·22歳·初段
I.K.O.FRANCE



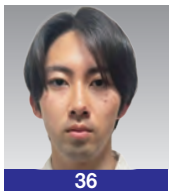
31
平山 尚樹
HIRAYAMA NAOKI
174cm·69kg·26歳·初段
東京城西支部

32
アルラビア オマール
AL-RABBIA OMAR
170cm·69kg·36歳·参段
I.K.O.KUWAIT

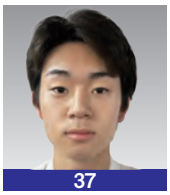
33
加藤 竜成
KATO RYOSEI
168cm·70kg·19歳·初段
神奈川横浜東支部

34
平沢 拓巳
HIRASAWA TAKUMI
178cm·70kg·25歳·弐段
東京城西支部

35
根元 斗亜
NEMOTO TOA
175cm·68kg·21歳·初段
大阪南支部

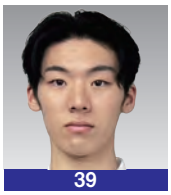


36
新井 遼平
ARAI RYOHEI
165cm·68kg·21歳·初段
神奈川横浜北支部

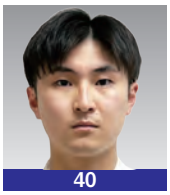


37
反町 洸太
SORIMACHI KOTA
176cm·69kg·20歳·初段
東京城北支部

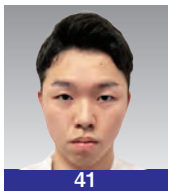
38
カスティージョ ルベン
CASTILLO RUBEN
170cm·69kg·22歳·初段
I.K.O.SPAIN



39
山田 友泉
YAMADA YUSEI
178cm·66kg·21歳·1級
大阪なみはや支部



40
羽田 皇喜
HATA KOKI
175cm·69kg·24歳·初段
長野支部



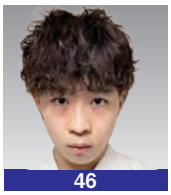
41
岡田 慈恩
OKADA JION
173cm·70kg·20歳·初段
本部直轄四谷·飯田橋道場

42
廣本 直也
HIROMOTO NAOYA
175cm·70kg·27歳·初段
東京城北支部

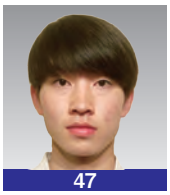
43
片山 雄登
KATAYAMA YUTO
176cm·69kg·34歳·初段
東京城東葛西支部

44
沼尾 晶司
NUMAO SYOJI
168cm·67kg·24歳·初段
栃木南支部

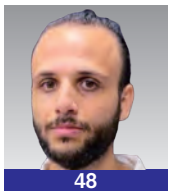
45
バフロモフ ベクゾド
BAKHROMOV BEKZOD
170cm·70kg·29歳·弐段
I.K.O.UZBEKISTAN



46
川本 陽翔
KAWAMOTO HARUTO
176cm·69g·18歳·初段
東京城北支部

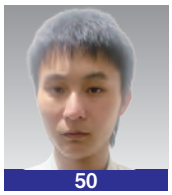


47
藤田 陽央
FUJITA YOU
181cm·69kg·19歳·初段
東京城西国分寺支部



48
バドレディン ハムザ
BADREDDINE HAMZA
171cm·68kg·33歳·初段
I.K.O.FRANCE

49
阿部 文哉
ABE FUMIYA
175cm·70kg·22歳·初段
総本部札幌道場



50
坂田 龍星
SAKATA RYUSEI
177cm·70kg·27歳·弐段
真正会

2026オープントーナメント
全日本体重別空手道選手権大会

男子−70kg級トーナメント（33名）
Men's −70kg
（第1コート）
（COURT No.1）

	所属支部	段・級	体重(kg)	身長(cm)	年齢	氏名	番号
1-3	大阪南支部	初段	70	173	22	サガワ ジンセイ 佐川 人成 SAGAWA JINSEI	18
1-3	大阪なみはや支部	初段	70	171	25	シンデン カイト 新田 海斗 SHINDEN KAITO	19
1-4	山口支部	弐段	70	167	30	コンドウ カツヤ 近藤 勝矢 KONDOU KATSUYA	20
1-4	東京城西支部	弐段	70	168	29	オクデラ ユウキ 奥寺 勇輝 OKUDERA YUKI	21
1-5	I.K.O.RUSSIA	初段	70	182	20	セメノフ ティムール SEMENOV TIMUR	22
1-5	東京城東葛西支部	初段	69	174	31	クロダ リョウ 黒田 凌 KURODA RYO	23
1-6	長野支部	初段	67	170	20	シオザキ カイト 塩﨑 快翔 SHIOZAKI KAITO	24
1-6	東京城北支部	初段	69	175	20	フジタ ハクト 藤田 珀斗 FUJITA HAKUTO	25
1-7	東京城北支部	初段	69	174	17	ウエダ コトノスケ 上田琴乃助 UEDA KOTONOSUKE	26
1-7	世界空手道連盟 士道館	参段	70	169	24	ヤマダ キイチ 山田 貴市 YAMADA KIICHI	27
1-8	神奈川川崎中央支部	初段	70	170	22	モリ タカト 森 天斗 MORI TAKATO	28
1-8	I.K.O.RUSSIA	初段	70	180	25	バチェリコフ ニコライ BACHERIKOV NIKOLAI	29
1-9	I.K.O.FRANCE	初段	69	180	22	ショロ ローガン CHOLOT LOGAN	30
1-9	東京城西支部	初段	69	174	26	ヒラヤマ ナオキ 平山 尚樹 HIRAYAMA NAOKI	31
1-10	I.K.O.KUWAIT	参段	69	170	36	アルラビア オマール AL-RABBIA OMAR	32
1-10	神奈川横浜東支部	初段	70	168	19	カトウ リョウセイ 加藤 竜成 KATO RYOSEI	33

	番号	氏名	年齢	身長(cm)	体重(kg)	段・級	所属支部
1-11	34	ヒラサワ タクミ 平沢 拓巳 HIRASAWA TAKUMI	25	178	70	弐段	東京城西支部
1-11	35	ネモト トア 根元 斗亜 NEMOTO TOA	21	175	68	初段	大阪南支部
1-12	36	アライ リョウヘイ 新井 遼平 ARAI RYOHEI	21	165	68	初段	神奈川横浜北支部
1-12	37	ソリマチ コウタ 反町 洸太 SORIMACHI KOTA	20	176	69	初段	東京城北支部
1-13	38	カスティージョ ルベン CASTILLO RUBEN	22	170	69	初段	I.K.O.SPAIN
1-13	39	ヤマダ ユウセイ 山田 友泉 YAMADA YUSEI	21	178	66	1級	大阪なみはや支部
1-14	40	ハタ コウキ 羽田 皇喜 HATA KOKI	24	175	69	初段	長野支部
1-14	41	オカダ ジオン 岡田 慈恩 OKADA JION	20	173	70	初段	本部直轄四谷・飯田橋道場
1-15	42	ヒロモト ナオヤ 廣本 直也 HIROMOTO NAOYA	27	175	70	初段	東京城北支部
1-15	43	カタヤマ ユウト 片山 雄登 KATAYAMA YUTO	34	176	69	初段	東京城東葛西支部
1-16	44	ヌマオ ショウジ 沼尾 晶司 NUMAO SYOJI	24	168	67	初段	栃木南支部
1-16	45	バフロモフ ベクゾド BAKHROMOV BEKZOD	29	170	70	弐段	I.K.O.UZBEKISTAN
1-17	46	カワモト ハルト 川本 陽翔 KAWAMOTO HARUTO	18	176	69	初段	東京城北支部
1-17	47	フジタ ヨウ 藤田 陽央 FUJITA YOU	19	181	69	初段	東京城西国分寺支部
1-1	48	バドレディン ハムザ BADREDDINE HAMZA	33	171	68	初段	I.K.O.FRANCE
1-1	49	アベ フミヤ 阿部 文哉 ABE FUMIYA	22	175	70	初段	総本部札幌道場
1-18	50	サカタ リュウセイ 坂田 龍星 SAKATA RYUSEI	27	177	70	弐段	真正会

1-27　1-28　1-29　1-30　1-31　1-32　1-33　1-34　1-41　1-42　1-43　1-44　1-49　1-50

優勝
2-56

準優勝

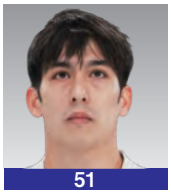
第3位

第4位

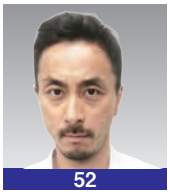
3位決定戦
1-53

2026オープントーナメント 全日本体重別空手道選手権大会 出場選手一覧

■男子−80kg級出場選手／Men's −80kg

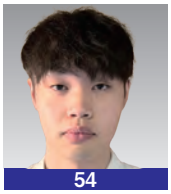


51
コセンティーノ ジノ
COSENTINO GINO
182cm·79kg·27歳·2級
I.K.O.FRANCE



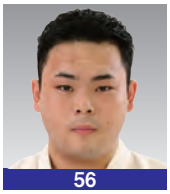
52
杉山 徳
SUGIYAMA ATSUSHI
173cm·78kg·43歳·弐段
東京城北支部

53
中島 寛高
NAKASHIMA HIROTAKA
169cm·78kg·36歳·弐段
東京城西南多摩支部

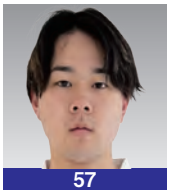


54
大関 仁
OHZEKI JIN
168cm·75kg·26歳·初段
栃木南支部

55
加藤 颯真
KATO SOUMA
172cm·80kg·18歳·初段
東京城西西多摩支部

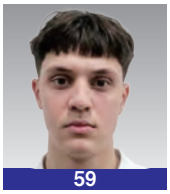


56
鈴木 哉琉
SUZUKI KANARU
158cm·77kg·21歳·初段
東京城西支部

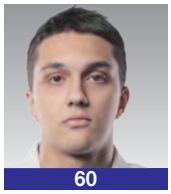


57
牛久 京亮
USHIKU KYOSUKE
177cm·78kg·20歳·初段
神奈川横浜東支部

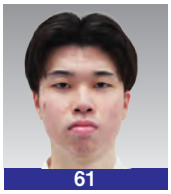
58
小林 一樹
KOBAYASHI KAZUKI
173cm·74kg·19歳·1級
大阪西支部



59
チコバニ ダヴィド
CHIKOVANI DAVID
181cm·80kg·18歳·2級
I.K.O.RUSSIA



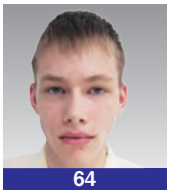
60
チコバニ ティムール
CHIKOVANI TIMUR
180cm·80kg·22歳·初段
I.K.O.RUSSIA



61
近藤 響
KONDO HIBIKI
175cm·80kg·21歳·初段
神奈川横浜北支部

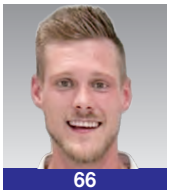
62
ハン サンボム
HAN SANG BEOM
180cm·78kg·28歳·初段
I.K.O.KOREA

63
池田 大和
IKEDA YAMATO
178cm·78kg·17歳·初段
東京城北支部

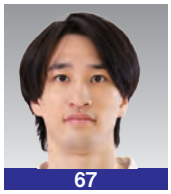


64
シチンニコフ ヴィアチェスラフ
SHCHINNIKOV VIACHESLAV
188cm·79kg·20歳·初段
I.K.O.RUSSIA

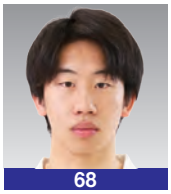
65
長谷川 純大
HASEGAWA JUNTA
173cm·75kg·21歳·1級
総本部横須賀道場



66
ノルディン タナー
NORDIN TANNER
181cm·79kg·29歳·2級
I.K.O.CANADA



67
穐山 和斗
AKIYAMA KAZUTO
185cm·77kg·20歳·初段
東京城西支部



68
任 梓豪
NIN SHINGO
178cm·79kg·19歳·初段
東京城北支部

69
荒井 瑞生
ARAI MIZUKI
164cm·75kg·29歳·弐段
福島地区道場

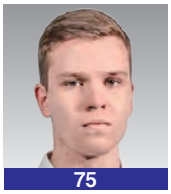
70
レイエス アルベルト
REYES ALBERT
176cm·76kg·33歳·弐段
I.K.O.SPAIN

71
川端 翔
KAWABATA SHOU
172cm·80kg·24歳·弐段
静岡富士支部

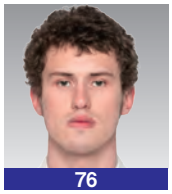
72
金田 貴裕
KANEDA TAKAHIRO
173cm·76kg·31歳·初段
東京城西下北沢·町田支部

73
マトゥティナ レクサージャン
MATUTINA REXOR JAN
167cm·78kg·30歳·1級
I.K.O.PHILIPPINES

74
阿部 有騎
ABE YUKI
174cm·76kg·22歳·初段
総本部横須賀道場



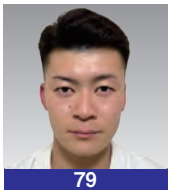
75
ソロヴェフ エゴール
SOLOVEV EGOR
180cm·79kg·24歳·初段
I.K.O.RUSSIA



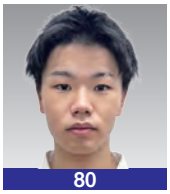
76
ポタポフ ニキータ
POTAPOV NIKITA
186cm·80kg·21歳·初段
I.K.O.RUSSIA

77
牧本 朱生
MAKIMOTO SYUNA
175cm·78kg·20歳·初段
石川支部

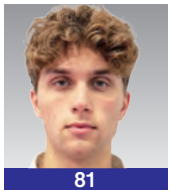
78
諏訪 海椰
SUWA KAIYA
175cm·79kg·25歳·初段
埼玉南支部



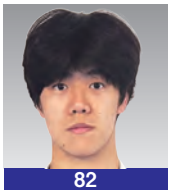
79
北村 佳祐
KITAMURA KEISUKE
173cm·80kg·29歳·初段
東京城西国分寺支部



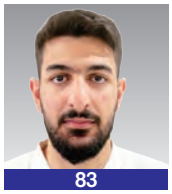
80
外川 勝宗
SOTOKAWA MASAMUNE
175cm·79kg·22歳·初段
大阪南支部



81
シピエン ツェザリ
SYPIEN CEZARY
189cm·79kg·19歳·初段
I.K.O.POLAND



82
後藤 風磨
GOTO FUMA
177cm·79kg·20歳·初段
東京城南大崎支部



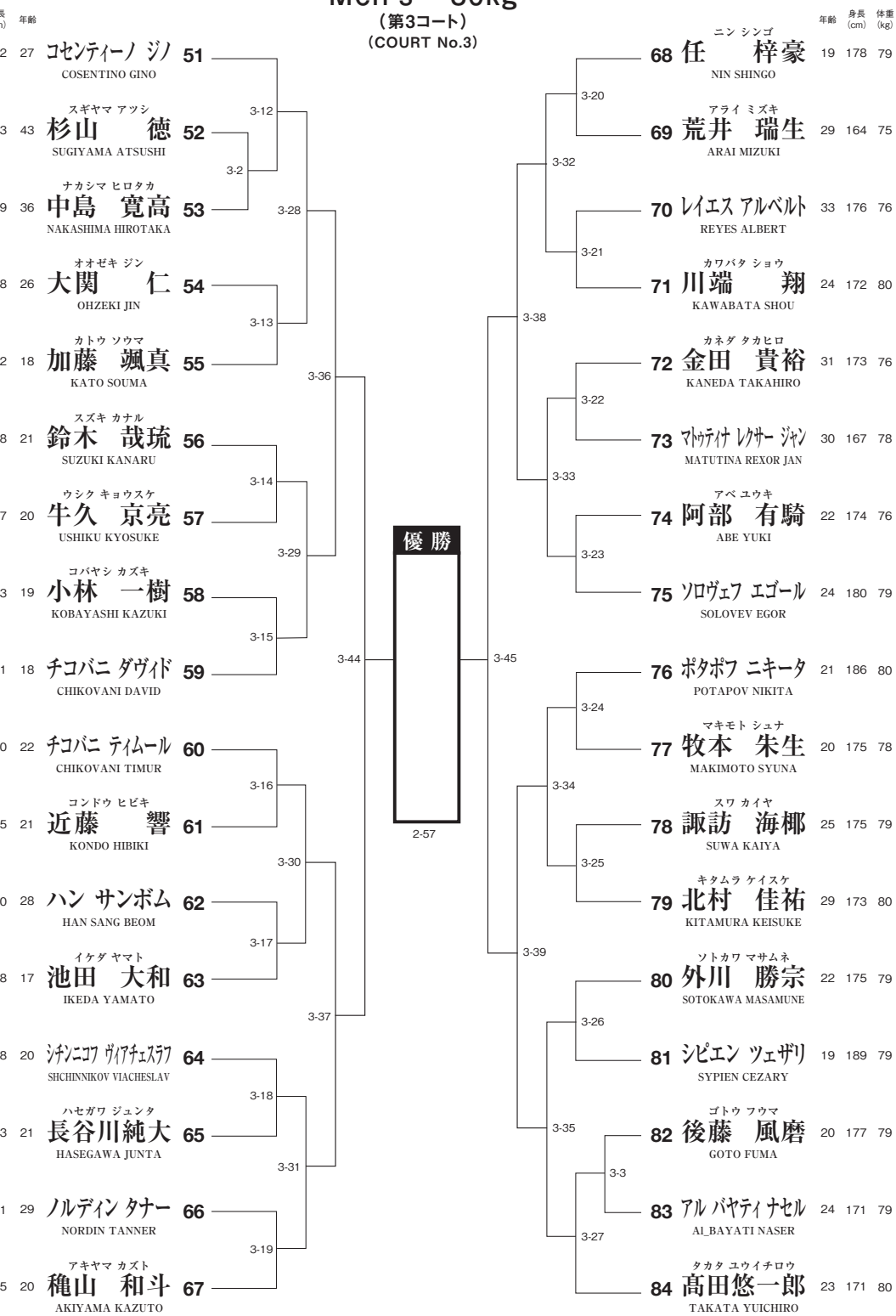
83
アル バヤティ ナセル
AI_BAYATI NASER
171cm·79kg·24歳·弐段
I.K.O.KUWAIT

84
髙田 悠一郎
TAKATA YUICHIRO
171cm·80kg·23歳·初段
東京城西支部

2026オープントーナメント
全日本体重別空手道選手権大会

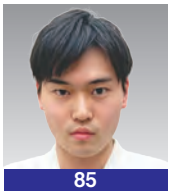
男子−80kg級トーナメント（34名）
Men's −80kg
（第3コート）
（COURT No.3）

番号	氏名	所属支部	段・級	体重(kg)	身長(cm)	年齢
51	コセンティーノ ジノ / COSENTINO GINO	I.K.O.FRANCE	2級	79	182	27
52	スギヤマ アツシ 杉山 徳 / SUGIYAMA ATSUSHI	東京城北支部	弐段	78	173	43
53	ナカシマ ヒロタカ 中島 寛高 / NAKASHIMA HIROTAKA	東京城西南多摩支部	弐段	78	169	36
54	オオゼキ ジン 大関 仁 / OHZEKI JIN	栃木南支部	初段	75	168	26
55	カトウ ソウマ 加藤 颯真 / KATO SOUMA	東京城西西多摩支部	初段	80	172	18
56	スズキ カナル 鈴木 哉琉 / SUZUKI KANARU	東京城西支部	初段	77	158	21
57	ウシク キョウスケ 牛久 京亮 / USHIKU KYOSUKE	神奈川横浜東支部	初段	78	177	20
58	コバヤシ カズキ 小林 一樹 / KOBAYASHI KAZUKI	大阪西支部	1級	74	173	19
59	チコバニ ダヴィド / CHIKOVANI DAVID	I.K.O.RUSSIA	2級	80	181	18
60	チコバニ ティムール / CHIKOVANI TIMUR	I.K.O.RUSSIA	初段	80	180	22
61	コンドウ ヒビキ 近藤 響 / KONDO HIBIKI	神奈川横浜北支部	初段	80	175	21
62	ハン サンボム / HAN SANG BEOM	I.K.O.KOREA	初段	78	180	28
63	イケダ ヤマト 池田 大和 / IKEDA YAMATO	東京城北支部	初段	78	178	17
64	シチンニコフ ヴィアチェスラフ / SHCHINNIKOV VIACHESLAV	I.K.O.RUSSIA	初段	79	188	20
65	ハセガワ ジュンタ 長谷川純大 / HASEGAWA JUNTA	総本部横須賀道場	1級	75	173	21
66	ノルディン タナー / NORDIN TANNER	I.K.O.CANADA	2級	79	181	29
67	アキヤマ カズト 穐山 和斗 / AKIYAMA KAZUTO	東京城西支部	初段	77	185	20
68	ニン シンゴ 任 梓豪 / NIN SHINGO	東京城北支部	初段	79	178	19
69	アライ ミズキ 荒井 瑞生 / ARAI MIZUKI	福島地区道場	弐段	75	164	29
70	レイエス アルベルト / REYES ALBERT	I.K.O.SPAIN	弐段	76	176	33
71	カワバタ ショウ 川端 翔 / KAWABATA SHOU	静岡富士支部	弐段	80	172	24
72	カネダ タカヒロ 金田 貴裕 / KANEDA TAKAHIRO	東京城西下北沢・町田支部	初段	76	173	31
73	マトゥティナ レクサー ジャン / MATUTINA REXOR JAN	I.K.O.PHILIPPINES	1級	78	167	30
74	アベ ユウキ 阿部 有騎 / ABE YUKI	総本部横須賀道場	初段	76	174	22
75	ソロヴェフ エゴール / SOLOVEV EGOR	I.K.O.RUSSIA	初段	79	180	24
76	ポタポフ ニキータ / POTAPOV NIKITA	I.K.O.RUSSIA	初段	80	186	21
77	マキモト シュナ 牧本 朱生 / MAKIMOTO SYUNA	石川支部	初段	78	175	20
78	スワ カイヤ 諏訪 海椰 / SUWA KAIYA	埼玉南支部	初段	79	175	25
79	キタムラ ケイスケ 北村 佳祐 / KITAMURA KEISUKE	東京城西国分寺支部	初段	80	173	29
80	ソトカワ マサムネ 外川 勝宗 / SOTOKAWA MASAMUNE	大阪南支部	初段	79	175	22
81	シピエン ツェザリ / SYPIEN CEZARY	I.K.O.POLAND	初段	79	189	19
82	ゴトウ フウマ 後藤 風磨 / GOTO FUMA	東京城南大崎支部	初段	79	177	20
83	アル バヤティ ナセル / AL_BAYATI NASER	I.K.O.KUWAIT	弐段	79	171	24
84	タカタ ユウイチロウ 高田悠一郎 / TAKATA YUICHIRO	東京城西支部	初段	80	171	23



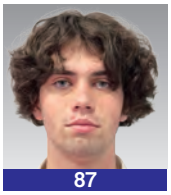
2026オープントーナメント 全日本体重別空手道選手権大会 出場選手一覧

■男子−90kg級出場選手／Men's −90kg

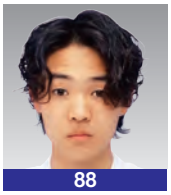


85
山上 大輝
YAMAGAMI DAIKI
182cm·86kg·25歳·初段
東京城北支部

86
李 櫂允
RI KAI
178cm·85kg·32歳·初段
神奈川横浜北支部

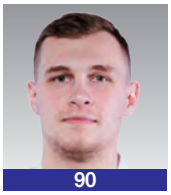


87
ペリフ ミハイロ
PELIKH MYKHAILO
189cm·89kg·19歳·初段
I.K.O.POLAND



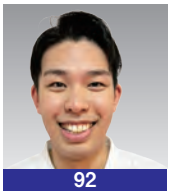
88
橋田 陽彦
HASHIDA HARUHIKO
186cm·86kg·21歳·初段
東京城西世田谷東支部

89
大神田 圭
OHKANDA KEI
170cm·83kg·31歳·弐段
東京城西南多摩支部



90
シャブロフ ニキータ
SHABUROV NIKITA
186cm·90kg·25歳·初段
I.K.O.RUSSIA

91
秋山 大知
AKIYAMA DAICHI
176cm·90kg·22歳·初段
東京城西西多摩支部



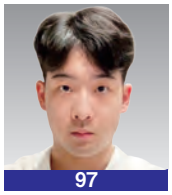
92
永田 光陽
NAGATA KOYO
178cm·88kg·30歳·1級
東京城北支部

93
ドルゴフ アンドレイ
DOLGOV ANDREI
182cm·89kg·23歳·1級
I.K.O.RUSSIA

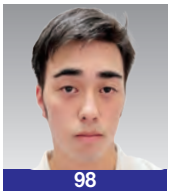
94
佐藤 拓海
SATO TAKUMI
174cm·88kg·26歳·弐段
東京城西支部

95
ディブ クリスチャン
DIB CHRISTIAN
175cm·89kg·20歳·初段
I.K.O.AUSTRALIA

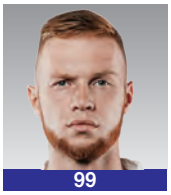
96
ナヴァロ アレハンドロ
NAVARRO ALEJANDRO
179cm·89kg·49歳·参段
I.K.O.SPAIN



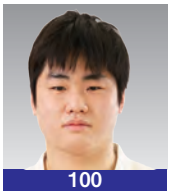
97
木山 獅勇
KIYAMA SHIYU
186cm·90kg·20歳·初段
愛知名古屋支部



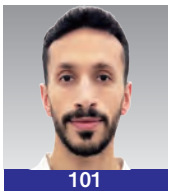
98
小野里リース拳真
ONOSATO REYS KENSHIN
176cm·85kg·23歳·初段
埼玉南支部



99
サフロノフ エゴール
SAFRONOV EGOR
181cm·88kg·25歳·弐段
I.K.O.RUSSIA



100
髙木 信
TAKAGI SHIN
172cm·85kg·28歳·初段
東京城西世田谷東支部



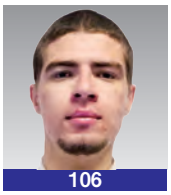
101
アフマド アルジュマ
AHMAD ALJUMAH
179cm·88kg·31歳·2級
I.K.O.KUWAIT

102
兼久 啓太朗
KANEHISA KEITARO
179cm·90kg·26歳·初段
東京城北支部

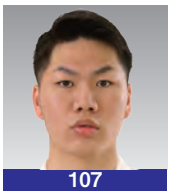
103
橋田 裕彦
HASHIDA HIROHIKO
186cm·88kg·18歳·初段
東京城西世田谷東支部

104
平岩 皓太
HIRAIWA KOTA
180cm·85kg·42歳·参段
東京城北支部

105
コベレフ セルゲイ
KOBELEV SERGEI
175cm·89kg·24歳·初段
I.K.O.RUSSIA



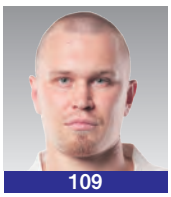
106
バナン アナス
BANAN ANNAS
185cm·89kg·19歳·初段
I.K.O.SPAIN



107
鈴木 奏成
SUZUKI KANARU
183cm·85kg·19歳·初段
東京城西支部

108
大秦 稜司
OHATA RYOJI
170cm·85kg·25歳·初段
京都支部

■男子+90kg級出場選手／Men's +90kg

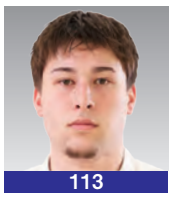


109
ルジン アンドレイ
LUZIN ANDREI
187cm·96kg·30歳·参段
I.K.O.RUSSIA

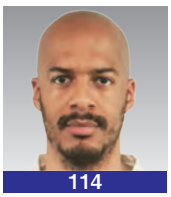
110
村岡 賢和
MURAOKA YOSHIKAZU
180cm·103kg·44歳·弐段
総本部札幌道場

111
岩田 大
IWATA DAI
180cm·95kg·29歳·弐段
神奈川横浜港南支部

112
グセイノフ ラシャド
GUSEINOV RASHAD
181cm·96kg·22歳·初段
I.K.O.RUSSIA



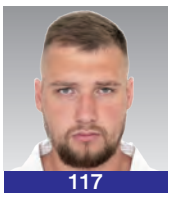
113
田水 春樹
TAMIZU HARUKI
183cm·105kg·21歳·初段
東京城西支部



114
コンダ ブリス
KONDA BRICE
192cm·103kg·34歳·初段
I.K.O.FRANCE

115
西尾 咲哉
NISHIO SAKUYA
182cm·95kg·20歳·初段
岐阜支部

116
エキモフ マクシム
EKIMOV MAKSIM
190cm·108kg·29歳·参段
I.K.O.RUSSIA

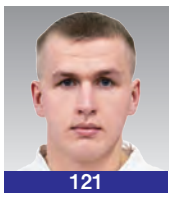


117
ゴリウシキン ダニル
GORIUSHKIN DANIL
195cm·106kg·28歳·弐段
I.K.O.RUSSIA

118
長澤 大和
NAGASAWA YAMATO
177cm·93kg·26歳·初段
北大阪支部

119
スムスキー シモン
SZUMSKI SZYMON
188cm·102kg·18歳·1級
I.K.O.POLAND

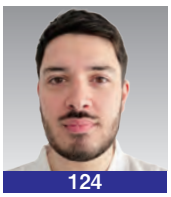
120
大秦 零司
OHATA REIJI
172cm·95kg·25歳·初段
京都支部



121
ユラソフ エブゲニー
IURASOV EVGENII
190cm·112kg·29歳·参段
I.K.O.RUSSIA

122
岡部 慎太郎
OKABE SHINTARO
177cm·98kg·24歳·初段
東京城西支部

123
足立 龍二
ADACHI RYUJI
176cm·100kg·22歳·初段
神奈川横浜東支部



124
カカトス ピーター
KAKATSOS PETER
184cm·100kg·31歳·弐段
I.K.O.AUSTRALIA

125
西村 大河
NISHIMURA TAIGA
183cm·98kg·22歳·初段
東京城北支部

TOURNAMENT DRAW

2026オープントーナメント 全日本体重別空手道選手権大会

男子－90kg級トーナメント(24名)
Men's －90kg
（第2コート）
（COURT No.2）

所属支部	段・級	身長(cm)	体重(kg)	年齢	氏名	No.
東京城北支部	初段	182	86	25	山上 大輝（ヤマガミ ダイキ）YAMAGAMI DAIKI	85
神奈川横浜北支部	初段	178	85	32	李 櫂允（リ カイ）RI KAI	86
I.K.O.POLAND	初段	189	89	19	ペリフ ミハイロ PELIKH MYKHAILO	87
東京城西世田谷東支部	初段	186	86	21	橋田 陽彦（ハシダ ハルヒコ）HASHIDA HARUHIKO	88
東京城西南多摩支部	弐段	170	83	31	大神田 圭（オオカンダ ケイ）OHKANDA KEI	89
I.K.O.RUSSIA	初段	186	90	25	シャブロフ ニキータ SHABUROV NIKITA	90
東京城西西多摩支部	初段	176	90	22	秋山 大知（アキヤマ ダイチ）AKIYAMA DAICHI	91
東京城北支部	1級	178	88	30	永田 光陽（ナガタ コウヨウ）NAGATA KOYO	92
I.K.O.RUSSIA	1級	182	89	23	ドルゴフ アンドレイ DOLGOV ANDREI	93
東京城西支部	弐段	174	88	26	佐藤 拓海（サトウ タクミ）SATO TAKUMI	94
I.K.O.AUSTRALIA	初段	175	89	20	ディブ クリスチャン DIB CHRISTIAN	95
I.K.O.SPAIN	参段	179	89	49	ナヴァロ アレハンドロ NAVARRO ALEJANDRO	96

No.	氏名	年齢	体重(kg)	身長(cm)	段・級	所属支部
97	木山 獅勇（キヤマ シユウ）KIYAMA SHIYU	20	90	186	初段	愛知名古屋支部
98	小野里リース拳真（オノサト ケンシン）ONOSATO REYS KENSHIN	23	85	176	初段	埼玉南支部
99	サフロノフ エゴール SAFRONOV EGOR	25	88	181	弐段	I.K.O.RUSSIA
100	髙木 信（タカギ シン）TAKAGI SHIN	28	85	172	初段	東京城西世田谷東支部
101	アフマド アルジュマ AHMAD ALJUMAH	31	88	179	2級	I.K.O.KUWAIT
102	兼久啓太朗（カネヒサ ケイタロウ）KANEHISA KEITARO	26	90	179	初段	東京城北支部
103	橋田 裕彦（ハシダ ヒロヒコ）HASHIDA HIROHIKO	18	88	186	初段	東京城西世田谷東支部
104	平岩 皓太（ヒライワ コウタ）HIRAIWA KOTA	42	85	180	参段	東京城北支部
105	コベレフ セルゲイ KOBELEV SERGEI	24	89	175	初段	I.K.O.RUSSIA
106	バナン アナス BANAN ANNAS	19	89	185	初段	I.K.O.SPAIN
107	鈴木 奏成（スズキ カナル）SUZUKI KANARU	19	85	183	初段	東京城西支部
108	大秦 稜司（オオハタ リョウジ）OHATA RYOJI	25	85	170	初段	京都支部

試合番号：2-1（86 vs 87）、2-2（88 vs 89）、2-3（92 vs 93）、2-4（94 vs 95）、2-5（98 vs 99）、2-6（100 vs 101）、2-7（104 vs 105）、2-8（106 vs 107）、2-10（85 vs 2-1勝者）、2-11（2-2勝者 vs 90）、2-12（91 vs 2-3勝者）、2-13（2-4勝者 vs 96）、2-14（97 vs 2-5勝者）、2-15（2-6勝者 vs 102）、2-16（103 vs 2-7勝者）、2-17（2-8勝者 vs 108）、2-30、2-31、2-32、2-33、2-42、2-43、2-58（決勝）

優勝

準優勝 | 第3位 | 第4位

3位決定戦 2-48

男子+90kg級トーナメント(17名)
Men's ＋90kg
（第2コート）
（COURT No.2）

所属支部	段・級	身長(cm)	体重(kg)	年齢	氏名	No.
I.K.O.RUSSIA	参段	187	96	30	ルジン アンドレイ LUZIN ANDREI	109
総本部札幌道場	弐段	180	103	44	村岡 賢和（ムラオカ ヨシカズ）MURAOKA YOSHIKAZU	110
神奈川横浜港南支部	弐段	180	95	29	岩田 大（イワタ ダイ）IWATA DAI	111
I.K.O.RUSSIA	初段	181	96	22	グセイノフ ラシャド GUSEINOV RASHAD	112
東京城西支部	初段	183	105	21	田水 春樹（タミズ ハルキ）TAMIZU HARUKI	113
I.K.O.FRANCE	初段	192	103	34	コンダ ブリス KONDA BRICE	114
岐阜支部	初段	182	95	20	西尾 咲哉（ニシオ サクヤ）NISHIO SAKUYA	115
I.K.O.RUSSIA	参段	190	108	29	エキモフ マクシム EKIMOV MAKSIM	116

No.	氏名	年齢	体重(kg)	身長(cm)	段・級	所属支部
117	ゴリウシキン ダニル GORIUSHKIN DANIL	28	106	195	弐段	I.K.O.RUSSIA
118	長澤 大和（ナガサワ ヤマト）NAGASAWA YAMATO	26	93	177	初段	北大阪支部
119	スムスキー シモン SZUMSKI SZYMON	18	102	188	1級	I.K.O.POLAND
120	大秦 零司（オオハタ レイジ）OHATA REIJI	25	95	172	初段	京都支部
121	ユラソフ エブゲニー IURASOV EVGENII	29	112	190	参段	I.K.O.RUSSIA
122	岡部慎太郎（オカベ シンタロウ）OKABE SHINTARO	24	98	177	初段	東京城西支部
123	足立 龍二（アダチ リュウジ）ADACHI RYUJI	22	100	176	初段	神奈川横浜東支部
124	カカトス ピーター KAKATSOS PETER	31	100	184	弐段	I.K.O.AUSTRALIA
125	西村 大河（ニシムラ タイガ）NISHIMURA TAIGA	22	98	183	初段	東京城北支部

試合番号：2-9（123 vs 124）、2-18（109 vs 110）、2-19（111 vs 112）、2-20（113 vs 114）、2-21（115 vs 116）、2-22（117 vs 118）、2-23（119 vs 120）、2-24（121 vs 122）、2-25（2-9勝者 vs 125）、2-34、2-35、2-36、2-37、2-44、2-45、2-59（決勝）

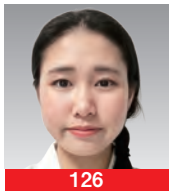
優勝

準優勝 | 第3位 | 第4位

3位決定戦 2-49

2026オープントーナメント 全日本体重別空手道選手権大会 出場選手一覧

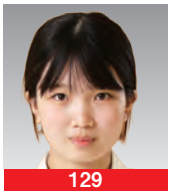
■女子−50kg級出場選手／Women's −50kg



126
前川 貴和女
MAEKAWA KIWAME
151cm·49kg·21歳·初段
静岡富士支部

127
竝木 麗奈
NAMIKI REINA
145cm·44kg·24歳·初段
東京城西国分寺支部

128
カルボネル ジャナ ニコル
CARBONEL JANNA NICOLE
153cm·49kg·23歳·初段
I.K.O.PHILIPPINES



129
加藤 愛唯
KATO MEI
159cm·50kg·17歳·1級
東京城西西多摩支部

130
岸田 風穂
KISHIDA KAHO
158cm·49kg·16歳·初段
群馬東支部

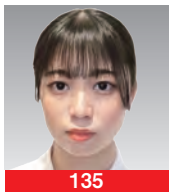
131
富沢 真優
TOMISAWA MAYU
158cm·49kg·25歳·初段
秋田支部

132
村古 真優
MURAKO MAYU
153cm·49kg·16歳·初段
東京城北支部

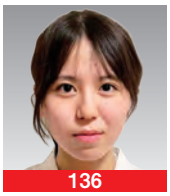
133
神田 乙璃沙
KANDA ORISA
158cm·49kg·22歳·初段
神奈川横浜東支部

134
小山内 奈々美
OSANAI NANAMI
155cm·48kg·23歳·初段
東京城西南多摩支部

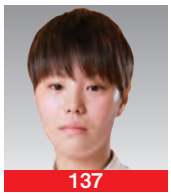
■女子−55kg級出場選手／Women's −55kg



135
所 羽奈
TOKORO HANA
155cm·53kg·20歳·初段
東京城北支部

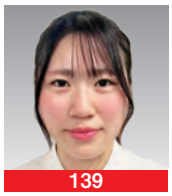


136
前田 雫
MAEDA SHIZUKU
167cm·54kg·17歳·初段
東京城西南多摩支部



137
櫻田 まどか
SAKURADA MADOKA
159cm·53kg·23歳·初段
秋田支部

138
千葉 香
CHIBA KAORI
156cm·55kg·17歳·1級
神奈川大和支部

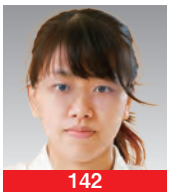


139
星野 珠璃
HOSHINO SYURI
157cm·54kg·20歳·初段
埼玉南支部

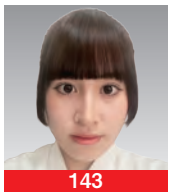
140
鈴木 千凌
SUZUKI CHISHINO
165cm·53kg·19歳·初段
東京城南池上支部

■女子−60kg級出場選手／Women's −60kg

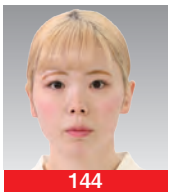
141
森岡 優海
MORIOKA YUMI
167cm·57kg·20歳·初段
東京城西南多摩支部



142
中野 里咲
NAKANO RIE
159cm·57kg·29歳·初段
大阪なみはや支部



143
石神 詩英羅
ISHIGAMI SHIERA
154cm·59kg·19歳·1級
千葉北支部



144
鈴木 花菜
SUZUKI KANA
156cm·57kg·25歳·初段
総本部横須賀道場

145
福永 ゆら
FUKUNAGA YURA
154cm·55kg·21歳·初段
東京城西支部

146
オフチンニコワ オルガ
OVCHINNIKOVA OLGA
159cm·60kg·23歳·初段
I.K.O.RUSSIA

147
森 稀美華
MORI KIMIKA
167cm·58kg·21歳·1級
神奈川川崎中央支部

148
今井 彩弥
IMAI AYA
160cm·59kg·22歳·初段
東京城西西多摩支部

2026オープントーナメント
全日本体重別空手道選手権大会

女子−50kg級トーナメント(9名)
Women's −50kg
(第3コート)
(COURT No.3)

所属支部	段・級	身長(cm)	体重(kg)	年齢			
静岡富士支部	初段	151	49	21	マエカワ キワメ 前川貴和女 MAEKAWA KIWAME	126	3-4
東京城西国分寺支部	初段	145	44	24	ナミキ レイナ 竝木 麗奈 NAMIKI REINA	127	3-40
I.K.O.PHILIPPINES	初段	153	49	23	カルボネル ジャナ ニコル CARBONEL JANNA NICOLE	128	3-5
東京城西西多摩支部	1級	159	50	17	カトウ メイ 加藤 愛唯 KATO MEI	129	

優勝 2-50

		年齢	体重(kg)	身長(cm)	段・級	所属支部
3-6	130 キシダ カホ 岸田 風穂 KISHIDA KAHO	16	49	158	初段	群馬東支部
	131 トミサワ マユ 富沢 真優 TOMISAWA MAYU	25	49	158	初段	秋田支部
3-41 / 3-1	132 ムラコ マユ 村古 真優 MURAKO MAYU	16	49	153	初段	東京城北支部
3-7	133 カンダ オリサ 神田乙璃沙 KANDA ORISA	22	49	158	初段	神奈川横浜東支部
	134 オサナイ ナナミ 小山内奈々美 OSANAI NANAMI	23	48	155	初段	東京城西南多摩支部

準優勝 | 第3位 | 第4位 | 3位決定戦 3-46

女子−55kg級トーナメント(6名)
Women's −55kg
(第1コート)
(COURT No.1)

所属支部	段・級	体重(kg)	身長(cm)	年齢			
東京城北支部	初段	53	155	20	トコロ ハナ 所 羽奈 TOKORO HANA	135	1-45
東京城西南多摩支部	初段	54	167	17	マエダ シズク 前田 雫 MAEDA SHIZUKU	136	1-35
秋田支部	初段	53	159	23	サクラダ マドカ 櫻田まどか SAKURADA MADOKA	137	

優勝 2-51

		年齢	身長(cm)	体重(kg)	段・級	所属支部
1-36	138 チバ カオリ 千葉 香 CHIBA KAORI	17	156	55	1級	神奈川大和支部
1-46	139 ホシノ シュリ 星野 珠璃 HOSHINO SYURI	20	157	54	初段	埼玉南支部
	140 スズキ チシノ 鈴木 千凌 SUZUKI CHISHINO	19	165	53	初段	東京城南池上支部

準優勝 | 第3位 | 3位決定戦 1-51

女子−60kg級トーナメント(8名)
Women's −60kg
(第3コート)
(COURT No.3)

所属支部	段・級	身長(cm)	体重(kg)	年齢			
東京城西南多摩支部	初段	167	57	20	モリオカ ユウミ 森岡 優海 MORIOKA YUMI	141	3-8
大阪なみはや支部	初段	159	57	29	ナカノ リエ 中野 里咲 NAKANO RIE	142	3-42
千葉北支部	1級	154	59	19	イシガミ シエラ 石神詩英羅 ISHIGAMI SHIERA	143	3-9
総本部横須賀道場	初段	156	57	25	スズキ カナ 鈴木 花菜 SUZUKI KANA	144	

優勝 2-52

		年齢	体重(kg)	身長(cm)	段・級	所属支部
3-10	145 フクナガ ユラ 福永 ゆら FUKUNAGA YURA	21	55	154	初段	東京城西支部
	146 オフチンニコワ オルガ OVCHINNIKOVA OLGA	23	60	159	初段	I.K.O.RUSSIA
3-43 / 3-11	147 モリ キミカ 森 稀美華 MORI KIMIKA	21	58	167	1級	神奈川川崎中央支部
	148 イマイ アヤ 今井 彩弥 IMAI AYA	22	59	160	初段	東京城西西多摩支部

準優勝 | 第3位 | 第4位 | 3位決定戦 3-47

2026オープントーナメント 全日本体重別空手道選手権大会

女子−65kg級トーナメント(7名)
Women's −65kg

(第2コート)
(COURT No.2)

	所属支部	段・級	体重(kg)	身長(cm)	年齢	
149	I.K.O.RUSSIA	弐段	61	173	23	カザリアン アレクサンドラ KAZARIAN ALEKSANDRA
150	東京城東北千住支部	弐段	60	155	32	本村 愛花 モトムラ アイカ MOTOMURA AIKA
151	大阪なみはや支部	初段	64	163	31	徳田 茄麗 トクダ カレン TOKUDA KAREN
152	神奈川横浜北支部	初段	65	171	24	知念 琉花 チネン ルカ CHINEN RUKA
153			64	163	23	藤本 美桜 フジモト ミオ FUJIMOTO MIO 初段 総本部岩手道場
154			65	170	34	ベロワ ダリア BELOVA DARIA 参段 I.K.O.RUSSIA
155			65	167	25	宮本 神 ミヤモト ジン MIYAMOTO JIN 初段 本部直轄浅草道場

優勝

2-26 / 2-27 / 2-38 / 2-28 / 2-39 / 2-53

準優勝

第3位

3位決定戦 2-46

女子+65kg級トーナメント(5名)
Women's +65kg

(第2コート)
(COURT No.2)

	段・級	体重(kg)	身長(cm)	年齢		
156	東京城西西多摩支部	初段	75	166	19	岡田 冴月 オカダ サツキ OKADA SATSUKI
157	I.K.O.RUSSIA	初段	96	172	22	ロマネンコ ダリア ROMANENKO DARIA
158			75	160	18	岡野 結衣 オカノ ユイ OKANO YUI 初段 神奈川川崎中央支部
159			72	170	28	河合 風香 カワイ フウカ KAWAI FUKA 2級 広島支部
160			73	170	31	カサノワ アナスタシア KHASANOVA ANASTASIIA 弐段 I.K.O.RUSSIA

優勝

2-40 / 2-29 / 2-41 / 2-54

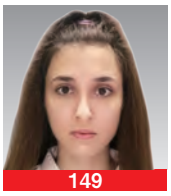
準優勝

第3位

3位決定戦 2-47

2026オープントーナメント 全日本体重別空手道選手権大会 出場選手一覧

■女子−65kg級出場選手／Women's −65kg


149
カザリアン アレクサンドラ
KAZARIAN ALEKSANDRA
173cm·61kg·23歳·弐段
I.K.O.RUSSIA

150
本村 愛花
MOTOMURA AIKA
155cm·60kg·32歳·弐段
東京城東北千住支部

151
徳田 茄麗
TOKUDA KAREN
163cm·64kg·31歳·初段
大阪なみはや支部

152
知念 琉花
CHINEN RUKA
171cm·65kg·24歳·初段
神奈川横浜北支部

153
藤本 美桜
FUJIMOTO MIO
163cm·64kg·23歳·初段
総本部岩手道場

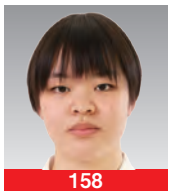
154
ベロワ ダリア
BELOVA DARIA
170cm·65kg·34歳·参段
I.K.O.RUSSIA

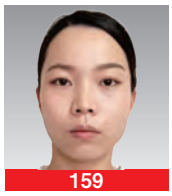
155
宮本 神
MIYAMOTO JIN
167cm·65kg·25歳·初段
本部直轄浅草道場

■女子+65kg級出場選手／Women's +65kg

156
岡田 冴月
OKADA SATSUKI
166cm·75kg·19歳·初段
東京城西西多摩支部

157
ロマネンコ ダリア
ROMANENKO DARIA
172cm·96kg·22歳·初段
I.K.O.RUSSIA


158
岡野 結衣
OKANO YUI
160cm·75kg·18歳·初段
神奈川川崎中央支部


159
河合 風香
KAWAI FUKA
170cm·72kg·28歳·2級
広島支部

160
カサノワ アナスタシア
KHASANOVA ANASTASIIA
170cm·73kg·31歳·弐段
I.K.O.RUSSIA

2027 第14回 世界大会

日本代表選手選抜戦

THE 58TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

KYOKUSHIN · INTERNATIONAL KARATE ORGANIZATION

+日本赤十字社 災害義援金チャリティー

第58回 オープントーナメント

全日本空手道選手権大会

主催／国際空手道連盟 総本部 極真会館　館長／松井章奎

2026年11月7日(土)8日(日) 東京体育館

協賛／KAATSU JAPAN 株式会社　シダックス株式会社

後援／日本赤十字社　メディアエイト　ワールド空手

PRESENTED BY INTERNATIONAL KARATE ORGANIZATION KYOKUSHINKAIKAN
NOVEMBER 7TH & 8TH, 2026 @TOKYO METROPOLITAN GYMNASIUM

FREQUENTLY USED TECHNIQUES 試合の主な有効技

正拳突き
Fore-Fist Thrust

下突き
Upper Cut

肘打ち
Elbow Strike

片手での押し
One Hand Push

両手での押し
Both Hands Push

上段廻し蹴り
Upper Roundhouse Kick

下段廻し蹴り
Low Roundhouse Kick

前蹴り
Front Kick

膝蹴り
Knee Kick

横蹴り
Side Kick

後ろ廻し蹴り
Spinning Back Kick

踵落とし
Axe Kick

胴廻し蹴り
Roll Kick

捌き
Fending Off

蹴り技・合わせ技による転倒から下段突き
Downing an opponent by counter kick and lower thrust

足掛けによる転倒から下段突き
Downing an opponent by foot sweep and lower thrust

足掛け・捌きの複合技による転倒から下段突き
Downing an opponent by combining foot sweep & fending off, and lower thrust

上段への蹴りのクリーンヒットから残心
Upper kick cleanly hit an opponent and Zanshin

相手の捨身技を躱して下段突き
Avoiding an opponent's techniques and lower thrust

倒された瞬間の下からの攻撃
Attack from the floor immediately after being fell down

FOUL TECHNIQUES 試合の主な反則技

手技による顔面への攻撃
Strike To The Face

手技による首への攻撃
Strike To The Neck

連続しての押し
Multiple Pushing

掴み
Grabbing

頭突き
Head Butting

頭を付けての攻撃
Pushing With Head And Attacking

密着
Touching the hands or chest-to-chest

背骨（脊柱）への直接攻撃
Striking The Spine From Behind

金的への攻撃
Kick To The Groin

正面からの膝関節への攻撃
Attacking directly to the knee from front of it

倒れた相手への攻撃
Attacking A Downed Opponent

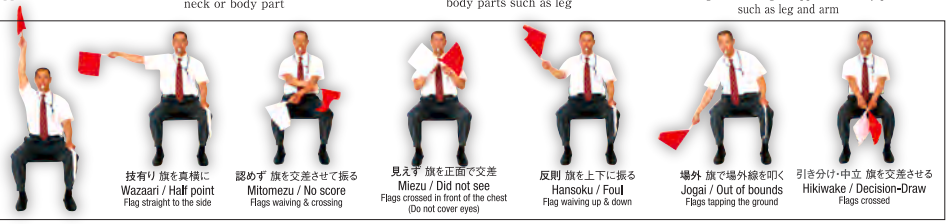
掛けての攻撃
Hooking an opponent's neck or body part

抱え&抱え込み
Holding an opponent's body parts such as leg

腕・脚を捌いての捻り・投げ
Twisting or throwing an opponent's body parts such as leg and arm

上から抑えての攻撃
Holding an opponent's body parts such as shoulder

副審の旗による動作
Action of the Corner Judges



◎有効・反則技について

写真で説明している「有効技」と「反則技」は、あくまでも主な例であり、ここにある技がすべてではありません。
These techniques and fouls are only examples.

監修／磯部清次（大会審判長）
演武／伊藤　慎（岐阜支部長）
森善十朗（東京城西下北沢・町田支部長）

大会規約／試合規則・I.K.O極真ルール

【審判基準】

審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。組手時間の規定時間は1試合につき3分（予選は2分）、延長戦は2分とする。ただし、必要と認めた場合は審判長の裁量により、あらためて時間を設定することもありうる。

大会進行は極力予定スケジュールに沿わせるが、やむをえない事態が起きた場合は、審判長・副審判長が協議の上、審判長が変更を指示することができる。審判長は大会進行に関し、大会審議委員会の意見を求めることができる。

【組手と勝敗】

1. 組手は原則として1試合3分間（予選は2分）とする。延長戦は同じく2分間とする。
2. 組手の勝者は、①一本勝ち、②技有り2本による合わせ一本勝ち、③判定勝ち、④相手選手の反則負け、失格、棄権による勝ち、により決定される。

【一本勝ち】

3. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、ダメージを受けた相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させたときは一本勝ちとする。

【技有り】

4. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、ダメージを受けた相手選手が一時的にダウンもしくは戦意を喪失し、3秒以内に立ち上がったとき、または、倒れはしないがダメージのためバランスを崩したときは技有りとする。
5. クリーンヒットと残心：上段への蹴り（上段廻し蹴り、上段前蹴り、上段後ろ蹴り、上段後ろ廻し蹴り、上段膝蹴りなど）がクリーンヒットし、転倒やバランスを崩さなくとも、間合いを制しタイミング良く気合いが伴う突きをして明確な残心を示せば技有りとする。
6. 中段への蹴り（中段前蹴り、中段後ろ蹴りなど）がクリーンヒットし、相手を瞬時に転倒させ、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に寸止めの気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。
7. 自分の技（足掛け・足払い、相手の技にカウンターの下段蹴りなど）によって、相手を瞬時に転倒させ、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に寸止めの気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。
8. 相手の捨身技（胴廻し回転蹴りなど）をかわして、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に寸止めの気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。
9. 転倒した選手が、倒れた瞬間に防御及び反撃の為に即座に攻撃（下からの蹴り上げ、廻し蹴りなど）をすることは認められ、第3条また第4条の基準で技有りや一本勝ちも認められる。
10. 相手の有効技により負傷し、審判長の判断で治療が必要となった場合、相手選手に技有りが与えられた上で試合続行となる。
11. 技有りは、2つで一本勝ちとする。

※転倒：攻防の中で相手の技によって瞬時に体を奪われ、お尻・背中が床についた場合。または足の裏以外の部位が床に着き、死に体（しにたい）となり直ちに攻防が続けられない状態になった場合。

※当て止め：ライトコンタクトによる明確な突き。ダメージを与えるフルコンタクトは反則。

※蹴りのクリーンヒット：ダメージのある技有り（第4条）にまでは至らしめないが、ある程度の威力・インパクトを伴う蹴り。

【判定】

12. 一本勝ちで決まらない場合は判定で決定する。
13. 判定は主審1名、副審4名のうち、3名以上の支持を有効とする。
14. 判定基準は両選手の試合の流れを把握し、以下の基準を元に判定を下す。
①ダメージ：どちらがより相手にダメージを与えたか。
②有効打・防御技術：どちらがより有効な技を相手に当てたか。どちらが防御技術を用いて相手の攻撃を防ぎ、自分の攻撃に結びつけていたか。ダメージが無いとしても相手の技に反応せず不用意に受けるのは、試合判定のマイナス要因となる。
③積極性・試合態度：どちらが正確な技で積極的に攻め主導権を握っていたか。どちらが武道精神に則り相手を尊重して正々堂々とした試合態度であったか。
15. 減点1を与えられた選手が「技有り」を取った場合、判定に於いて「減点1」と「技有り」は相殺され、それ以外の内容で判定される。
減点1＝技有り
16. 相手選手の反則負け、失格、棄権による勝ち。

【延長戦】

17. 判定で主審1名、副審4名のうち、3名以上の支持がない場合は、引き分けとし、延長戦を行う。

【体重・試割判定】

18. 延長戦を2回繰り返しても判定がつかない場合は、体重差と試割枚数で勝者を決する。体重差が10kg無い場合は試割枚数の多い選手を勝者とする。体重差が10kg無く試割枚数が同数の場合は、再度延長戦を行って決める。体重差が10kg以上有り、試割枚数が同数、または軽い選手が多く割っている場合、軽い選手を勝者とする。体重差が10kg以上有り、重い選手が多く割っている場合は、再度延長戦を行って決める。

【反則】

19. 次の場合は、反則とする。
①顔面殴打：手、肘による顔面および首への攻撃。手先が触れても反則となる場合がある。
ただし、手で顔面を牽制することはかまわない。
②金的への攻撃。
③頭突きによる攻撃。
④倒れた相手への直接攻撃。第6条、第7条、第8条の場合を除く。
⑤背骨への攻撃：背骨（脊柱）への直接攻撃。
⑥ 掛け：相手選手の首から上、及び胴体へ手掛けした場合。
⑦掴み：相手選手の道着、手足を掴んだ場合。ただし、相手選手の足払い（足掛け下段突き、中段蹴りを捌いての足払いなど）に対する防御のために道着を掴むことは反則とせず、口頭での指導にとどめる。
（これらのケースは両者が掴んでいる場合が多く、特に掴みの反則を狙って仕掛ける相手の足払いに対する自衛的掴みについては反則を取らない）
⑧抱え込み：相手選手の足や身体を抱えた場合。ただし、相手選手の足払い（足掛け下段突き、中段蹴りを捌いての足払いなど）に対する防御のために相手選手を抱えることは反則とせず、口頭での指導にとどめる。その際に首から上を抱え込むことは反則。また、双方共に相手選手を抱えたまま床に叩きつけてはならない。
⑨投げ：相手選手を投げた場合。
⑩顔面、首への押し：首から上への押し。
⑪連続しての押し：相手選手を連続して押した場合。
⑫抑え：相手選手を抑えた場合。
⑬密着：腕や胸を合わせて密着した場合。
⑭膠着：腕を合わせて、技術的な展開が3～5秒見られない膠着状態を繰り返した場合。
⑮消極性：明らかに消極的な態度で試合をした場合。
⑯掛け逃げ：技の掛け逃げを再三繰り返した場合。
⑰場外：自分から場外へ両足が出た場合、及び戦意をなくして場外に出た場合は反則（注意1）とする。但し、攻防中に場外に出た場合は反則を取らない。
⑱主審の「止め」が掛かった後の攻撃。
⑲関節への攻撃：中足・足刀・カカトによる正面から膝関節への攻撃。
⑳不十分な礼：正しく立礼をしない場合。
㉑着衣の乱れ：着衣が著しく乱れたまま試合を続けた場合。帯がほどけて床に落ちた場合。
㉒偽装：以下の場合、武道精神に悖る（もとる）行為として、注意・減点となる場合がある。
・相手の反則を装った場合（例：顔面殴打や金的への攻撃を受けたと装う）
・負傷を誇張した場合
・自ら顔面殴打や金的攻撃などを誘発した場合
㉓違反行為：ガッツポーズや床の踏み鳴らしなど禁止されている行為を行った場合。
㉔審判がとくに反則とみなした場合。
※押し：瞬間的な単発の押しを認める。
※捌き：腕・足への瞬間的な捌きを認める。ただし、捻り・投げは反則。
※押し・捌き・足掛けの複合技：押し・捌き・足掛けを同時に使うことが認められる。
20. 反則には、悪質な場合を除き1度目で「注意1」、2度目が「注意2」、3度目が「減点1」となり、4度目が「減点2」で反則負けとなる。
※反則により相手選手が負傷し、直ちに試合続行が不可能で回復時間が必要となり、審判長がその反則が重大なものと判断した場合は、反則をした選手に２つ分の注意が与えられる。

【減点】

21. 次の場合は1度目でも減点1となる場合がある。
① 悪質な反則を行った場合。
② 審判の判断により、悪質な試合態度とみなされた場合。

【反則負け】

22. 次の場合は、反則負けとする。
①減点2となった場合。減点2=反則負け
②反則により相手選手が負傷し、大会医師または医事委員会が試合続行不可能と判断し、審判長が認めた場合。

【失格】

23. 次の場合は失格となり、審判長の判断で順位が剥奪される場合がある。
①試合中、審判員の指示に従わない場合。
②粗暴な振る舞い、とくに悪質な反則、とくに悪質な試合態度とみなされた場合。
③出場申し込み時に申告した体重と当日の体重に10kg以上の相違があった場合。
④出場時刻に遅れたり、出場しない場合。
⑤主催者が定めた服装、防具の規定に反している場合。

【試合放棄】

24. 正当な理由なくして試合を放棄したときは、弁償金を支払わなければならない。ただし、下記の場合は例外とする。
①大会医師または医事委員の診察を受け、試合続行不可能となった場合。
② 大会直前または大会中に、本人に関係する不慮の事故（家族の不幸など）が発生し、審判長が協議の上、退場を許可した場合。

国際空手道連盟・試割規定

①試割の材料は、33cm×21cm、厚さ2.4cm（13インチ×8インチ、0.9インチ）の杉板を使用する。材質は国際空手道連盟の規格に合致したもので、審判員、審議員の検査を通ったものとする。
②選手は、試割の枚数について、規定枚数（3枚）以上であれば何枚でも指定できる。
③設置の制限時間は2分とし、それを超えると失敗とみなす。
④試割は、固定したブロックを台として所定の位置で行う。ブロックの台は、審判員・審議員の許可がない限り動かすことはできない。
⑤選手は試割に当たって、ブロックの台、板にはいっさい触れてはならない。触れた場合はその種目は「失敗」とし、再挑戦もできない（その種目の記録は0枚となる）。ただし、間合いを計ること、板の上に審判員、審議員の検査を受けた薄い布（手拭、タオル等）を敷くことはできる。また、足刀の際にブロックに足を掛けて試技を行うことができる。
⑥試割は、審判員の「始め」の号令とともに速やかに行う。
⑦指定した枚数の板が1回の試技で完全に割れない場合は「失敗」とみなす。
⑧「失敗」した場合は、再度試みることができるが、この場合は規定枚数の3枚とする。
⑨再度試みた試割に失敗した場合は、記録は「0枚」となる。
⑩割った枚数が同枚数の場合は、体重の軽い選手を優位とする。その際の有効体重差は原則として10kgとする。
⑪選手は、正拳・足刀・猿臂・手刀の4種類の技で試割を行い、その合計枚数によって勝敗あるいは順位を競う。

本大会 試合規定

本大会においては、次の規定を適用する。

1.階級は、男子は−60kg、−70kg、−80kg、−90kg、+90kg。女子は−50kg、−55kg、−60kg、−65kg、+65kgとする。
2.規定体重を超えている場合、あるいは満たない場合は失格となり、試合に出場できない。
3.体重判定の有効差は3kg以上とし、選手受付時に計測した体重を公式体重とする。
4.下位回戦の場合、本戦2分間、延長戦2分間とし、延長戦で判定がつかない場合は体重判定、体重で判定がつかない場合は再延長戦を行って決める。
5.上位回戦（男子準々決勝以降／女子準決勝以降）の場合、本戦3分間、延長戦2分間とし、延長戦を2回繰り返しても判定が付かない場合は、①試割枚数、②体重判定、③再々延長戦の順で勝敗を決める。

本大会 試割規定

男子準々決勝以降、女子準決勝以降の試合において再延長で決着が付かない場合は両選手は直ちに試割を行い勝敗を決する。
・選手は任意の枚数（男子3枚以上／女子2枚以上）を申告することが出来る。
・制限時間内（2分以内）に枚数を決め設置を完了させる。
・挑戦する枚数にかかわらず、その中で1枚でも割れない板があった場合は「失敗」となり、記録は「0枚」となる。
・4種目を終えても両者同数の場合、体重判定（有効差3kg）、それでも決着がつかなかった場合は再々延長戦を行い勝敗を決める。
・試技順
男子準々決勝／女子準決勝
①手刀 ②猿臂 ③足刀 ④正拳
男子準決勝／女子3位決定戦・決勝
①猿臂 ②足刀 ③正拳 ④手刀
男子3位決定戦・決勝
①足刀 ②正拳 ③手刀 ④猿臂

大会における肖像権について

1. 主催者は、本大会の模様を動画撮影、写真撮影、録音等の方法により記録し、公開するほか、主催者及び主催者の指定する第三者により各種媒体（テレビ、ラジオ、インターネット、新聞、雑誌、DVD等）において公開、利用することがある。
また、収録、公開される情報には、参加者の氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が含まれる可能性がある。
2. 参加者は本大会申し込みにより、氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が記録、公開及び利用されることに予め同意したものとし、主催者の自由な判断による記録、公開及び利用に関し、肖像権、プライバシー権、パブリシティ権、作品や成果物に関する著作者人格権等を行使せず、また一切の対価を請求しないものとする。

I.K.O.極真ルール審判動作基準

組手の部

【試合開始】

1.両選手を進行係が呼ぶ。（このとき対戦者はお互いに反対の位置より試合場に登る）
2.中央の線を境に一定の間合い3mをとり中央に主審が立つ。両選手に正面に礼、互いに礼を指示し、主審の「はじめ」の合図で試合を開始する。
3.試合続行中、着衣が乱れた場合、主審は試合を止め開始線に戻し、お互いに背を向けて服装を直させる。

【試合中】

1.試合中、一本勝ち、技有り、反則、場外などの場合、副審は笛の合図とともにそれぞれ旗によって示す。主審は「やめ」の指示で両選手を分け、元の位置に戻す。
2.旗の振り方は、以下の通りとする。
①一本勝ち／勝った選手の方の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。
②技有り／技有りを取った選手側の旗を真横に上げる。大きく短く笛を吹く。
③反則／反則をした選手側の旗を振る。旗の動きに合わせて短く笛を吹く。
④場外／その側の旗で床を叩き、その後場外に出た選手側の旗を反則と同様に振り、笛を吹く。
旗の動きに合わせて短く笛を吹く。
⑤認めず／2本の旗を交差させて振る。旗に合わせ長めに笛を吹く。
⑥見えず／2本の旗を正面で交差させる。笛は吹かない。
⑦判定の際：引分け・中立／2本の旗を前で交差させる。大きく笛を吹く。
赤の勝利／赤の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。
白の勝利／白の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。
3.一本勝ち、技有り、反則の場合、主審は副審の判断を求め主審を含め3名以上の判断を有効として、それぞれ宣告する。

【一本勝ち】

1.試合規則第３条の一本勝ちの技が決まった場合、主審は両選手の間に入って分け、試合を止め元の位置に戻す。
2.主審を含め3名以上の支持を有効とし、一本勝ちを宣言する。

【判定勝ち（優勢勝ち）】

1.一本勝ち、反則負け、失格がない場合、試合終了の合図によって、主審は「止め」と指示し両選手を分け、元の位置に戻す。
2.主審は両選手を正面に向かせ、「判定」と指示して副審の判断を求める。副審は判定基準に則り勝ちと判断した選手側の旗を真上に上げる。引分けと判断した場合は、2本の旗を前で交差させる。主審を含め3名以上の支持を有効とし、3名以上の支持がない場合は引分けとする。

【反則】

1.反則があった場合は、主審が両選手の間に入って試合を止めさせる。
2.反則の認定には原則として主審を含め３名以上の支持を有効とする。
3.反則には、悪質な場合を除き1度目で「注意1」、2度目が「注意2」、3度目が「減点１」となり、4度目が「減点2」で反則負けとなる。
4.反則技については、試合規則「反則」（第19条）を参照。

【反則負け】

1.減点2または試合規則「反則負け」に該当する場合は、主審は該当する選手に反則負け（手刀を斜め下に指し示す）を宣言すると共に、逆側の選手の勝ちを宣言する。
2.反則負けの基準は、試合規則「反則負け」（第22条）を参照。

【失格】

1.試合規則「失格」に該当する場合は、主審は該当する選手に失格（手刀を斜め下に指し示す）を宣言すると共に、逆側の選手の勝ちを宣言する。
2.失格の基準は、試合規則「失格」（第23条）を参照。

【試合終了】

1.一本勝ち、反則負け、失格の場合、主審はただちに組手を止め、両選手を向かい合わせたまま勝ちを宣告し、両選手に正面に礼、互いに礼を指示し、握手をさせ、退場させる。
2.一本勝ち、反則負け、失格がない場合は、試合終了の合図とともにただちに組手を止め、両選手を正面に向かせ副審の判断を求め、勝者を決定した上同様にする。

I.K.O. 審判資格者

2026年7月現在
as of 2026 July

I.K.O. Officiating License Holders List

※準副審判員は省略

◆審判委員会 *(Officiating Committee)*

審判長 *(Committee Chairman)*

磯部 清次 *ISOBE SEIJI*

副審判長 *(Committee Vice Chairman)*

ケニー ウーテンボガート *KENNY UYTENBOGAARDT*

山田 雅稔 *YAMADA MASATOSHI*

審議委員 *(Committee Member)*

河岡 博實 *KAWAOKA HIROMI*

川畑 幸一 *KAWABATA KOICHI*

浜井 良顕 *HAMAI YOSHIAKI*

スチュアート コリガル *STUART CORRIGAL*

◆特別審判員 *(Executive Referee)*

五来 克仁 *GORAI KATSUHITO*

福田 勇 *FUKUDA ISAMU*

八巻建志 *YAMAKI KENJI*

◆主審判員 *(Referee)*

赤石 誠
阿部 清文
伊藤 慎
入澤 群
小田 勝幸
鴨志田 裕寿
河岡 晶俊
川本 英児
菅野 秀行
木立 裕之
木山 仁
進 裕治
杉村 多一郎
田口 恭一
田中 隆昌
戸田 直志
橋爪 秀彦
羽田 シゲル
ホヴァニシアン アルトゥール
三村 政史
山口 進也
横山 誠

◆準主審判員 *(Associate Referee)*

青木 英憲
安島 喬平
足立 慎史
池田 祥規
石川 博栄
石黒 康之
石田 伸太
伊藤 和摩
今井 宏幸
岩田 厚
岡田 幸喜
隠岐 忠顕
柿沼 英明
加藤 瑞基
北本 久也
黒田 都士
毛塚 慎一
小坂 精作
佐々木 敏也
塩島 修
鈴木 雄三
瀬戸口 雅昭
田ヶ原 正文
竹石 修
谷口 正明
徳田 忠邦
戸田 廣康
中塚 信夫
仲間 博之
中村 章子
永田 太
西村 淳平
秦 貴典
初川 正彦
日比野 丈二
福田 達也
ホスロ ヤグビ
細野 由人
堀田 裕晴
本間 唯志
前川 克信
松永 敏
御子柴 直司
三村 忠司
三宅 義人
宮脇 英彰
村田 達也
森 善十朗
守友 完矢

◆公式審判員 *(Judge)*

青木 修
青木 慎二
東 博昭
荒井 茂
新井 敏雄
荒田 昇毅
荒玉 康夫
板橋 清隆
今西 登之彦
梅本 直
江口 美幸
江口 芳治
大谷 善次
岡田 祐樹
小沼 隆一
貝沼 慶多
垣内 翔
嘉藤 伸
加藤 雄作
香取 宏明
金久保 典幸
鎌田 翔平
鴨志田 洋幸
川村 剛宏
川村 龍馬
菊地 修
北川 宗裕
久保 則之
久保 英和
倉島 博
栗原 直樹
呉 昌紀
高武 慎之介
小坂 武史
小林 節
小林 龍太
桜沢 昌一
桜沢 正大
澤田 乃基
宍倉 一太郎
島田 好己
真銅 宏二郎
鈴木 悦子
鈴木 康之
鈴木 由一
高井 康弘
高崎 秀之
高根 祥郎
竹岡 拓哉
田崎 佑麻
田中 勢二郎
田中 正信
田邊 英明
谷口 拓也
田原 一樹
塚原 典寿
津田 久義
徳田 寛大
戸谷 諒介
中 淳一
中辻 惟時
西尾 大輝
沼尾 陽司
根本 清志
羽田 和美
林 芳彦
馬場 武
比嘉 幸治
樋口 恵士
日野 正人
平尾 敏也
福井 裕樹
福森 堅仁
藤野 尊秀
古城 忠
堀内 徳浩
桝谷 謙人
松村 典雄
三角 裕隆
水晶 秀樹
三井 良介
宮崎 昌浩
本村 愛花
八木 一貴
安川 千鶴
薮井 祐也
矢部 剛
山上 博文
山添 雅史
由木 克宜
吉田 浩一

◆準審判員 *(Associate Judge)*

相澤 一賀
相澤 孝次
相見 秀樹
青木 海
青木 孝貢
青木 宏至
青柳 香菜美
青山 優衣
明石 浩太
秋元 英公子
秋本 勝宏
秋元 結奈
秋山 治
穐山 和斗
秋山 俊太郎
秋山 大知
阿久津 典子
阿久津 実希
阿久津 怜音
明日 勝昌
浅井 清志
朝井 清
浅川 好子
浅田 和義
浅田 潤
浅沼 明美
朝日 浩司
阿座上 圭
阿曽 健太郎
阿曽 詩織
阿曽 芳樹
安達 努
熱海 完児
阿部 修一
安部 貴史
阿部 司
阿部 仁士
阿部 広樹
阿部 二三夫
阿部 有騎
阿部 ゆり子
阿部 良平
天沼 優望
天野 朝之
アミール バクシ
荒井 厚志
荒井 瑞生
新井 安行
荒井 裕志
新井 遼平
荒川 瑞希
荒川 善幸
荒木 聡
荒野 竜司
荒屋 秀樹
有田 晃之
有持 真人
安藤 和宏
安藤 公敬
安藤 誠一
安藤 増実
安藤 義人
安道 ノボル
飯島 信二
飯島 昌宏
飯島 美穂子
飯島 由久
飯田 一義
飯田 貴
飯塚 健太郎
飯塚 茂幸
飯塚 努
飯塚 勉
飯塚 翼
飯塚 光
飯塚 博之
飯野 圭一
飯渕 直人
飯山 勝彦
井川 貴順
五十嵐 洋介
井口 成人
池上 采那
池嶋 傑
池尻 俊哉
池田 歩実
池田 孝徳
池田 美穂
池田 心結
池田 康之
池田 喜紀
池田 亮太
池之内 貴光
池村 陵弥
池本 哲治
生駒 大
伊佐治 和雄
石井 昌二
石井 達一
石井 鉄也
石井 博裕
石井 百花
石井 豊
石井 礼助
石井 玲八
石岡 幸治
石川 貴雄
石川 強司
石川 豊
石川 廉大
石上 明
石坂 圭典
石崎 恋之介
石崎 文也
石塚 博之
石関 もも
石田 和良
石田 成樹
石田 拓巳
石田 稔人
石田 正人
石田 昌巳
石原 奈央子
石原 久雄
石灰 亜優
石橋 浩
石森 文久
居島 敏和
猪尻 浩人
和泉 俊佑
磯 聖子
礒邉 龍吾
板倉 隆宏
板波 巧真
板波 ひとみ
伊丹 浩二
市川 竜也
一条 忠
一志 浩平
井手 雄一
伊藤 一成

伊藤 勝文
伊藤 一惠
伊藤 滉一郎
伊藤 真介
伊藤 孝明
伊藤 武志
伊藤 大治郎
伊藤 千華
伊藤 勉
伊藤 なな
伊藤 寧
伊東 信久
伊藤 正彦
伊藤 観世
伊藤 萌惠
伊藤 克剛
稲垣 源気
稲垣 達哉
稲崎 雄
犬塚 翔太
井上 一由
井上 健司
井上 真幸
井上 素世
伊原 武志
居林 輝雄
伊比 圭
井樋 奎介
伊深 達哉
今井 彩弥
今井 宏一
今井 俊輔
今井 智道
今井 秀樹
今井 康隆
今泉 智憲
今田 貴志
今畑 雅之
今本 博
井向 謙太
居村 将治
妹背 明
入井 歩
入口 裕太
入田 直也
岩井 浩二
岩尾 光弘
岩城 達也
岩崎 臣次
岩崎 伸之
岩崎 紀彦
岩崎 宗仁
岩崎 力也
岩田 いづみ
岩田 繁人
岩田 淳一
岩田 大
岩田 徹
岩田 龍真
岩沼 靖郎
岩橋 正憲
岩花 道久
岩間 明紀
岩間 雄二
岩谷 敏広
因 徹也
因泥 友成
宇井 清
上枝 知弘
上澤 俊一
植田 隆範
上田 海斗
上田 大介
上田 努
上田 英之
上野 志乃
上野 真吾
上野 洋平
上原 浩二
上原 秀雄
上原 真仁
上原 雄輔
植松 政洋
上村 康太
宇佐美 辰宜
宇佐美 真志
宇佐見 優二
牛久 京亮
後 英樹
臼井 大晟
薄井 弘幸
臼山 豊
歌川 宏見
宇田川 かすみ
宇田川 桂人
宇田川 正樹
内島 武志
内田 知美
内田 記央
内田 仁
有働 直樹
生方 旭
海野 雅紀
海野 守人
梅澤 潔
梅下 智弘
梅本 秀樹
浦出 高史
永楽 博徳
永楽 悠介
江川 晋示
江川 麟太朗
江口 友夫
江角 陽二
江副 守
越後 礼一
江戸 一成
榎本 亘
江平 奈央
蛯谷 実香
蛯名 透
遠藤 京多
遠藤 拓真
遠藤 健夫
遠藤 優衣
笈川 達弥
及川 弘喜
王 肖剛
大井 克宏
大泉 龍斗
大内 啓次
大川 響介
大川 忠義
大神田 圭
大柿 慎也
大柿 龍星
大懸 慈人
大木 大輔
大久保 透
大越 卓人
大胡田 恭
大澤 佳心
大澤 克己
大澤 真也
大澤 忠義
大島 宏一郎
大島 貴義
大島 啓史
大須賀 鉱一郎
大角 直樹
大関 仁
大関 彪
太田 周作
太田 壮一
太田 英明
太田 広伸
太田 雅志
大高 浩
大竹 明宏
大竹 正陽
大谷 正道
太田和 幸充
大塚 建太
大塚 寿人
大塚 鉄也
大塚 裕一
大友 健義
大西 敦己
大西 秀治
大西 竜司
大貫 久歳
大野 聖矢
大野 幸秋
大野 滉弥
大野 雅章
大野 昌弘
大橋 和幸
大橋 初行
大畑 安史
大秦 稜司
大秦 零司
大原 昭彦
大庭 弘之
大平 銑一郎
大曲 美樹
大間知 義人
近江 藤夫
大村 大輔
大村 道彦
大室 友良
大森 妃奈
大山 順二
大和 宏樹
岡 茂
岡 直樹
岡 宏仁
岡 正幸
岡上 朋弘
岡崎 藤二郎
岡崎 征史
岡田 恵子
岡田 健斗
岡田 優
岡田 行王
岡戸 信暁
岡部 慎太郎
岡村 真也
岡村 清二
岡村 美奈
岡本 香織
岡本 早代
岡本 敬義
岡山 伸英
緒方 彩瑛
尾形 隆明
尾形 忠由
小川 香織
小川 公啓
小川 紫蓮
小川 武之
小川 識
小川 亮
隠岐 江利子
隠岐 泰子
沖森 真介
荻野 太陽
荻本 陵史
奥 貴光
奥 直樹
奥原 幸雅
小椋 洋石
長田 誠
小山内 奈々美
長内 保乃楓
長内 雅人
尾崎 太一
尾崎 直人
尾崎 亮
小沢 剛
小澤 ほのみ
押尾 章治
押保 守彦
小田 昌平
小田 幸奈
落合 一也
小月 寿倫
小野 晃弘
小野 誠司
小野 孝
小野 龍也
小野瀬 陽絵
小野瀬 雄次
小野山 博
尾原 章正
小幡 匡志
小原 滋規
尾亦 勇治
尾本 和哉
折戸 法子
織茂 建司
加賀 健弘
加來 千明
角谷 茂
筧 誉
梯 智文
景山 仁志
笠原 ホベルト
樫村 方建
柏木 宏之
鍜冶 清和
梶原 悦生
梶本 曜二
神代 順子
加瀬 翔梧
加勢 貴英
加瀬 英明
加瀬澤 正義
片岡 浩司
片桐 杏未
片桐 一
片平 洋一郎
片山 雄登
片山 義幸
勝井 久美
葛田 勲
勝田 陵子
勝野 隆
勝間 正人
加藤 敦貞
加藤 昂英
加藤 達哉
加藤 ほのか
加藤 眞己
加藤 雅久
加藤 祐太
加藤 竜成
門井 敦嗣
角入 亮司
金井 邦彦
金井 史明
金瀬 裕
金津 亜美
金丸 泰己
金川 賢児
金子 賢一
金子 賢介
金子 虎太郎
金子 智一
金子 洋文
金子 由依
金子 祐一郎
金子 雄大
金島 隆
金田 聖子
金田 成次
金田 貴裕
兼久 啓太朗
釜村 毅
上岡 晃
上神田 克真
神里 巌
神長 崇之
上村 貴志
神谷 和宏
神谷 哲也
神谷 幸尚
神谷 竜太
加茂 顕彦
萱野 知美
萱野 英明
假屋 勝利
軽部 颯太
河合 雅紀
河合 優
川合 良樹
河岡 茉奈
川上 奈美
川上 裕之
川口 武
川口 文宏
川嵜 雅央
川島 賢治
川島 徹也
川瀬 健太郎
河田 隆
川田 康照
川名 茂樹
川名 隆
川並 倫明
河野 英司
川野 裕介
川端 翔
川端 理恵
河辺 博之
川向 智則
川村 哲
川本 真也
川本 正
河本 淳二
河元 辰朗
菅家 誠也
神崎 凌
神沢 弥寿成
寒竹 慎一
神田 治明
神取 迅人
閑野 勇
菅野 勝志
神野 勉
菅野 浩
菅野 萌
菅野 森人
蒲生 直樹
菊地 克典
喜国 由香
岸 悦夫
岸 秀幸
岸本 親幸
北畠 正寛
北村 佳祐
北村 伸吾
北村 健文
北村 伸宏
北村 隆士
木立 雄大
吉川 保行
木之内 碧斗
木下 安伊子
木下 跳右
木原 哲
木原 拓也
木町 譲
金 慶浩
木村 建哉
木村 宣章
木村 哲之
木村 雅昭
木村 雅彦
木村 雅代
木村 由佳
桐澤 智
帰山 宗久
京極 重幸
京極 智和
草刈 俊之
草薙 智史
工藤 淳也
工藤 孝雅
工藤 拓朗
工藤 善美
國澤 信頼
国広 竜治
久保 栄
久保 聡美
久保田 明
熊谷 剛次
熊木 純
神代 慎一
倉成 誠也
倉野 水杉
鞍橋 俊範
鞍橋 渉
倉持 潤
藏元 志叙
栗田 光春
栗原 駿
栗原 光
栗原 麻友子
栗原 康行
黒岩 幹也
黒岩 丈介
黒川 和弥

黒崎 知岳
黒沢 茂弘
黒沢 陸
黒田 茂夫
黒田 哲也
黒田 凌
桑野 雄介
桑原 伸也
桑原 良明
ケル きりん
ケル ピーター
グエン スアン トゥック
小網 嘉明
小池 いづみ
小池 潤一郎
小泉 啓次朗
小泉 直也
小出 雅之
小枝 怜生
古賀 秀哉
小木戸 瑛斗
輿石 英明
越川 一美
小島 延斗
小島 弘樹
児島 司
小島 智秀
小城 みなみ
小杉 圭太
小竹 真樹
小谷 郁佳
小谷 夢加
小坪 功昌
小寺 英志
小西 英人
小西 祐範
小西 雅仁
小西 勇司
小沼 淳
小早川 徹也
小林 英治
小林 克利
小林 久美子
小林 賢悟
小林 健人
小林 幸枝
小林 重朝
小林 慎一
小林 壮大
小林 超
小林 鉄馬
小林 哲也
小林 英男
小林 浩己
小林 浩樹
小林 博
小林 真
小林 ゆうき
小林 幸男
小林 陽子
小林 佳彦
小林 竜
コバレンコ コンスタンティン
駒澤 剛
小峰 知己
小峯 寛丈
小峰 政夫
小向 聡
小室 宗一
古谷 竜一
子安 慎悟
小柳 佑太
小山 秀勇
小山 正次
小山 真史
小山 隆
小山 誠
是枝 秀朋
今 貴洋
近 光流
今 道夫
近藤 哲
近藤 勝矢
近藤 壮一郎
近藤 太郎
近藤 機
近藤 博和
金野 有汰
金野 佳子
郷田 正勝
後藤 勝巧
後藤 邦之
後藤 昇一
後藤 敏之
後藤 風磨
後藤 元康
後藤 力
五味 仁
権藤 大樹
崔 哲樹
西條 良香
齊田 博嗣
齋藤 信一
齊藤 聖汰
齊藤 聖也
斉藤 大助
斎藤 稔彦
齋藤 智信
齋藤 壽一
齊藤 大輝
斎藤 浩幸
齋藤 充広
齋藤 悠太
斎藤 幸弘
齋藤 麗奈
佐伯 緑
酒井 一雄
坂井 克司
境 健一
酒井 健志
酒井 健爾
酒井 貴大
栄井 大喜
境 敏昭
酒井 久雄
境野 泰資
坂上 守昌
榊 洋子
榊原 英樹
坂口 真也
坂田 正
坂西 真美
坂本 賢治
坂本 光一
坂本 妙子
坂本 忠一
坂本 剛
坂本 康裕
坂本 佑太朗
佐川 司
作田 豊
佐久間 健一
佐久間 崇仁
佐久間 信行
佐久間 大典
櫻井 昭太
櫻井 ひより
桜井 幹雄
櫻田 文子
櫻田 英策
櫻田 心太郎
櫻田 まどか
櫻本 海斗
佐々木 一壽
佐々木 謙太
佐々木 仁一
佐々木 信尚
佐々木 一
佐々木 弘記
佐々木 博康
佐々木 文夫
佐々木 蓮太
笹沼 喜美男
サザーランド ジェームズ
笹生 誠哉
佐田 宏喜
佐藤 晃
佐藤 一也
佐藤 勝政
佐藤 恭子
佐藤 清伯
佐藤 恵一
佐藤 行
佐藤 拓海
佐藤 毅
佐藤 岳仁
佐藤 竜也
佐藤 達也
佐藤 大樹
佐藤 七海
佐藤 伸久
佐藤 博之
佐藤 正博
佐藤 睦子
佐藤 由芽
佐藤 友亮
佐藤 優祐
佐藤 豊
佐藤 凜
佐野 忠輝
佐野 博文
佐俣 淳一
澤地 治
澤田 淳
澤田 達也
沢舘 正道
澤登 聡子
澤村 海詠
澤村 勇太
山海 敏弘
三瓶 昭浩
財満 啓次郎
椎名 貴之
椎橋 清一
シェック ルットフォー ラハマン
塩崎 快翔
潮崎 泰
塩路 裕
塩田 亮
塩谷 亘
塩田 博之
塩月 直樹
静井 寿江
志田 晃
志太 勤一
篠崎 蒼翼
篠田 千晴
篠田 雅久
篠原 かほる
篠原 基樹
篠原 亮平
柴倉 愛弥
柴倉 好美
柴崎 剛
柴田 大介
柴山 明
渋 泰規
渋谷 明宏
渋谷 賢一
渋谷 誠哉
島 英輔
島崎 均
島崎 比呂希
島田 景虎
島田 和生
島田 松三
島田 政一
嶋田 芳隆
島野 啓士
島村 三男
清水 浩一
清水 巧
清水 智之
清水 祐貴
志村 敏夫
志村 優斗
下拂 千佐
下拂 大仁
下村 一貴
下山 統久
謝花 孝之
社本 篤
東海林 博文
庄田 典弘
正田 弘幸
白石 浩司
白石 直久
白岩 康夫
白川 哲也
白濱 淳
申 玄拓
新海 義博
新里 隆幸
地紙 慎
上所 孝広
神 晋
神 昊
末田 正幸
末吉 光太郎
末吉 重仁
菅 彩紅
菅 充
菅 羅桜
菅井 純
須貝 崇司
菅井 芽巳
菅波 彩乃
菅波 まこと
菅波 里穂
菅野 真人
管野 雅史
菅原 建徳
菅原 琥珀
菅原 弘喜
菅原 秀幸
杉浦 一
杉江 照幸
杉島 直樹
杉原 正浩
杉本 麻子
杉山 徳
杉山 肇
杉山 史紘
杉山 将一
鈴川 潤
鈴木 正彦
鈴木 花菜
鈴木 哉琉
鈴木 公啓
鈴木 浩一郎
鈴木 こころ
鈴木 茂
鈴木 獅沫
鈴木 修司
鈴木 俊司
鈴木 潤
鈴木 隆之
鈴木 拓
鈴木 武彦
鈴木 千凌
鈴木 俊之
鈴木 奈央子
鈴木 伸幸
鈴木 英夫
鈴木 正弘
鈴木 雅祥
鈴木 みらい
鈴木 康雄
鈴木 悠介
鈴木 良太
鈴木 燎真
壽田 透
須田 征士
数土 武延
須藤 美砂子
首藤 優
強矢 港
隅内 政憲
角倉 剛
スミス ウエイン
酢谷 隆弘
スルジャワン インドリヤニ
諏訪 海椰
清家 晃一
妹尾 巌
瀬川 拓也
関 鳴世
関 幸彦
関 芳武
関 利惠子
関口 直樹
関根 康太
関野 礼菜
関谷 頼輝
瀬戸 哲男
瀬戸 英明
瀬戸口 秀作
瀬ノ上 雅行
千徳 尚
全 康一
相馬 眞太
相馬 悠人
十河 昌司
曽根 五月
園部 容弘
祖父江 宏至
孫 敬宜
高井 久恵
高井 博司
高尾 正太
高尾 良彦
高木 研治
高木 信
高木 大地
高木 憲恒
高木 嘉人
高木 稔
高木 美帆
高木 康行
高坂 直樹
高崎 純一
高澤 功
高澄 雅人
高瀬 晃次
高瀬 弘将
高瀬 奏
高田 悠一郎
高田 朝磨
高田 謙一郎
高田 誠次
高藤 祥彦
高根 昭仁
高根 敏郎
高野 晋一
高野 正雄
高野 澪碧
高橋 昭人
高橋 和秀
高橋 主仁
高橋 健太郎
高橋 恒治
高橋 耕平
高橋 幸代
高橋 誠治
高橋 貴樹
高橋 大
高橋 伸明
高橋 洸
高橋 博秀
高橋 円香
高橋 美帆
高橋 芽依
高橋 優太朗
高橋 ゆかり
高橋 良樹
高橋 佳大
高橋 良侑
高原 成明
高部 芳幸
高松 雅木
高本 真奈
髙山 ひなた
高山 恵
田川 雅久
瀧ヶ崎 美穂
瀧澤 正之
田口 創太
田口 剛章
田口 英典
田口 義文
武井 新一
武石 昌彦
竹内 和史
竹内 康二
竹内 繁広
竹内 翔悟
竹内 拓
竹澤 良司
竹澤 蓮
竹下 真介
竹下 泰司
武田 健太

竹田 大介
竹田 剛
武田 裕二
武藤 信也
竹仲 弘治
竹岡 理央
竹本 勝行
武本 晃矢
武元 悟
竹本 孝徳
武山 崇
多胡 圭介
田代 直美
多造 正信
多田 将太朗
多田 拓弥
立川 誠治
田附 暁嗣
立石 勝秀
立石 颯
立箱 由佳
田中 愛琉
田中 郁
田中 克昌
田中 規世
田中 清親
田中 宏一
田中 聡
田中 誠司
田中 壮馬
田中 隆生
田中 孝幸
田中 千尋
田中 俊彦
田中 伴明
田中 直人
田中 信夫
田中 輝
田中 秀仁
田中 洋行
田中 慎
田中 稔
田中 康弘
田邊 里砂
谷 琉生
谷池 精華
谷川 蒼哉
谷川 友美
谷口 治
谷口 敬介
谷口 将都
谷口 竜介
谷本 晋一
谷本 剛
谷和 令
種 芳洋
種家 温人
種村 政浩
田原 実
田渕 淳司
玉田 昌也
玉津 義伸
田水 春樹
田宮 崇
田村 絵梨子
田村 勇次
田村 勇翔
為本 清雄
田谷 真人
田山 英明
田山 侑希
丹 美穂

伊達 正
知久 定司
知念 琉花
千野 晏輝
千葉 英明
千葉 実波
千葉 祐次郎
千葉 廉太郎
千村 英晃
トランティ アイン トゥエット
丁田 政二郎
長戸 来夢
沈 毅
塚越 若菜
築山 三枝
筑波 秀男
辻 耕司
辻 辰男
辻 好信
津田 和久
津田 健太郎
津田 成則
土谷 一郎
土屋 香織
土屋 建太
土屋 大
土谷 奉功
筒井 隼太
筒井 順治
堤田 真矢
常川 淳
恒川 優司
坪井 信也
坪内 嘉次
津村 雅史
津山 晃浩
鶴 泰治
鶴田 丈
鶴原 学
鶴見 達夫
鶴見 真義
勅使河原 大毅
鉄尾 猛司
鉄本 皐
鉄本 潤
手塚 烈王
寺崎 雅人
寺島 清二
寺田 勝法
寺田 悠人
寺峯 典子
寺峯 勝治
出口 佳代
出口 隼人
出口 正人
當間 義朗
当銘 将司
遠山 裕明
徳田 茄麗
徳永 徹朗
戸口 茂司
年野 昌幸
戸島 啓助
戸谷 昌弘
戸田 昌江
栃澤 大介
戸塚 謙
冨岡 新吾
富沢 俊悦
富澤 文彦
富沢 真優
冨田 大介

富田 英樹
冨田 弘睦
富永 恵吾
冨永 里実
友田 一博
豊田 聖人
土井 清隆
土肥 渉
道幸 水紀
道堂 広大
土橋 芳孝
内藤 茂敏
内藤 貴之
内藤 博道
内藤 昌之
内藤 玲奈
中尾 広延
中岡 京介
中川 充
中川 僚
中川 英貴
千徳 美登里
仲川 耶真人
中込 達哉
仲沢 欣規
中島 正二
中島 寛高
中島 レベッカ
中島 伸
中島 純次
中島 季央
中島 盛雄
中城 毅
中水流 嘉臣
中曽根 和男
中谷 考志
中田 功章
中達 太郎
中坪 美実
中坪 由
中西 大志
仲野 創一
中野 哲弥
中野 雄太
中野 陽一
中橋 光二
中原 慎一郎
中又 正
中町 裕子
中水 正人
中村 彩乃
中村 慶太郎
中村 健太
中村 玄也
中村 聡
中村 俊介
中村 樹慧
中村 淳一
中村 武博
中村 直樹
中村 尚美
中村 典雄
中村 比呂志
中村 行央
中本 洋路
中森 和寿
中森 哲也
中山 翔太
中山 慎太郎
中山 浩巳
永井 宏治
永井 哲也

長石 康俊
長尾 悟
長岡 史善
長崎 健一
長沢 紋奈
永澤 衛
長澤 大和
長澤 龍馬
長塩 昭二
長島 新
永田 拳也
長田 聡史
永田 真也
永田 大祐
長田 龍太郎
長妻 和成
長縄 大樹
長原 士郎
長屋 哲雄
長屋 俊輝
名郷根 幸枝
那須 晶
名手 賢治
鍋田 良寛
浪越 孝
波間 友美
名目良 明利
成田 崇彰
成田 竜哉
成田 憲雄
成田 真好
鳴島 英二
西 康成
西井 潔
西尾 誠太郎
西尾 祐司
西川 益生
西川 嘉一
西島 秀起
西田 謙司
西田 光伸
西野 和弥
西野 佳奈
西野 咲都
西野 仁
西野 洋平
西畑 孝優
西村 界人
西村 将真
西村 俊昭
西村 俊哉
西村 直也
西村 真
二宮 勝司
二星 京介
丹羽 エヴァンジェリン
貫 貴秀
塗師 輝大
沼尾 晃司
沼尾 晶司
沼澤 和也
根内 俊哉
根岸 治
根岸 和憲
根岸 眞一
根本 明芳
野口 弘一
野崎 かおり
野澤 徹
野嶋 淳
能勢 正崇
野田 浩一

野中 杏華
野畑 圭司
野見山 和久
野村 彰紀
野村 勝善
野村 健
野村 智之
萩原 小百合
萩原 規善
萩原 洋介
葉倉 康実
橋田 陽彦
橋爪 二朗
橋詰 雄一
橋場 泰志
橋場 秀哉
橋村 亜美
橋本 浩司
橋本 正憲
橋本 直澄
橋本 雅彦
橋本 竜
柱 武志
蓮井 竜二
長谷川 拓司
長谷川 千佳子
長谷川 聖拳
羽田 皇喜
畠山 孝成
旗手 浩
畑中 実
畑中 陽介
八谷 隆晴
八田 安章
羽藤 精一
花井 祐樹
花倉 孝典
花田 真理子
花田 直樹
英 智雄
埴生 志朗
羽生 大輔
羽田 夏規
濵岡 秀星
濱口 均
浜田 和己
浜田 洋介
濱野 恭嗣
早川 広一
早川 晃司
早川 久也
早川 満
林 和夫
林 圭一
林 孝一
林 滋
林 修司
林 昌広
林 祐希
林 行彦
林田 仁宏
羽山 進
原 敬一
原 裕之
秡川 直也
原口 敦
原田 聡一郎
原田 倫明
原田 浩之
原田 祐光
原田 至崇
張田 歩輝

張田 智子
馬場 和博
馬場 慎之助
馬場 ジャクリーンコルテス
馬場 久剛
馬場 妃花
バリ モディアマドゥウリィ
伴 和徳
阪野 滉太
バリアット スネラタ
樋川 辰彦
檜垣 薫
桧垣 賢児
樋笠 孝博
東 健太郎
東 託也
東浦 吉夫
樋口 克也
樋口 知春
樋口 陽太
齊 孝晴
齊 孝明
齊 勇晴
日向 孝史
日向 貴彦
兵頭 圭二
平岩 皓太
平尾 誠治
平岡 和彦
平沢 拓巳
平瀬 滋隆
平田 ギリェルメ
平田 寿正
平塚 洋司
平野 豊一
平野 匡志
平野 裕士
平橋 数樹
平松 花菜
平松 幹夫
平本 正樹
平山 尚樹
蛭田 裕輔
廣澤 賢臣
廣瀬 倫子
廣田 高志
廣田 宗宣
廣橋 征文
廣本 直也
尾藤 勇
深津 玲
深野 実
深水 邦彦
福岡 久晴
福岡 昌浩
福島 栄治
福島 康二
福島 汐織
福田 薫
福田 大樹
福田 靖
福永 葵
福永 規男
福原 邦展
福原 誠起
福本 淳
房野 浩二
伏見 歩
藤井 輝之
藤岡 響子
富士岡 隆
藤岡 猛

藤川 靖宏
藤倉 照章
藤崎 康成
藤嶋 晶子
藤田 和久
藤田 周
藤田 忠幸
藤田 珀斗
藤田 温
藤田 英浩
藤田 正幸
藤田 陽央
藤塚 恵勝
藤野 清一
藤野 智
藤原 幸栄
藤巻 崇
藤本 彰虎
藤本 彰
藤本 正樹
藤本 美桜
藤本 玲子
藤原 清吾
藤原 将
藤原 未奈子
淵脇 猛
船見 純也
古井 貴
古池 真
古川 克昇
布留川 清一
古川 晴也
古川 莉紗
古澤 憲一
古澤 壮樹
古本 武志
古谷 茂雄
古谷 武久
日置 正恵
別府 達朗
辨天 朋大
保谷 浩正
外堀 徹雄
星 加代子
星 三千代
星野 珠璃
星野 龍太
細井 龍
細木 颯人
細木 宏昌
細野 恵未
細野 智有
細谷 洋
堀田 知示
堀 樹夏
堀 哲也
堀 稔明
堀 雄次
堀井 浩
堀内 直人
堀尾 大治郎
堀川 勝則
本田 昭裕
本多 竜也
本多 将俊
本間 太
前川 生向
前川 恵梨
前川 貴和女
前川 早苗
前川 英隆
前島 朋和
前島 康夫
前角 俊成
前田 誠
前納 聖司
前波 和幸
蒔苗 宏之
牧野 匡男
牧本 朱生
幕内 文亮
正木 貴行
増子 秀一郎
間島 浩一
増井 義明
増田 千敬
増田 和之
益田 高之
桝田 哲郎
増田 直紀
増田 百合子
益原 直也
増原 雄司
舛谷 真生
町田 佐知子
松井 厚
松井 司
松井 毅
松井 誠
松井 誠
松浦 章浩
松浦 博孝
松尾 明憲
松尾 寧音
松尾 博通
松岡 吉茂
松川 徹
松倉 遼人
松崎 泰之
松澤 佐知子
松澤 彰哉
松下 史久
松柴 義人
松島 雄
松竹 光男
松田 和明
松田 猛
松田 昌恵
松田 由貴子
松丸 二郎
松村 宙花
松村 理沙
松本 浩一
松本 晃征
松本 真太朗
松本 誠二
松本 孝之
松本 博
松本 文昭
松本 琉
松山 健一
松山 謙八
真辺 英二
真野 知之
丸山 正徳
丸山 勝
圓山 康則
三浦 薫
三浦 薫
三浦 涼音
三浦 英伸
三浦 弘之
三浦 大夢
三浦 昌義
三浦 怜士
三上 孝志
三上 毅
三上 英男
三川 裕志
三木 浩
三木 護
三木 渉
水木 郁応
水口 浩隆
水越 輝幸
水崎 潤一
水島 勲
水島 英宣
水野 淳成
水野 隆央
水野 秀行
水間 輝敏
水見 隼
水本 丞
溝内 徹
溝口 宣之
溝口 祥史
三田 真弘
三谷 治
三谷 哲一
光富 大貴
翠川 玄洋
緑川 祥子
皆川 朋輝
湊 敏明
南 健太郎
三根 大介
三原 一真
宮垣 正浩
宮川 いさむ
宮城 さつき
宮城 駿一朗
宮城 優二朗
三宅 講太朗
三宅 淳也
宮崎 淳平
宮崎 信之
宮崎 弘文
宮崎 雄太
宮澤 清
宮澤 真一
宮田 航成
宮田 琉成
宮地 聡太郎
宮地 ちひろ
宮成 千晶
三山 元彦
宮村 宗和
宮本 彰
宮本 健一
宮本 憲一
宮本 周治
宮本 神
宮本 裕美
向川 裕貴
武藤 和志
宗石 康英
村岡 麻里
村岡 賢和
村上 豪
村上 孝博
村上 久子
村上 誠
村上 昌志
村上 吉秀
村川 典人
村木 保吉
村古 心優
村瀬 かおる
村田 温志
村太 厚志
村田 和俊
村田 真理子
村松 翔
無留井 洋貴
目時 英昭
メルニコワ イリーナ
モイセエフ セルゲイ
茂木 仁史
望月 豪太郎
元木 和弘
本橋 琴実
本橋 正道
本橋 義也
本山 詩織
本山 久司
百生 陽純
桃原 梨璃伽
森 稀美華
森 晃二
森 誠司
森 天斗
森 弘樹
森 弘子
森 博文
森 真樹
森 義和
森澤 茂義
盛實 賢俊
森下 晃秀
森田 浩一
森田 文啓
森田 宗夫
森田 諒
森田 怜
森竹 忍
森本 英輔
森谷 清
森山 稜太
諸川 雅一
門崎 繁
門間 英晃
矢内 克典
八木 厚史
八木 隆典
八木 明秀
柳下 一幸
八木沼 史朗
八鍬 正裕
八代 健正
八代 美歩
安川 海空斗
矢菅 靖子
安田 拓未
安田 俊彦
安田 正幸
安西 俊之
柳澤 紗菜
柳田 秀樹
矢野 恵三
矢野 進
矢能 学
八幡 華菜
矢端 都雄
矢彦沢 幸
矢彦沢 直行
薮崎 右馬
矢部 貴也
矢部 真保
矢部 美文
山内 民也
山浦 真一
山川 竜馬
山川 知房
山上 大輝
山岸 凱
山岸 寿悦
山岸 隆
山際 大志郎
山口 麻雄
山口 篤史
山口 教一
山口 桜
山口 貴弘
山口 登夢
山口 直宏
山口 政登
山口 祐司
山崎 貴士
山崎 隆浩
山崎 晴弘
山崎 乙乃
山崎 信介
山崎 哲也
山崎 利行
山崎 博文
山崎 竜太郎
山下 翔大
山下 鉄雄
山下 博明
山下 竜二
山城屋 義明
山路 洋平
山田 明
山田 泉
山田 健吾
山田 繁樹
山田 心優
山田 修一
山田 太樹
山田 喜一
山田 英樹
山田 浩人
山田 稔
山田 湧登
山田 幸信
山田 芳明
山田 瑠凛
山田 渉
大和屋 昌亮
山根 栄治
山根 好弘
山根 龍一
山野 博久
山之内 浩樹
山辺 光英
山村 康裕
山本 誠
山本 一樹
山本 一統
山本 航暉
山本 晃多
山本 慎二
山元 誠也
山本 哲也
山本 俊彦
山本 直緒
山本 裕之
山屋 龍生
湯浅 元博
結城 新市
雪野 雅樹
湯沢 喜明
弓場 彩香
弓中 武彦
弓林 龍生
湯山 和洋
横尾 早智
横尾 博和
横田 誠二
横溝 忍
横山 勝司
横山 修弘
横山 敬洋
横山 愛
横山 靖史
吉岡 栄司
吉岡 恵美
井川 可菜
吉川 啓一
吉川 悠介
吉沢 努
吉栖 成美
吉田 篤司
吉田 耕一
吉田 淳一
吉田 大峨
吉田 龍也
吉田 勤
吉田 隼人
吉田 寿
吉田 博文
吉田 美紀
吉野 浩司
吉野 悟史
芳野 仁一
吉野 康晴
吉村 直人
吉本 正克
米倉 由佳子
米沢 祐輔
米田 昌平
米田 豊
米山 浩貴
李 花
李 櫂允
李 武志
利光 泰直
林 秉天
ルペシ クマ ダンゴル
ルモワンヌ ファビアン
若梅 政司
若杉 風香
若林 総司
若林 太一
若松 勝美
和川 智子
脇山 洋一朗
和崎 弘志
渡邉 敦斗
渡辺 英治
渡邉 晴斗
渡邊 仁
渡辺 藤夫
渡邊 雄
渡邊 能行
渡邊 良祐
綿引 桂寿
渡部 流生
和田 政美
和田 義史

日本赤十字社　災害義援金チャリティー

I.K.O.セミコンタクトルール 2026全国交流大会

2026全日本型競技 空手道選手権大会

主催／国際空手道連盟 総本部 極真会館　館長／松井章奎

8月29日(土) 京都府立体育館 島津アリーナ京都 京都市北区大将軍鷹司町

協賛／KAATSU JAPAN 株式会社　シダックス株式会社

後援／日本赤十字社　メディアエイト　ワールド空手

～ 極真会館へ入門をしたら ～

会員登録

◆道場生は入門手続きと同時に、極真会館基幹システムIKOポータルに必要事項を入力し極真会館総本部に登録を行なうと同時に年会費の決済を行なっていただきます。
◆会員登録の詳細についてはIKOポータル確認画面〔会員登録に関する重要事項〕を確認し同意して頂くことになります。
◆会員登録は基本的には、入門時に道場で入力して頂きます。
◆登録完了後は、会員マイページにログインすることで登録状況の確認・変更が行なえます。
◆登録完了の時点で稽古に出席ができます。

※会員登録は極真会館の道場生全員が行なうことになっています。昇級審査の受審や試合出場の直前に行なうものではなく、入門と同時に行なって頂くものです。

既存の会員の方へ

IKOポータルへの登録切替（切り替ることで何が変わるか?）

現在の登録されている情報をIKOポータルへの登録切替することで
◆各種情報の変更の届け出が会員ご本人のパソコンなどで行なえるようになりました。
◆お手持ちのクレジットカードで年会費・メディカルサポート加入費のお支払いが可能となりました（クレジットカードの発行申込が必要ありません）。
◆会員マイページへログインすることで登録状況の確認が可能となりました。

https://www.memberregistration.net/user-auths/login

IKOポータルへ切り替えていない会員の方

～こんな時は、必ずお知らせください～

こんな時【その1】
引越しをしたら…

住所変更届の要領に従って必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送にて会員管理部までお送りください。

こんな時【その2】
口座を変更したら…

会員管理部へご連絡ください。

こんな時【その3】
会員カードをなくしたら…

会員管理部へご連絡ください。

こんな時【その4】
退会しようと思ったら…

◎退会希望の場合は、年会費引き落としの40日前までに、ご本人・決済者が会員管理部に必ず電話連絡のうえ、総本部発行の会員証を所属支部へ返却していただくか、会員管理部へご返送ください。
◎確認のため、生年月日、住所などをおたずねすることがございます。相違する場合はお受けできない可能性もあります。
◎退会の際は、必ず所属支部にも連絡してください。月会費の停止などは、会員管理部では行なっておりません。
◎引き落としの前には請求書・振替の案内をお送りしますが、その確認後に退会連絡をいただいても、「年会費は翌年」、「月会費は翌月」からの引き落とし中止となります。
◎退会届の受付後、取り消しは原則的に行なえません。退会後の入門には、再度、入門料・年会費が必要となりますので、よくご検討のうえ、ご連絡をお願いいたします。
◎会員本人または会費決済者が諸手続きを行なわなかった場合、納入された年会費・月会費の返金は一切行ないません。翌年・翌月からの引き落とし中止となります。
◎退会希望の届けがない限り、毎年一回カード決済または口座振替により年会費は引き落としされ、登録は継続されます。本会より退会確認の連絡は行ないませんので、あらかじめご了承ください。

こんな時【その他】

●道場の休会　●他支部への移籍　●合宿・昇級審査など
ご不明な点は、各所属支部道場におたずねください。

住所変更届

※会員登録に関する変更届は、下記の要領にしたがって（または、コピーして）必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送にて会員管理部までお送りください。※所属支部へも住所変更を行なってください。※楽天KCカード（オフィシャルメンバーズカード）会員の方は、楽天KC株式会社（TEL0570-01-5971）へも届けが必要です。

キリトリ

会員番号		フリガナ 氏　名	
支 部 名			
◎新住所			
フリガナ			
〒 TEL.			※アパート等にお住まいの方は建物の名称・号室まで記入ください。

黒帯カード申請書

黒帯カード申請／写真の変更／会員証の再発行（事前にご連絡をお願いいたします）

【黒帯カードへの切替について】黒帯カードへの切替を希望される方は、申請書に必要事項を記入し、カード再発行料2,200円（うち税200円）と現在お持ちの会員証（バーコード入り）を現金書留に同封して、下記住所までお送りください。同時に写真も同封してください。

【写真変更について】現在お持ちの会員証の写真を変更希望の場合は、変更する写真（パスポートサイズ）・会員番号・氏名を記入したメモ・現在の会員証（バーコード入り）・再発行料2,200円（うち税200円）を現金書留に同封して、下記住所までお送りください。※書留確認後、1ヵ月程度お待ちいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

キリトリ

会 員 番 号		フリガナ 氏　名			
支　部　名					
昇段年月日	年　　月　　日	昇段No.		現在の段	段

お知らせに関するお問い合わせ
国際空手道連盟極真会館「会員管理部」TEL.03-6452-5666
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1　FAX.03-6452-5667
受付時間／平日の午前10時～午後5時30分（土日祝祭日は除く）

国際空手道連盟 総本部 極真会館

館長/松井章奎

師範／福田 勇、八巻建志、杉村多一郎、ホヴァニシアン・アルトゥール、赤石 誠

指導員／入澤 群、貝沼慶多、コバレンコ・コンスタンティン、谷川蒼哉、日比野丈二、本間唯志

〒171-0021東京都豊島区西池袋2-38-1｜TEL.03-5992-9200 FAX.03-5992-9600

大山総裁の遺志を受け継いで、松井章奎館長が指導。

総本部道場は極真空手の原点であり、同時に直接打撃制カラテの原点とも言えます。全国の支部と道場、全世界に大きく展開する国際空手道連盟の中心です。

総本部道場は、強さと精神的向上を求める道場生の活気あふれた極真空手の殿堂であり、故・大山倍達総裁の遺志を受け継いだ松井章奎館長のもと、一般部（13歳～34歳）、壮年部（35歳以上）、女子部、少年部（満4歳～12歳）があり、随時入門・体験・見学ができます。

極真会館ホームページ http://www.kyokushinkaikan.org/

■おもな管轄道場

総本部代官山道場 ◎責任者:赤石 誠
〒150-0033
東京都渋谷区猿楽町3-7 代官山木下ビル 4F
TEL.03-3780-5553

総本部川口道場 ◎責任者:ホヴァニシアン・アルトゥール
〒332-0017 埼玉県川口市幸町3-5-11
東パネビル2F　TEL.048-255-8988

総本部所沢道場 ◎責任者:入澤 群
〒359-1126 埼玉県所沢市西住吉10-13
カワモク所沢ビル3F　TEL.042-922-3331

総本部札幌道場
〒062-0921 北海道札幌市豊平区中の島一条1-7-20
Forged bldg 4F　TEL.011-816-3939

総本部岩手道場 ◎責任者:松村典雄
〒020-0137 岩手県盛岡市天昌寺町4-58
TEL.019-647-3351

極真会館公式ホームページ

公式動画配信サイト KYOKUSHIN ONLINE

Official SNS

YouTubeチャンネル

X（旧Twitter）

Instagram

Facebook

総本部・本部直轄道場・地区本部・支部・道場のご案内

青森支部

空手の道は人の道

支部長 石川博栄

〒036-8141
青森県弘前市松原東1丁目3-2 2F
TEL.090-3361-6007

北海道函館支部

奮励努力

支部長 横山 誠

〒041-0841
北海道函館市日吉町3-10-3
TEL.0138-54-8199

北海道胆振支部

初志貫徹

支部長 澤田乃基

〒051-0004
北海道室蘭市母恋北町1-5-11
(学)北斗文化学園内
TEL.090-3393-5808

北海道札幌東支部

創意工夫、道をひらけ!!

支部長 塚原典寿

〒001-0018
北海道札幌市北区北十八条西4丁目2-17 501号
TEL.080-3497-3595

秋田支部

義理人情

支部長 伊藤和摩

〒010-0963
秋田県秋田市八橋大沼町3-14
TEL.018-866-1855

山形支部・福島地区・宮城仙台道場

勇気と望みと感謝の心

支部長 吉田浩一

〒960-0201
福島県福島市飯坂町字十網下12-4-505
TEL.024-563-3987

郷田道場

集え!! 限界へのチャレンジャー

最高顧問
師範 郷田勇三

〒114-0014
東京都北区田端5-14-2
富士見マンションB1F
TEL.03-3823-8954

東京城西支部

めざせ!! 極真の星を!

総本部長／関東本部 本部長
支部長 山田雅稔

〒161-0034
東京都新宿区上落合3-23-17
ユニーブル落合1F
TEL.03-3363-8430

栃木北支部

質実剛健

支部長 荒玉康夫

〒324-0057
栃木県大田原市住吉町1-15-23
戸辺ビル2F・3F
TEL.0287-23-7090

栃木南支部

一芸は道に通ずる

支部長 沼尾陽司

〒320-0846
栃木県宇都宮市滝の原1-2-34
滝の原ビル2F
TEL.028-637-8997

群馬東支部

不撓不屈

支部長 小林 節

〒371-0804
群馬県前橋市六供町326
TEL.027-289-2158

群馬西支部

生涯修行

支部長 細野由人

〒375-0015
群馬県藤岡市中栗須289-1
TEL.0274-24-2858

茨城支部・埼玉北支部

求道万日

支部長 鴨志田裕寿

〈茨 城〉〒305-0821 茨城県つくば市春日3-1-7
セオドールビル3F
TEL.029-851-1993
〈埼玉北〉〒347-0033 埼玉県加須市下高柳1635-1
TEL.0280-31-6510

茨城中央支部

闘志全開

支部長 安島喬平

〈水戸〉〒310-0825
茨城県水戸市吉沢町162-2
TEL.090-6177-81366
〈牛久〉〒300-1203
茨城県牛久市栄町5-57-2
TEL.0292-91-3592

茨城南支部

信は力なり

支部長 香取宏明

〒300-0052
茨城県土浦市東真鍋町9-29
TEL.029-826-2407

茨城西北支部

不撓不屈

支部長 大内啓次

〒302-0104
茨城県守谷市久保ケ丘2−18−1
けやきビル1F
TEL.080-4335-8582

埼玉東支部

心・技・体

支部長 毛塚慎一

〒339-0073
埼玉県さいたま市岩槻区上野59-2
TEL.090-2247-7150

埼玉西北支部

努力は必ず報われる

支部長 村田達也

〒350-1331
埼玉県狭山市新狭山2-11-16
ニュー狭山マンション1階
TEL.042-955-8557

埼玉南支部

尊敬・忍耐・感謝

支部長 鈴木雄三

〒353-0004
埼玉県志木市本町5-18-8
サンロード志木2F
TEL.048-487-7444

埼玉中央支部

やればできる！めざせ夢！

支部長 ホスロ・ヤグビ

〈大宮〉〒330-0854
埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-1-1 大宮アルシェビル7階
ゴールドジム大宮さいたま
〈宮原〉〒331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町3-477-1
TEL.048-653-9172

埼玉北越谷支部

極真精神！己を超えろ！

支部長 堀井 浩

〒343-0026
埼玉県越谷市北越谷2-17-5-2F
TEL.048-979-8408

埼玉東南支部

感謝・奉仕・行動

支部長 岡田幸喜

〒343-0111
埼玉県北葛飾郡松伏町松伏467
TEL.048-991-3453

千葉北支部

極真の覇者王道を歩め！

支部長 柿沼英明

〒273-0005
千葉県船橋市本町6-3-20
ベルヴィル2F
TEL.047-422-4128

千葉西支部

日進月歩

支部長 山川知房

〒274-0825
千葉県船橋市前原西2丁目15-19
三宝ビル5F
TEL.047-474-3437

千葉南支部

地域・社会に貢献する道場を目指す

支部長 石田伸太

〒290-0074
千葉県市原市東国分寺台3-10-20
TEL.0436-24-3212

千葉中央支部

心・技・体

支部長 竹石 修

〒264-0024
千葉県千葉市若葉区高品町427-6
TEL.043-235-3870

千葉下総支部

心を込めて、真に生きる

支部長 塩島 修

〒343-0042
埼玉県越谷市千間台東1-2-1
TEL.048-971-4553

千葉東葛支部

空手道の探求、普遍性の追求

支部長 福井裕樹

〈柏〉〒277-0852 千葉県柏市旭町1-1-16 中崎ビル2F
TEL.04-7147-9008
〈松戸〉〒271-0091 千葉県松戸市本町19-2 河内ビル2F
TEL.047-369-4655

千葉海浜支部

胆大心小

支部長 荒田昇毅

〒266-0032
千葉県千葉市緑区おゆみ野中央2-13-14
B棟スタジオM&M
TEL.090-1999-1802

本部直轄 四谷・飯田橋・東松山・秩父・熊谷道場

極真の道を全うすること

支部長 杉村多一郎

<四 谷>〒160-0004 東京都新宿区四谷3-11
山一ビル4B1F TEL.03-3357-8555
<飯田橋>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
4-5-6-3F TEL.03-3221-0753
<東松山>〒355-0016 埼玉県東松山市材木町
22-11 ウチダビル2F TEL.0493-25-3127
<秩 父>〒365-0005 埼玉県秩父市大字大野原
1864-1 TEL.0493-25-3127
<熊 谷>〒360-0037 埼玉県熊谷市筑波2-13
加賀崎ビル1F TEL.048-524-1104

東京城東北千住支部

随所に主たれば、立つ処皆真なり

支部長 佐々木敏也

〒120-0034
東京都足立区千住3-1
トンブク堂ビル3F
TEL.03-5244-0201

東京城東小岩支部・千葉北西支部

心を磨き己を極める

支部長 足立慎史

〈小岩〉〒133-0057
東京都江戸川区西小岩1-30-8 第二中正ビル2F
TEL.03-3658-9077
〈行徳〉〒272-0133
千葉県市川市行徳駅前2-18-3 リムーブル堀木2F
TEL.047-356-0403

東京城東葛西支部

質実剛健

支部長 木立裕之

〒134-0084
東京都江戸川区東葛西5-1-14
第7片田ビル2F
TEL.03-6456-0178

東京城東湾岸支部

人生一度！主役は自分！

支部長 鎌田翔平

〈築地〉〒104-0043 東京都中央区湊2-12-11 2F
〈月島〉〒104-0052 東京都中央区月島 4-6-12
スタジオワンズ内 TEL.080-7273-2999

東京城南大崎支部

求道無限

支部長 鈴木由一

〒140-0002
東京都品川区東品川3-25-1
牧田ビル2F
TEL.03-3458-0058

東京城南京浜支部

己に克つ

支部長 菅野秀行

〒143-0016
東京都大田区大森北1-11-3
サカエビル4F A
TEL.03-5471-0603

東京城南池上支部

覇気を失う事は自分を失う事

支部長 御子柴直司

〒142-0042
東京都品川区豊町1-6-11
プレジールB1
TEL.03-4570-0500

東京城南目黒中央支部

我以外皆師也

支部長 池田祥規

〒153-0065
東京都目黒区中町2-38-27
鈴木第2ビル2F
TEL.03-5704-1078

東京城北支部

一所懸命

支部長 川本英児

〒179-0082
東京都練馬区錦1-34-15
カーサ錦1F
TEL.03-5399-3134

東京城西国分寺支部

継続は力なり

支部長 江口芳治

〒185-0012
東京都国分寺市本町3-11-1
第8千代鶴ビル5F
TEL.042-322-8691

東京城西南多摩支部

今あるものでベストを尽くせ

支部長 川嵜雅央

〒192-0362
東京都八王子市松木30-12
ベルエポック松木1F
TEL.042-686-1365

東京城西世田谷東支部

一生懸命

支部長 田口恭一

〒154-0011
東京都世田谷区上馬1-32-10
ハイツ三軒茶屋1F
TEL.03-3422-6653

東京城西西多摩支部

精神一到

支部長 真銅宏二郎

〒196-0015
東京都昭島市昭和町2-2-15
タウンベルハイツ2F（202）
TEL.042-543-9868

東京城西野方支部

規律・情熱・イズム

支部長 根本清志

〒165-0027
東京都中野区野方4-25-9
TEL.03-3388-6722

東京城西下北沢・町田支部

感謝

支部長 森善十朗

〈代田〉〒155-0033 東京都世田谷区代田5-11-11
シティ代田3F
〈町田〉〒194-0021 東京都町田市中町3-6-27-1階B
TEL.080-6359-0775

神奈川横浜港南支部

正々堂々

支部長 羽田シゲル

〒231-0057
神奈川県横浜市中区曙町5-68
永田ビル2F
TEL.045-243-1875

神奈川横浜北支部

弱きは即ち此れ強き、強きは克己なり

支部長 今西登之彦

〒222-0032
神奈川県横浜市港北区大豆戸町639-2
TEL.045-435-1800

神奈川横浜東支部

翔ぬける極真の風になれ

支部長 青木英憲

〒223-0061
神奈川県横浜市港北区日吉7-16-28
ロイヤルコート日吉307
TEL.045-560-0187

総本部・本部直轄道場・地区本部・支部・道場のご案内

神奈川川崎中央支部

自分に強く

支部長 進 裕治

〒213-0011
神奈川県川崎市高津区久本3-2-18
エムビル1階2号室
TEL.044-822-0021

神奈川相模原支部

志ここに–AMBITIOUS–

支部長 戸田直志

〒252-0243
神奈川県相模原市中央区上溝6-10-3 1F
TEL.042-761-1377

神奈川西湘支部

継続は力なり

支部長 福田達也

〒250-0011
神奈川県小田原市栄町3-10-31
栄町マンション2F
TEL.0465-24-9191

神奈川大和支部

一意専心！

支部長 竹岡拓哉

〈長後〉〒252-0016 神奈川県藤沢市長後668-1
サザン長後ビル 203
〈大和〉〒242-0016 神奈川県大和市大和南1-8-1
シリウス内3F マルチスペース
TEL.080-9192-3739

神奈川川崎南支部

一芸は道に通ずる

支部長 加賀健弘

〒212-0022
神奈川県川崎市幸区神明町1-13-1 2F
TEL.080-1181-1622

神奈川横浜西北支部

不屈の精神

支部長 石﨑恋之介

〈事務局〉〒161-0034
東京都新宿区上落合3-23-17
ユニーブル落合1階　東京城西支部気付
TEL.080-1064-1015

総本部横須賀道場

和を以て貴しと為す

支部長 日比野丈二

〈汐　入〉〒238-0042
神奈川県横須賀市汐入町2-32 HL汐入駅前ビル3F
〈久里浜〉〒239-0831
神奈川県横須賀市久里浜4-3-6 鳥伝第1ビル3F
TEL.090-8342-5090

山梨支部

千練万鍛 極真の道

支部長 小坂武史

〒405-0003
山梨県山梨市下井尻526-1
TEL.0553-33-9761

新潟中央支部

魅する私たちの軌跡

支部長 西村淳平

〒950-2015
新潟県新潟市西区西小針台1-4-21
TEL.090-6658-7073

富山支部

極真精神

中部本部 本部長
支部長 浜井良顕

〒930-0847
富山県富山市曙町6-40
TEL.070-9007-6678

長野支部

文武両道

支部長 平尾敏也

〒381-0033
長野県長野市南高田2-3-20
TEL.026-477-2696

石川支部

克己

支部長 古城　忠

〒924-0047
石川県白山市西美沢野町2番地1
TEL.076-274-7107

福井支部

人間の挑戦する意欲に限界はない

支部長 宮脇英彰

〒915-0834
福井県越前市北千福町109-3
TEL.0778-21-2380

静岡西遠支部・愛知東三河支部

天は自ら助くる者を助く!!

支部長 石黒康之

〈西　遠〉〒432-8038 静岡県浜松市中央区
西伊場町56-14・2F
TEL.053-482-9937
〈東三河〉〒441-8141 愛知県豊橋市草間町字東山143-6
TEL.0533-69-6231

静岡富士支部

継続は力なり

支部長 前川克信

〒419-0205
静岡県富士市天間954-59
TEL.0545-71-8666

静岡中央支部

千鍛万錬

支部長 初川正彦

〒420-0915
静岡県静岡市葵区南瀬名町3-14-2F
TEL.054-247-1501

愛知東南支部

生きる、しあわせ心豊かに！

支部長 堀田裕晴

〒475-0917
愛知県半田市清城町3-4-10-101
TEL.0569-26-2539

愛知名古屋支部

継続は力なり

支部長 木山　仁

〒464-0827
愛知県名古屋市千種区田代本通1-28
グレン清友1F
TEL.052-762-5119

岐阜支部

意志あるところに道は開ける

支部長 伊藤　慎

〒500-8333
岐阜県岐阜市此花町5-2
フジタビル1
TEL.058-254-1833

京都支部

強く、優しく

関西本部 本部長
支部長 川畑幸一

〒604-8437
京都市中京区西ノ京東中合町５６
パレット御池２Ｆ
TEL.075-801-8155

奈良支部

精鋭無比

支部長 桑　貴典

〒634-0835
奈良県橿原市東坊城町123-16
TEL.0744-28-2064

北大阪支部

努力精進

支部長 橋爪秀彦

〒564-0053
大阪府吹田市江の木町20-25
TEL.06-6170-2233

大阪西支部

信と力なり

支部長 岡田祐樹

〒552-0001
大阪府大阪市港区波除2-5-5
菊川マンション 1F
TEL.06-6584-3111

大阪東南支部

やれば出来る！勇気と挑戦!!

支部長 田中隆昌

〒599-8234
大阪府堺市土塔町3333-1
TEL.072-239-2520

大阪みなはや支部

挙禅一如

支部長 田ヶ原正文

〒558-0004
大阪府大阪市住吉区長居東4-1-12
パークサイド南栄ビル2F
TEL.06-6695-1768

大阪東支部

信頼と感謝

支部長 東 博昭

〈貝塚〉〒597-0081 大阪府貝塚市麻生中814-2
TEL.072-427-9906
〈枚方〉〒573-0131 大阪府枚方市春日野2-13-1
TEL.072-427-9906

大阪南支部

健やかな強さ

支部長 徳田忠邦

〒593-8311
大阪府堺市西区上441-1
TEL.072-264-8804

大阪布施支部

極真の道を全うすること

支部長 田中正信

〒577-0843
大阪府東大阪市荒川2-18-12
ビルドジャパン布施1F
TEL.090-9160-7606

兵庫西支部

先へ先へ、さらなる先へ

支部長 山野博久

〒656-0025
兵庫県洲本市本町5-3-4
本町コモード2F
TEL.090-8932-2149

和歌山支部

押 忍

支部長 北本久也

〒640-0112
和歌山県和歌山市西庄1037-53
TEL.090-8570-0458

中国本部

長州男児 極真魂に徹す

本部長 河岡博實

〒755-0091
山口県宇部市上宇部2532-11
TEL.0836-33-1527

山口支部

志を立ててもって万事の源となす

支部長 河岡晶俊

〒755-0091
山口県宇部市上宇部2532-11
TEL.0836-33-1527

広島支部

真を極める

支部長 小田勝幸

〒731-0143
広島県広島市安佐南区長楽寺1-3-7
キシカワビル
TEL.082-209-3040

岡山東支部

大いなる野心

支部長 中塚信夫

〒700-0964
岡山県岡山市北区中仙道55-124
サンビオーネ中仙道2F
TEL.086-242-2008

徳島支部・岡山南支部

心を磨く、技を磨く、自分を磨く

支部長 三宅義人

〈徳　島〉〒770-0021 徳島県徳島市佐古一番町10-6
レインボータワービル5F
TEL.088-654-6098
〈岡山南〉〒710-0038 岡山県倉敷市新田2901
TEL.090-8978-9021

香川支部・岡山西支部

夢・極真専魂

支部長 岩田 厚

〈香　川〉〒763-0092 香川県丸亀市川西町南1304-1
TEL.0877-28-8880
〈岡山西〉〒710-0817 岡山県倉敷市大内1237-1
TEL.086-486-0222

愛媛中央支部

極真専心・極真貫徹

支部長 谷口拓也

〒790-2648
愛媛県松山市菅沢町甲272番地
TEL.089-977-5720

福岡西支部

世界の和合を志すサムライの育成

支部長 阿部清文

〒810-0001
福岡県福岡市中央区天神5-7-5
ベスト天神ビル6F
TEL.092-739-6610

福岡東支部

気力、体力、努力

支部長 三村政史

〒802-0023
福岡県北九州市小倉北区下富野5-1-
TEL.093-521-7702

大分支部

初志貫徹 武道空手

支部長 三村忠司

〒870-0933
大分県大分市花津留1-12-12
TEL.097-556-4511

総本部沖縄道場

他を益す

支部長 長崎健一

〒901-1304
沖縄県島尻郡与那原町東浜81-9
ネクステージゆめなり102号室
TEL.098-955-1493

本部直轄

浅草・三郷・草加道場

<事務局／浅草>
〒111-0033 東京都台東区川戸1-3-6 花川戸ビル1F
TEL.03-5828-5992
<三郷>TEL.048-953-3277
<草加>TEL.048-928-0523

埼玉春日部道場

〒344-0011
埼玉県春日部市藤塚1626
TEL.048-763-8117

新潟南道場

〒949-7117
新潟県南魚沼市長森新田20-1
TEL.080-4051-4108

三重東道場

〒510-0836
三重県四日市市松本3-12-17 豊ビル４F
TEL.059-223-0400

大阪天満橋道場

〒536-0016
大阪府大阪市城東区蒲生4-2-3-303
TEL.06-6939-0244

島根松江道場

〒690-0885
島根県松江市浜佐田町787-2
TEL.0852-36-6828

長崎諫早道場

〒854-0062
長崎県諫早市小船越町1048-2
諫早市中央体育館
TEL.0957-46-7900

熊本帯山道場

〒862-0924
熊本県熊本市帯山8-5-94
TEL.096-285-3442

KYOKUSHIN INTERNATIONAL KARATE ORGANIZATION

佐賀支部・熊本支部・宮崎支部・鹿児島支部　連絡先／総本部事務局　東京都渋谷区猿楽町3−7　TEL.03-6452-5777

国際空手道連盟 全日本真正空手道連盟 真正会
代表代行 鈴木修司

強さと人間形成の空手

真正空手とは「安全で実戦的な空手」を旨とし、日本の優れた伝統文化である武道精神を学ぶとともに、現代社会における合理性と社会性を重んじた「人間形成」の空手です。

今、世界では、我々の未だかつて経験した事もない事柄が起き皆の気持ちを不安にさせています。
しかしこのような時こそ、「押忍の精神」（※耐え難きを耐え、忍び難きを忍び、押さば押せ、これ即ち自己滅却、押忍の精神なり。）
この理念の元、この困難を乗り越えていかなくてはなりません。それを率先するのは我々武道を修行する者全ての役割といえるのではないでしょうか。皆さん共に頑張りましょう。

国際空手道連盟
全日本真正空手道連盟

真正会 本部道場

代表代行／鈴木修司　本部長／内田 道　本部事務局長／小西雅仁　師範代／永田勝哉

〒530-0034 大阪府大阪市北区錦町 4-69 第2喜多ビル3F｜TEL.06-6940-4228（受付時間 平日：AM10:00-18:00）

真正会本部道場は「国際空手道連盟　全日本真正空手道連盟　真正会」の中心として活動しており、定期的な合同稽古、選手強化稽古、指導者育成なども積極的に行っております。
真正会ホームページ　https://shinsei-karatedo.co.jp/

真正会ホームページ　YouTubeチャンネル　X（旧Twitter）　Facebook

真正会 東京本部 鈴木道場

関東地区責任者
真正会代表代行 鈴木修司

東京都豊島区高田3-15-5
山口ビル3F
TEL.03-5927-1240

真正会 総本部

真正会本部長
真正会代表副代行 内田 道

大阪府大阪市北区錦町4-69
第2喜多ビル3F
TEL.06-6940-4228

真正会 熊本支部

九州地区責任者
真正会代表代行補佐 筧 誉

熊本県熊本市北区楠7-15-2F
TEL.096-337-5560

真正会 小西道場

幹部・本部事務局長
総本部師範 小西雅仁

天六教室／大阪府大阪市北区天神橋6-2-3
西宮甲子園教室／兵庫県西宮市学文殿町2-4-24
TEL.090-8482-6101

真正会 福永道場

準幹部・中部地区責任者
師範
選手強化委員長 福永規男

愛知県名古屋市緑区元徳重1-401
徳重教室／大高教室／豊明教室／松原教室
TEL.090-2929-0109

真正会 東京本部 鈴木道場

準幹部
東京本部師範 子安慎悟

東京都豊島区高田3-15-5
山口ビル3F
TEL.03-5927-1240

真正会 総本部

師範代 永田勝哉

大阪府大阪市北区錦町4-69
第2喜多ビル3F
TEL.06-6940-4228

真正会 北海道 札幌道場

支部長 佐々木克仁

北海道札幌市東区北49条東８丁目3-50
studio498
TEL.090-1304-0909

真正会 北海道 旭川道場

支部長 外崎信夫

北海道旭川市忠和4条5丁目
ストーンビル1F
TEL.0166-61-3588

真正会 千葉東葛支部 我孫子道場

師範 伊藤克剛

千葉県我孫子市本町2-5-14
BKビル2F
TEL.070-1466-5635

真正会 貝塚道場

師範 柳瀬拓人

大阪府貝塚市福田91 ハート交流館
TEL.070-5437-5656

真正会 小野道場

師範 小野 晃弘

大阪府大阪市住之江区新北島3-1-30
TEL.090-6965-0493

真正会 UKC

師範 有働 勲

大阪府大阪市西区九条1丁目11-19
九条東会館
TEL.06-4393-9111

真正会 げんき塾

師範 杉山 仁

兵庫県西脇市津万字柳坪260-3
TEL.0795-23-6770

真正会 篠山道場

師範 中島武史

兵庫県丹波篠山市殿町873
TEL.090-8208-1040

真正会 郷田道場

師範 郷田正勝

兵庫県神戸市中央区山本通1-7-1-B1F
TEL.078-221-2034

真正会 地主道場

師範 地主正孝

芦屋支部／西宮香櫨園／宝塚／大阪長柄
ミズノスポーツプラザ潮芦屋
兵庫県芦屋市涼風町５-1
TEL.090-8161-4895

真正会 尼崎支部/尼崎東支部

師範 松井 厚

尼崎支部／兵庫県伊丹市野間北2-2-2
TEL.072-771-1788
尼崎東支部／兵庫県尼崎市長洲東通1-9-25
TEL.06-6401-4788

真正会 上村道場

師範 上村康太

兵庫県神戸市東灘区1-7-3-2F
TEL.090-2283-7711

真正会 大前道場

師範 大前政夫

橿原道場／奈良県橿原市久米町664-1
神宮駅前ビル6F
田原本道場／奈良県磯城郡田原本町平田46
TEL.090-8659-5033

真正会 武河道場

師範 武河正紀

奈良県吉野郡大淀町桧垣本676-1
サカグチビル4F
TEL.090-4900-2230

真正会 千里道場

師範 柴田昌利

千里山田／大阪府吹田市山田西2丁目19-7
千里丘／大阪府吹田市千里丘上14番37号
TEL.090-6730-1445

真正会 山中道場

師範 山中政信

東京都墨田区押上1-25-5
西原ビル１F
TEL.090-2110-5626

加圧トレーニング®本部は、2026全日本体重別空手道選手権大会を応援しています。

KA A TSU TRAINING®

Pressure Training the Father
Yoshiaki Satou
加圧トレーニング® 発明者 佐藤義昭

国際空手道連盟 極真会館は、加圧トレーニング®の普及・発展に努めています。

SHIDAX

未来の子供たちのために

シダックスグループは、

「未来の子供たちのために」

を使命とし、

より良い社会を次世代に継承するために

エッセンシャル・ヒューマンサービス事業を通じて、

社会課題を解決していく総合サービス企業です。

シダックス株式会社

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-12-10 シダックス・カルチャービレッジ

TEL.03-5784-8881（代表）

https://www.shidax.co.jp

CONGRATULATIONS

全日本体重別空手道選手権大会

CONGRATULATIONS

全日本体重別空手道選手権大会

大松

株式会社　大松

松国宣英

〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜2-3-10

CONGRATULATIONS

「2026全日本体重別空手道選手権大会」を応援します。

idea group

イディアグループ

〒231-0014
神奈川県横浜市中区常盤町4-45 アートビル4F
TEL.045-212-5581 (代)

ZONE

GROUP

プレジャーリゾート 伊豆赤沢温泉

Kato Pleasure Group

日本のレジャーをもっと楽しく！

カトープレジャーグループは、ホテル、リゾート、レストラン、エンターテインメント、リバークルーズなど
多岐に亘る事業の開発や運営を行うトータルプロデュースカンパニーです。

ふふ 東京 銀座

ふふ 城ヶ島 海風のしらべ

i+Land nagasaki GRAX OCEAN VILLAGE

つるとんたん THE SKY TOKYO

東京本社　107-0062　東京都港区南青山2-27-25 ヒューリック南青山ビル5F　TEL:03-6384-5030　FAX:03-6384-5063
大阪本社　543-0051　大阪府大阪市天王寺区四天王寺2-1-9　TEL:06-6771-0111　FAX:06-6772-8128
www.kpg.gr.jp

株式会社プロアホールディングスは
国際空手連盟 極真会館を
応援しております！

PROA HOLDINGS

警備・アウトソーシングなら、プロアホールディングス

【本社】
〒604-8451 京都府京都市中京区西ノ京
御輿岡町 25-16 イリアスビル
アウトソーシング事業部 tel.075-464-2626
セキュリティ事業部 tel.075-464-8777

【烏丸御池支社】
〒604-0835 京都府京都市中京区高宮町 206
御池ビル 7F-A
tel.075-222-2222

【東京支社】
〒105-0004 東京都港区新橋 5-13-10
VORT 新橋 NEX ビル 4F
tel.03-5425-6221

【大阪支社】
〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区
東中島 1 丁目 20-19 新大阪ヒカリビル 10F 1006 号
tel.06-6328-7337

《グループ企業 》

株式会社ライジング
株式会社ライジングファシリティーズ
人材派遣・警備

ディーエムサービス株式会社
人材派遣・警備

株式会社デルマーセキュリティ
人材派遣・警備

株式会社 DSC
警備

株式会社ジャパンファシリティーサービス
警備

株式会社 ING ダイナミクス
清掃

株式会社イリアス
不動産

株式会社マリアコミュニケーションズ
Web 制作・イベント企画

株式会社オールライフスタイルズ
和菓子「京三条駿河屋」

一般社団法人
メディカルケア・ライジング
A 型就労サポート「ひまわり」

株式会社ディーパ
輸入車販売

SHIOBARA

塩原カントリークラブ

リゾート地に佇む本格派ゴルフ場 フラットな林間27ホールズ

＼お得に塩原CCでゴルフプレー／

乗用カートフェアウェイ走行 楽々プレーで大好評！

※コースコンディションにより乗り入れできない場合もございます。

塩原温泉宿泊ゴルフパック 1泊3食付 夕食 朝食 昼食 1Rプレー

塩原カントリークラブでゴルフを楽しんだら、疲れた体を温泉でリフレッシュ！

詳しくはこちら▶

塩原カントリークラブ 〒329-2804 栃木県那須塩原市折戸148

FAX：0287-35-3503 Mail：info@shiobara-cc.com

お電話でのお問い合わせ 0287-35-2211

LINE公式アカウント

初回友だち登録特典

平日無料プレー券が当たるチャンス!!

※他のクーポンと併用は出来ません。※お一人様一回限り。

ご登録はこちら▼

Shiobara Country Club

CONGRATULATIONS

「2026全日本体重別空手道選手権大会」

米国公益法人

和田国際交流財団

理事長

和田友良

虎の穴

CONGRATULATIONS

全日本体重別空手道選手権大会

“虎の穴”は
国際空手道連盟 極真会館
を応援しています。

館長 辛 永虎

clean planet

New Energy, New Future.

SAIGEN

サイゲングループは、
スポーツをするすべての人を応援します

祝 全日本体重別空手道選手権大会

広いピットで安心安全作業 ★ 待機レーン大型5台完備

預り大型タイヤ保管ラック

株式会社しのざき

〒366-0801 埼玉県深谷市上野台1317-1　TEL.048-571-0700　FAX.048-573-7642

http://www.shinozaki-inc.com/

祝 全日本体重別空手道選手権大会

大型建機車両の部分修理作業 ★ 廃棄タイヤが生まれ変わる

株式会社

建機ソリューションしのざき

〒366-0801 埼玉県深谷市上野台1317-1　TEL.048-577-3920　FAX.048-573-7642

http://www.shinozaki-inc.com/

CONVERSE

真極

KYOKUSHIN・INTERNATIONAL・KARATE ORGANIZATION

纏え、その一撃。

ALL STAR HI

KYOKUSHIN ICHIGEKI COLLECTION
"ONE STRIKE"

¥14,850（税抜¥13,500）
24.0cm,24.5cm,26.0~29.0cm

ALL STAR OX

EMBLEM (INTERNATIONAL)

￥13,200 （税込￥12,000）
24.0cm,24.5cm,26.0~29.0cm

北大阪支部
ホームページ

北大阪支部
インスタグラム

私たちは極真会館北大阪支部の活動を応援しています

㈱ジョイント　㈱キープエンタープライス　㈱エクセレントコア　タイガー㈱　㈱ココロニア
弁護士法人 関西法律特許事務所　㈱山崎屋　㈱TBSワークス　Kitchin ㋮　てんぷら山崎
BAR AUGUSTA　BAR AUGUSTA LUX　トリミング・ハウス快　㈱ジェートップ　グッドエフェクト税理士法
朝田歯科　多田歯科医院　太田歯科医院　あわた歯科クリニック　池田歯科診療所　しが歯科医院

SUN LUCK

SUN LUCK

株式会社 サン・ラック

代表取締役 澤井 明彦

〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-12 TEL.03-5816-2222(代表) http://www.sunluck777.co.jp

業務内容	パチンコ機・パチスロ機の販売 パーラー経営に関わるトータルサポート業務 パーラー補給システムの販売	パーラーの玉貸機・両替機・計算機等の部品の販売 パーラーの設計デザイン パーラーの内装・外装デザインの企画設計施工	加盟	東日本遊技機商業協同組合 日本遊技関連事業協会 余暇環境整備推進協議会 回胴式遊技機商業協同組合

施工の質を追究することで、
より魅力的な「エンターテイメント空間の創造」に貢献します。

エンターテイメント空間の創造
HOSHINO

SANKYO パーラー事業部 協力会社
有限会社 星野工務店
東京都知事許可番号 特(4)第114832号

〒110-0015 東京都台東区東上野2-22-8
㈱三共東上野第2ビル2F
Tel.03-3834-7777 Fax.03-3834-9999
URL：http://www.hoshino777.tokyo/

シィード建設株式会社は
国際空手道連盟極真会館 **兼久啓太朗**選手 を応援しています。

シィード建設株式会社

SEED CONSTRUCTION CO.,LTD

一級建築士事務所 / 特定建設業 / 宅地建物取引業

一般建築　注文住宅　店舗建築　修繕・改修

施工管理募集中！あなたの力を待っています！詳細は当社ホームページの採用情報をご覧ください。

大阪本社 》 大阪市中央区北久宝寺町4丁目2番10号 東明ビル4階
TEL.06-6243-2210 / FAX.06-6243-2208

東京オフィス 》 東京都台東区浅草6丁目13番12-101号
TEL.03-5808-7870 / FAX.03-5808-7871

エクステリアダイアモンドムーンは
極真会館を応援しています。

継続は力なり

エクステリア ダイアモンドムーン
EX DIAMOND MOON

代表 **服部 勝由**
Katsuyoshi Hattori

◇本　社◇
〒425-0066 静岡県焼津市大島272-3
Mobile.090-2256-1830
Fax.054-623-0775

◇高柳倉庫◇
〒426-0041
静岡県藤枝市高柳 1989-1

◇取扱工事内容◇
カーポート工事/テラス工事/フェンス工事/物置工事/外構工事 etc.

http://www.ex-diamondmoon.com/

ボルト用マーキングスタンプ

Boltline Flex

ボルトライン フレックス

YouTube 使い方動画

[ご購入・お見積りのご相談は、お気軽にお問い合わせください]

MirateX ミラテックス

MirateX株式会社　ミラテックス

〒500-8234 岐阜市芋島3丁目5番2号　info@miratex.jp

太陽光発電をグループで ワンストップサポート

それぞれの専門分野のプロフェッショナルが
太陽光発電設備をトータルで支えます

土地調査 申請
事前調査 現地調査
企画・設計 シミュレーション
施工 試運転
研究開発
メンテナンス パネル洗浄
ケーブル 盗難対策
作業効率化 安全対策

株式会社 加賀エネルギー研究所
土地調査・発電所設計・申請業務

MirateX株式会社
IOT防犯システム、商材販売

株式会社 鈴電
電気設備・発電所・施工

株式会社 LEAP
メンテナンス・パネル洗浄

OHTA合同会社
最先端技術の研究開発

株式会社 鈴電　岐阜市芋島3丁目5番2号　suzuden@amail.plala.or.jp

CONGRATULATIONS
全日本体重別空手道選手権大会

Nakaoka
中岡建設グループ
不動産仲介　売買賃貸仲介業
代表 中岡 大治
太平洋ハウジング株式会社
大阪市阿倍野区天王寺町北2丁目1番11号
中岡プレステルビル

LandMark
お客様の「感動」を導く上質な接客をめざして

ランドマークグループは極真会館を応援します。
ランドマークグループ
代表取締役 高田 慶済
〒671-1241 兵庫県姫路市網干区興浜 1479-1/ TEL:079-287-6702・FAX:079-287-6703

祝 全日本体重別空手道選手権大会
蔵本整骨院
院長 蔵本 昇
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-20-19
Tel.&Fax.06-4399-0505

祝 全日本体重別空手道選手権大会
株式会社
チアフルフーズ
兼久啓太朗選手を応援してます
@CHEERFULFOODS_OFFICIAL
〒556-0021 大阪市浪速区幸町3-8-4
Tel.06-6568-5175 Fax.06-6568-5178

祝 全日本体重別空手道選手権大会
空調設備・消防設備・建物清掃
有限会社
メトロビル管理
代表取締役 廣仲和幸
〒176-0003 東京都練馬区羽沢3丁目29番8号
Tel.03-3992-3313 Fax.03-3992-3314

KYOKUSHIN・INTERNATIONAL KARATE ORGANIZATION

KYOKUSHIN NEW ITEM

2026 SUMMER I.K.O. KYOKUSHINKAIKAN ORIGINAL NEW T-SHIRTS & HOODIE & GOODS

■ コンバース・オールスター
× 極真会館〈黒地ハイカット〉
¥14,850(税込) size 24·24.5·26-29cm

■ コンバース・オールスター
× 極真会館〈黒地ローカット〉
¥13,200(税込) size 24·24.5·26-29cm

■ TA-17 黒 ¥4,400(税込) size 130·150·S·M·L·XL

■ TA-17 白 ¥4,400(税込) size 130·150·S·M·L·XL

■ 極真サイドTシャツ 白／黒
各¥4,400(税込) size 150·S·M·L·XL

■ 極真サイドTシャツ ダークブラウン
¥4,400(税込) size 150·S·M·L·XL

■ 極真ラインストーンZIPパーカー
ブラック／ヘザーグレー 各¥19,800(税込)
size S·M·L·XL·XXL

■ 一撃オリジナル
リカバリーTシャツ 黒 ¥6,930(税込) size S·M·L·XL·XXL

■ 一撃オリジナル
リカバリーTシャツ 白 ¥6,930(税込) size S·M·L·XL·XXL

■ 一撃ハーフパンツ
¥5,940(税込) size S·M·L·XL

■ 極真トレーニングパンツ
¥4,290(税込) size S·M·L·XL·XXL

■ 一道一念Tシャツ バーガンディ ¥4,400(税込)
size 130·150·S·M·L·XL

■ 一道一念Tシャツ 黒／白 各¥4,400(税込)
size 130·150·S·M·L·XL

■ 真極バスタオル ¥3,850(税込)
size w.120cm×h.60cm

■ 一撃キックミット ¥6,600(税込)

■ KYOKUSHINノート 各¥660(税込)
color 白／黒／赤 size w.105mm×h.150mm 80頁

■ ステッカー「キョクシンベアー」¥1,100(税込)
size w.210mm×h.150mm

I.K.O.JAPAN

■ I.K.O.JAPANマフラータオル ¥2,750(税込)
size w.115cm×h.20cm

■ 真極ジャガードマフラータオル
〈赤〉〈キョクシンベアー〉
各¥2,750(税込) size w.110cm×h.20cm

■ ICHIGEKIスーツケース型ポーチ
¥1,980(税込) size w.11×h.8×5.5cm

■ キョクシンベアー
ステンレスボトル
¥4,400(税込) 容量1000ml

■ FRIXIONボールペン〈極真会〉
各¥1,000(税込) color 黒／パステルブルー／パステルピンク

※在庫有りの商品も欠品、販売終了になる場合がございます。また予告なく価格が変更になる場合がございます。詳しくは「一撃オフィシャルショップ」HPをご覧ください。

ICHIGEKI OFFICIAL SHOP TEL.0120-512-182 FAX.0120-512-184

https://www.ichigeki-officialshop.com/

＋日本赤十字社 災害義援金チャリティー 2026 オープントーナメント

全日本体重別空手道選手権大会

兼：第41回 全日本ウェイト制空手道選手権大会